

Ⅲ 授業科目一覧

1	コア科目	60
2	専門教育科目	67
3	キャリアデザインプログラム科目群	189

1

コア科目

文理融合リベラルアーツ

授業科目	単位数	学年	CCBM	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）	
系列 1 生命と環境					
(講義)				(生物学科は履修できない)	
生命と環境 1	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 2	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 3	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 4	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 5	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 6	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 7	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 8	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 9	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生命と環境 10	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
(演習・実習・実験)					
生命と環境 21	2	(Ⅰ)	White		
生命と環境 22	2	(Ⅰ)	White		
生命と環境 23	2	(Ⅰ)	White		
生命と環境 24	2	(Ⅰ)	White		
生命と環境 25	2	(Ⅰ)	White		
生命と環境 26	2	(Ⅰ)	White		
系列 2 色・音・香					
(講義)					
色・音・香 1	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 2	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 3	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 4	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 5	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 6	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 7	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 8	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 9	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
色・音・香 10	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
(演習・実習・実験)					
色・音・香 21	2	(Ⅰ)	White		
色・音・香 22	2	(Ⅰ)	White		
色・音・香 23	2	(Ⅰ)	White		
色・音・香 24	2	(Ⅰ)	White		
系列 3 生活世界の安全保障					
(講義)					
生活世界の安全保障 1	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生活世界の安全保障 2	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生活世界の安全保障 3	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生活世界の安全保障 4	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生活世界の安全保障 5	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		
生活世界の安全保障 6	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White		

授業科目	単位数	学年	CCBM	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
生活世界の安全保障 7	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
生活世界の安全保障 8	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
生活世界の安全保障 9	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
生活世界の安全保障 10	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
生活世界の安全保障 11	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
(演習・実習・実験)				
生活世界の安全保障 21	2	(Ⅰ)	White	
生活世界の安全保障 22	2	(Ⅰ)	White	
生活世界の安全保障 23	2	(Ⅰ)	White	
生活世界の安全保障 24	2	(Ⅰ)	White	
生活世界の安全保障 25	2	(Ⅰ)	White	
生活世界の安全保障 26	2	(Ⅰ)	White	
系列 4　ことばと世界				
(講義)				(物理学科は履修できない)
ことばと世界 1	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 2	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 3	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 4	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 5	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 6	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 7	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 8	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 10	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 11	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ことばと世界 12	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
(演習・実習・実験)				
ことばと世界 22	2	(Ⅰ)	White	
ことばと世界 24	2	(Ⅰ)	White	
ことばと世界 25	2	(Ⅰ)	White	
ことばと世界 27	2	(Ⅰ)	White	
系列 5　ジェンダー				
(講義)				
ジェンダー 1	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 2	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 3	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 4	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 5	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 6	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 7	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 8	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
ジェンダー 9	2	(Ⅰ～Ⅱ)	White	
(演習・実習・実験)				
ジェンダー 21	2	(Ⅰ)	White	
ジェンダー 22	2	(Ⅰ)	White	
ジェンダー 23	2	(Ⅰ)	White	
ジェンダー 24	2	(Ⅰ)	White	

*文理融合リベラルアーツ科目群の講義科目は、卒業までの4年間の間は履修可能ですが、1・2年次のうちに履修するのが効率的です。

また、演習・実習・実験科目は、1年生を対象としますが、定員（各20名又は30名）に余裕がある場合、2年生以上も履修できます。

基礎講義

授業科目	単位数	学年	CCBM	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
哲学	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	(数学科、情報科学科は履修できない) (数学科、情報科学科は履修できない) (物理学科は履修できない) (化学科は履修できない)
現代心理学	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
法学Ⅰ（日本国憲法）	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
法学Ⅱ（法学入門）	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
法と文学	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
政治学入門	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
ミクロ経済学入門	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
マクロ経済学入門	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
基礎微分積分学	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
基礎線形代数学	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
統計学	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
一般物理学実験	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
一般化学実験	2	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
総合コース	2～4	(Ⅰ～Ⅳ)	White	
お茶の水女子大学論	2	(Ⅰ)	White	

情報

授業科目	単位数	学年	CCBM	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
(必修科目)				
情報処理演習(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
情報処理演習(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
(選択科目)				
メディアリテラシ(1)	1	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
メディアリテラシ(2)	1	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
情報科学(1)	1	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
情報科学(2)	1	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
情報処理学(1)	1	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
情報処理学(2)	1	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
プログラミング演習 1	2	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
プログラミング演習 2	2	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
コンピュータ演習 1	2	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
コンピュータ演習 2	2	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
情報学演習 1	2	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	
情報学演習 2	2	(Ⅰ～Ⅲ)	Pink	

外国語（必修）

各学部別途掲載
文教育学部P.●/ 理学部P.●/ 生活科学部P.●

授業科目名	単位数	学年	CCBM	備考
英語				
* 基礎英語Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎英語Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎英語Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎英語Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 英語コミュニケーションⅠ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 英語コミュニケーションⅠ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 英語コミュニケーションⅡ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 英語コミュニケーションⅡ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 中級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 中級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 中級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 中級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
英語コミュニケーションⅢ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語コミュニケーションⅢ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語コミュニケーションⅣ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語コミュニケーションⅣ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
上級英語Ⅰ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅰ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅱ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅱ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅲ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅲ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅳ(1)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅳ(2)	1	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
ビジネス英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
ビジネス英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
ビジネス英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
ビジネス英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
時事英語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
時事英語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
時事英語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
時事英語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語プレゼンテーションⅠ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語プレゼンテーションⅠ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
ドイツ語				
* 基礎ドイツ語Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語Ⅲ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語Ⅳ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語（応用）Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語（応用）Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語（応用）Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語（応用）Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 発展ドイツ語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展ドイツ語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)	Green	

授業科目名	単位数	学年	CCBM	備考
* 発展ドイツ語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展ドイツ語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展ドイツ語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展ドイツ語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展ドイツ語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展ドイツ語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
**基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**基礎ドイツ語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**基礎ドイツ語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ドイツ語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ドイツ語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ドイツ語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ドイツ語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
フランス語				
* 基礎フランス語Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語Ⅲ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語Ⅳ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 発展フランス語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展フランス語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展フランス語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展フランス語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展フランス語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展フランス語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展フランス語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展フランス語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
**基礎フランス語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**基礎フランス語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**基礎フランス語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**基礎フランス語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**フランス語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**フランス語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**フランス語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**フランス語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
中国語				
* 基礎中国語Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語Ⅲ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語Ⅳ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語(応用)Ⅰ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語(応用)Ⅰ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語(応用)Ⅱ(1)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語(応用)Ⅱ(2)	1	(Ⅰ)	Pink	
* 発展中国語Ⅰ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展中国語Ⅰ(2)	1	(Ⅱ)	Green	

授業科目名	単位数	学年	CCBM	備考
* 発展中国語Ⅱ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展中国語Ⅱ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展中国語Ⅲ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展中国語Ⅲ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展中国語Ⅳ(1)	1	(Ⅱ)	Green	
* 発展中国語Ⅳ(2)	1	(Ⅱ)	Green	
**基礎中国語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Pink	
**基礎中国語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Pink	
**基礎中国語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Pink	
**基礎中国語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅱ～Ⅳ)	Pink	
**中国語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**中国語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**中国語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**中国語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
中国語リーディング	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
中国語リスニングⅠ	2	(Ⅰ～Ⅱ)	Green	
中国語リスニングⅡ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Red	
中国語ライティングⅠ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Red	
中国語ライティングⅡ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Red	
中国語コミュニケーションⅠ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
中国語コミュニケーションⅡ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Red	
中国語プレゼンテーションⅠ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Red	
中国語プレゼンテーションⅡ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Red	
ロシア語				
**ロシア語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ロシア語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ロシア語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ロシア語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ロシア語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ロシア語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ロシア語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**ロシア語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
朝鮮語				
**朝鮮語初歩Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**朝鮮語初歩Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**朝鮮語初歩Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**朝鮮語初歩Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**朝鮮語会話Ⅰ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**朝鮮語会話Ⅰ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**朝鮮語会話Ⅱ(1)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
**朝鮮語会話Ⅱ(2)	1	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	

スポーツ健康				
授業科目	単位数	学年	CCBM	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
（必修）				
スポーツ健康実習	2	（Ⅰ）	White	
（選択）				
スポーツ科学概論	2	（Ⅰ～Ⅳ）	White	
健康科学概論	2	（Ⅰ～Ⅳ）	White	
生涯スポーツ	0.5～3	（Ⅰ～Ⅳ）	White	

2

専門教育科目

1

文教育学部

文教育学部履修規程（P.213）により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位124単位を修得してください。各学科プログラム等に関することは、別表2～14を参照してください。

授業科目一覧

Ⅲ

2

専門教育科目
文教育学部

別表第1－1（第6条関係）																			
学 科 別	科目 区分	必修及び選択必修の科目・単位								自由に選択して履修する科目・単位								卒業に必要な履修単位数	
		コア科目				専門教育科目(必修プログラム)				コア 科目 目	専 攻 科目 目	学部 共通 科目 目	他学 科の 専攻 科目 目	他学 部の 科目 目	全学 共通 科目 目	教職 共通 科目 目	教職に 関する 科目 目		必修以外の 選択プログラム
		文理融合 リベラル アーツ	基礎 講義	情報 報	外国 語	スポー ツ健康	主 プログラ ム	強化 プログラ ム	副 プログラ ム										
人 文 科 学 科		18			20	2	44	20						20					124
言 語 文 化 学 科		18			20	2	44	20						20					124
人 間 社 会 科 学 科		18			12	2	48	20						24					124
グ ロー バ ル 文 化 学 環		18			20	2	44	20						20					124
備考																			
1 情報処理演習（情報）2単位は、必修とする。																			
2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。																			
3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。																			
4 主プログラムは、所属学科から選択すること。																			
5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。																			
6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。																			
7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。																			
8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。																			
9 教職に関する科目（教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。）の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。																			
10 外国人留学生特別科目（外国人留学生対象）の単位については20単位までをコア科目として取り扱う。ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることができない。																			
11 グローバル文化学環履修者は、所属学科によらず、グローバル文化学環の欄に記載される科目・単位を履修すること。また、必修プログラムとして、グローバル文化学主プログラムと所属学科の副プログラムを履修すること。																			

別表第 1 - 2（第 6 条関係）																		
学 科 別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位						自由に選択して履修する科目・単位								卒業に必要な履修単位数		
		コア科目					専攻科目	関連科目	コア科目	専攻科目	学部共通科目	他学科の専攻科目	他学部の科目	全学共通科目	教職共通科目		教職に関する科目	必修以外の選択プログラム
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報	外国語	スポーツ健康												
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科		18			12	2	64		28								124	
備考																		
1 情報処理演習（情報）2 単位は、必修とする。																		
2 外国語の必修単位に関しては、別表第 3 を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。																		
3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習 2 単位を必修とし、その履修方法は別に定める。																		
4 必修以外の選択プログラムは、別表第 2 の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択をすること。																		
5 教職に関する科目（教職概論、教職実習及び教職実践演習は除く。）の単位については、10 単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。																		
6 外国人留学生特別科目（外国人留学生対象）の単位については 20 単位までをコア科目として取り扱う。ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることができない。																		

別表第2 (第5条関係)

【(文) 二つ目の選択プログラム】(別表第1-1 備考5関係)

所属学科・コース		所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」														
		哲 学・ 倫理学・ 美術史 (副)	比 較 歴史学 (副)	地 理 環境学 (副)	日本語・ 日本文学 (副)	中国語圏 言語文化 (副)	英 語 圏 言語文化 (副)	仏 語 圏 言語文化 (副)	日 本 語 教 育 (副)	社 会 学 (副)	教育科学 (副)	心 理 学 (副A) 人間社会科学科対象	心 理 学 (副B) 人間社会科学科以外対象	舞 踊 学 教 育 学 (副)	音楽表現 (副)	グローバル文化学 (学際)
人 文 科 学 科	哲 学		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	歴 史	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	地 理	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	
言 語 文 化 学 科	日 文	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	中 文	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
	英 文	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
	仏 文	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○
	グロ文	×	×	×	○	○	○	○	×	×		×	×	×		
人間社会科学科	社 会	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○
	教 育	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○
	心 理	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○
	グロ文	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○			×	×	
芸術・表現行動学科		舞 踊														
		音 楽														

【(文) 三つ目の選択プログラム (文・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・コース		哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	教育科学(副)	心理学(副A) 人間社会科学科対象	心理学(副B) 人間社会科学科以外対象	舞踊教育学(副)	音楽表現(副)	グローバル文化学(学際)
		哲学	歴史	地理	グロ文	日文	中文	英文	仏文	グロ文	社会	教育	心理	心理	舞踊	音楽
人文学科	哲学		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	歴史	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	地理	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
言語文化学科	日文	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	中文	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
	英文	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
	仏文	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
人間社会科学科	社会	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○
	教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○
	心理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
芸術・表現行動学科	舞踊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
	音楽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○

【(文) 三つ目の選択プログラム (理・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・コース		数学（副）	物理学（副）	化学（副）	生物学（副）	情報科学（副）	応用数理 （学際）	物理・化学 （学際）	ケミカルバイオロジー （学際）	生命情報学 （学際）
人 文 科 学 科	哲 学	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	歴 史	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	地 理	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
言 語 文 化 学 科	日 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	中 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	英 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	仏 文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	社 会	○	○	○	○	○	×	×	×	×
人 間 社 会 学 科	教 育	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	心 理	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
芸術・表現行動学科	舞 踊	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	音 楽	○	○	○	○	○	×	×	×	×

【(文) 三つ目の選択プログラム (生・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・コース		人間・環境科学（副）	発達臨床心理学（副）	公共政策論（副）	ジェンダー論（副）	生活文化学（副）	消費者学（学際）
人 文 科 学 科	哲 学	○	○	○	○	○	○
	歴 史	○	○	○	○	○	○
	地 理	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○
言 語 文 化 学 科	日 文	○	○	○	○	○	○
	中 文	○	○	○	○	○	○
	英 文	○	○	○	○	○	○
	仏 文	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○
人 間 社 会 科 学 科	社 会	○	○	○	○	○	○
	教 育	○	○	○	○	○	○
	心 理	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○
芸術・表現行動学科	舞 踊	○	○	○	○	○	○
	音 楽	○	○	○	○	○	○

文教育学部 主プログラム・強化プログラム

人文科学科 哲学・倫理学・美術史コース

		主：44 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標			
LA（リベラルアーツ）の中核を担う哲学・倫理学・美術史の使命は、わたしたちの人生を、いかに考え、いかに生き、いかに表現し、いかに幸福なものとするかという、もっとも根本的であると共に実際の応用力の養成です。主・強化・副、そのいずれのレベルにおいても、普遍的価値の学習を基礎にしつつ、根本につねにたちもど現実の実践力を追求します。この高度教養教育に基づき、21 世紀型 LA は国際性・学際性・専門性を発信します。			
本コースはこれに基づき構成され、人類が求めてきた真・善・美についての基礎的な勉強をするためのプログラムを作成しました。哲学、倫理学、美術史を効率よく学ぶためのプログラムになっています。			
ねらいは二つあります。①哲学、倫理学、美術史を幅広くバランスよく学習することができるということ、②専門的に深く勉強することができるということです。これらの、一見すると相反する目標に対応するために必要な科目を用意し、それぞれのプログラムに配置しました。			
主プログラムは、哲学、倫理学、美術史のそれぞれを専門的に勉強するために必要な基礎的な科目を配置します。			
②内容・構成			
本プログラムは、「学科共通科目 8 単位」「卒業論文 8 単位」、概論、特殊講義、演習などからなります。			
なお、主プログラムにおいて、「人文科学科共通科目 8 単位」は、人文科学科としてのまとまりを確保するために必修としました。そのうち哲学、倫理、美術史に関係する科目からは、最低 4 単位の必修。それ以外を含めてさらに 4 単位の必修を課しました。			
強化プログラム			
①教育目標			
LA（リベラルアーツ）の中核を担う哲学・倫理学・美術史の使命は、わたしたちの人生を、いかに考え、いかに生き、いかに表現し、いかに幸福なものとするかという、もっとも実際の応用力の養成です。主・強化・副、そのいずれのレベルにおいても、普遍的価値の学習を基礎にしつつ、根本につねにたちもど現実の実践力を追求します。この高度教養教育に基づき、21 世紀型 LA は国際性・学際性・専門性を発信します。			
本コースはこれに基づき構成され、人類が求めてきた真・善・美についての基礎的な勉強するためのプログラムを作成しました。哲学、倫理学、美術史を効率よく学ぶためのプログラムになっています。			
ねらいは二つあります。①哲学、倫理学、美術史を幅広くバランスよく学習することができるということ、②専門的に深く勉強することができるということです。これらの相反する目標に対応するために必要な科目を用意し、それぞれのプログラムに配置しました。			
強化プログラムは、哲学、倫理学、美術史のそれぞれの学問領域を一層深く勉強するためにさらに専門的な科目を配置しました。			
②内容・構成			
本プログラムは、特殊講義、演習などの構成になります。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
哲学基礎論	2	I～Ⅳ	Pink	○	以下の科目から 4 単位選択		
倫理学基礎論	2	I～Ⅳ	Pink	○			
美術史基礎論	2	I～Ⅳ	Pink	○			
比較文化史	2	I～Ⅱ	Pink	○	以下の科目から 4 単位選択		
比較社会史	2	I～Ⅱ	Pink	○			
自然と人間	2	I～Ⅱ	Pink	○			
人間と空間	2	I～Ⅳ	Pink	○			
哲学・倫理学・美術史選択基礎	2	I	White	○			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
哲学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink	○	以下の科目から 28 単位選択		
哲学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink	○			
倫理学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink	○			
倫理学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink	○			
美術史学概論	2	I～Ⅳ	Pink	○			
概念分析論演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
概念分析論演習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
理論分析論演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
理論分析論演習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
問題分析論演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
問題分析論演習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
英書講読	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅠ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅡ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅢ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅣ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅠ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅡ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅢ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅣ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学演習CⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
哲学演習CⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
哲学演習CⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
哲学演習CⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
日本倫理思想史Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
日本倫理思想史Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
西洋倫理思想史Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
西洋倫理思想史Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
哲学演習AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	以下の科目から18～20単位選択
哲学演習AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習AⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理学演習A	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理学演習B	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理思想史演習A	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理思想史演習B	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理学特殊講義AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Pink	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
倫理学特殊講義AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Pink	○		○	
倫理学特殊講義BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
倫理学特殊講義BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
倫理学資料講読	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本倫理思想史資料講読	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋倫理思想史資料講読	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理学研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本倫理思想史研究	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○		○	
西洋倫理思想史研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
宗教と倫理学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
生命と倫理学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本の社会と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
形象分析学演習Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
形象分析学演習Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
形象分析学演習Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
形象分析学特殊講義Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
形象分析学特殊講義Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
形象分析学特殊講義Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
美術史学演習Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
美術史学演習Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
美術史学演習Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
美術史学特殊講義Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
美術史学特殊講義Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
哲学特別研究AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学研究指導Ⅰ	2	Ⅳ	Red			○	
哲学研究指導Ⅱ	2	Ⅳ	Red			○	
倫理学研究指導Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
倫理学研究指導Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
倫理学研究指導Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
形象分析学調査演習	2	Ⅱ	Red			○	
美術史学研究指導Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
美術史学研究指導Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
美術史学研究指導Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
社会学通論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	以下の科目から0～2単位選択
社会学通論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学通論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学通論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

人文科学科 比較歴史学コース

			主：44 単位	強化：20 単位
主プログラム				
①教育目標				
歴史は社会の反映であり、歴史を学ぶことは社会での実践力となります。日本史、東洋史、西洋史という枠組みを思考の地域軸と時間軸として位置づけ、同時に相互の比較や連関・交流に着目し、比較史的観点や社会史の視角を重視しつつ、歴史研究を通してその社会全体を俯瞰しその全体像を総合的に把握できるような柔軟な思考方法を養います。当たり前と思われることを疑い、自分なりの問を見つけ、そのための論拠（史料）を探し、論理を組み立てるといった歴史研究の基礎的手法（これは社会に出ても十分有効である）を身につけてください。				
②内容・構成				
本プログラムは、まず基礎的知識を身につけ歴史学を学ぶとはどういうことなのかを理解する入門型の初級科目、文献・情報収集方法、研究史の調べ方など、専門教育に必須の基礎知識・研究方法を体得させるための中級科目、歴史学研究の基幹である研究文献・史料を実際に読解する演習（上級科目）、その集大成としての卒業論文から構成されます。多彩な科目群からバランスよく選択して履修することで、歴史学の（最小限の）方法論を体得する。総単位数は44単位以上、学科共通科目8単位、演習科目12単位以上、卒業論文8単位を必修とします。				
強化プログラム				
①教育目標				
比較歴史学の主プログラムを専攻し、さらに歴史学の分野での専門知識を深め、磨こうと考える学生が専攻するものとします（主プログラム専攻者以外の履修は不可）。比較歴史学が開講する講義科目を中心に、より深い歴史学の知識と学びを習得することを目指します。一つの分野に限定せず、日本史・東洋史・西洋史を横断するかたちで履修し視野を広げることを推奨します。				
②内容・構成				
強化プログラムは、日本史・東洋史・西洋史の専門的で多彩な講義を主プログラムに加えた構成になっています。主プログラムで履修した科目以外に、20単位の取得が必要です。				

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
比較文化史	2	I～II	Pink	◎			
比較社会史	2	I～II	Pink	◎			
比較歴史学選択基礎	2	I	White	○			
史学研究指導	2	IV	Red	○			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
哲学基礎論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択		
倫理学基礎論	2	I～II	Pink	○			
美術史基礎論	2	I～II	Pink	○			
自然と人間	2	I～II	Pink	○			
人間と空間	2	I～II	Pink	○			
日本文化史概論	2	I～IV	Pink	○		○	以下の科目から18～20単位選択
日本史概説	2	I～IV	Pink	○		○	
アジア史概説	2	I～IV	Pink	○		○	
西洋史概説	2	I～IV	Pink	○		○	
日本史入門講読	2	I	Pink	○		○	
外国史入門講読 I	2	I	Pink	○		○	
外国史入門講読 II	2	I	Pink	○		○	
日本史研究法(1)	1	II	Green	○		○	
日本史研究法(2)	1	II	Green	○		○	
アジア史研究法(1)	1	II	Green	○		○	
アジア史研究法(2)	1	II	Green	○		○	
西洋史研究法(1)	1	II	Green	○		○	
西洋史研究法(2)	1	II	Green	○		○	
アジア史研究法	2	II	Green	○		○	
西洋史研究法	2	II	Green	○		○	
グローバル・ヒストリー	2	I～II	Pink	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本史講読	2	Ⅱ	Green	○		○	
アジア史講読	2	Ⅱ	Green	○		○	
西洋史講読	2	Ⅱ	Green	○		○	
古文書学	2	Ⅱ	Green	○		○	
歴史史料学	2	Ⅱ	Green	○		○	
日本史論文講読	2	Ⅱ	Green	○		○	
外国史論文講読	2	Ⅱ	Green	○		○	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
歩いて学ぶ比較歴史Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本古代史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	以下の科目から12単位以上選択	○	
日本古代史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本中世史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本中世史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近世史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近世史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古代史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古代史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本中世史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本中世史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近世史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近世史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
東アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
東アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
東アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
東アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
比較アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
比較アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
比較アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
比較アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋政治史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋政治史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会経済史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会経済史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋政治史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋政治史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会経済史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋社会経済史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
歴史史料調査Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
歴史史料調査Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
歴史現地調査Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
歴史現地調査Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
考古学通論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
考古学通論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史考古学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
史跡調査	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世史特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代史特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
東アジア政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西アジア政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
東アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
東アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア社会史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア社会史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア文化史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア文化史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋中世史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋近世史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋近現代史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
フランス史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
ドイツ史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
イギリス史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史学文献講読Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史学文献講読Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
都市社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史情報論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較女性史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較家族史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史人類学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
社会学通論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	以下の科目から0～2単位選択
社会学通論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学通論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学通論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

人文科学科 地理学コース（地理環境学）

		主：44 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標 地理学は、学校教育における社会科の基礎科目のひとつであり、また大学での教育・研究においては文系と理系の知をローカルな地域・場所を考え、結びつける総合科学であり、さらに社会生活においては現実的な諸問題に解決策を与える応用科学・政策科学です。現実的な諸問題の解決のために、ローカル、ナショナル、グローバルの地理的マルチスケールのセンスを養成します。			
②内容・構成 地理学の独自の観点を学ぶためのスキルとして、フィールドワーク（東京近郊と日本各地）、地図・GIS、地域統計分析、自然観測、英書講読の授業を、必修・選択必修で学んでももらいます。これによって、総合科学としての地理学の基礎的な技能が身につきます。また、経済、社会、都市、環境などの地理学の知識を講義や演習で学ぶことで、特定の地域で設定したテーマの卒業論文へとつなげます。地理環境学のプログラムは、中学社会科・高校地歴科の教職免許の他に、地域調査士、社会調査士の資格が取りやすい科目構成となっています。さらに、測量士補や気象予報士の資格取得に向けた勉強もできます。			
強化プログラム			
①教育目標 地理環境学の主プログラムを専攻した学生を対象に、地理学の広範な分野の知識を学んでももらいます。これによって、地理学の専門家としてオールラウンドの知識・スキルを身に付けることができます。			
②内容・構成 主プログラムで未履修の科目の他に、より専門性の高い講義、演習を履修します。さらに、地理学と関係の深い他分野（社会学、グローバル文化学、建築学、生活科学、自然科学など）の科目も履修できます。地理学の対象とするテーマは幅が広いので、隣接する分野の知識を身につけることも大切です。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間と空間	2	I～II	Pink	◎			
自然と人間	2	I～II	Pink	◎			
哲学基礎論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択		
倫理学基礎論	2	I～II	Pink	○			
美術史基礎論	2	I～II	Pink	○			
比較文化史	2	I～II	Pink	○			
比較社会史	2	I～II	Pink	○			
地理学フィールドワーク A	2	III	Red	◎			
地理学フィールドワーク B	2	I～III	Green	◎			
地理学フィールドワーク演習	2	III	Red	◎			
地理学研究法演習	2	III	Red	◎			
地域分析学演習 II	2	IV	Red	○	以下の科目から2単位選択		
環境地理学演習 II	2	IV	Red	○			
都市・福祉地理学演習 II	2	IV	Red	○			
地理学卒業演習	2	IV	Red	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
地理学選択基礎	2	I	White	○	以下の科目から10単位選択		
都市と自然	2	I	Pink	○		○	以下の科目から18～20単位選択
地理学英書講読	2	I～III	Green	○		○	
地図学	2	II～IV	Green	○		○	
都市地理学	2	I～IV	Green	○		○	
経済地理学	2	I～IV	Green	○		○	
社会地理学	2	I～IV	Green	○		○	
自然地理学	2	I～IV	Green	○		○	
測量学	2	II～IV	Green	○		○	
地誌学	2	II～III	Green	○		○	
地理情報システム演習 I	2	II～III	Green	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
環境地理学基礎演習	4	Ⅱ～Ⅲ	Green	○	以下の科目から4単位選択	○	
人文地理学分析基礎演習	4	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
地域分析学演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○	以下の科目から2単位選択	○	
環境地理学演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
自然地理学演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
社会地理学演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
都市・福祉地理学演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
地理環境学演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
地理環境学演習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
地理環境学演習Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
地理環境学演習Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
地理情報システム演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
フィールドワーク方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
文化理論研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
地域開発論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
グローバル化と経済	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
国際協力学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
国際関係論	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink			○	
人口学	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
老年学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
地域社会論	2	Ⅱ	Green			○	
社会政策論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
社会政策論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
民俗学	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
歴史民俗文化論(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
歴史民俗文化論(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
住居学概論	2	Ⅰ	Pink			○	
建築環境計画論	2	Ⅱ	Green			○	
環境デザイン論	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築史	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
地球環境科学	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink			○	
大気・海洋科学概論	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
地学基礎実験	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
地史・古生物学概論	2	Ⅲ	Pink			○	
環境科学(1)	1	Ⅱ	Green			○	
環境科学(2)	1	Ⅱ	Green			○	
生物系統地理学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
植物生態学	2	Ⅰ～Ⅲ	Green			○	
動物生態学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
生物統計学	2	Ⅱ	Green			○	
環境情報論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
社会学通論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	以下の科目から0～2単位選択
社会学通論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学通論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学通論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

				主：44 単位	強化：20 単位
主プログラム					
①教育目標					
本プログラムにおいては、日本語・日本文学について多角的に学び、言語と文学の観点から日本文化の本質を考察する識見と力量を育むことを目標とします。日本語学・日本上代文学・日本中古文学・日本中世文学・日本近世文学・日本近代文学・日本現代文学の各領域にわたって、基礎から応用へと段階をふみながら、その全般について学習します。					
②内容・構成					
日本語・日本文学の根幹をなす科目群から構成されています。基礎的学習である概論、通時的学習の文学史、各論を学ぶ講読・特殊研究・特殊講義が、知識の習得に関わる科目群としておかれ、これらは1年次から4年次まで、段階をふんで履修します。研究方法の習得にあたっては、2年次より用意された各種演習によって学び、これらすべての統合として、4年次に卒業論文の執筆が配置されています。					
強化プログラム					
①教育目標					
本プログラムにおいては、日本語・日本文学について広範に学び、言語と文学の観点から日本文化の本質を考察する識見と力量を育むことを目標とします。日本語学・日本上代文学・日本中古文学・日本中世文学・日本近世文学・日本近代文学・日本現代文学の各領域にわたって、深くかつ発展的に学習します。					
②内容・構成					
強化プログラムは、主プログラムの履修を基盤に、さらに各自の関心を専門的に深化・発展させるためのものです。よって、科目群も、高度な内容のものを中心に履修するよう配置されています。					

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
日本文学概説	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○	以下の科目から8単位選択		
日本語学通論	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
英語圏言語文化入門(1)	1	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
英語圏言語文化入門(2)	1	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
中国現代文学史	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
中国古典文学史(宋～清)	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
ヨーロッパ言語文化論	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
言語学入門Ⅰ(1)	1	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
言語学入門Ⅰ(2)	1	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
言語学入門Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○			
日本古典文学史論(上代)	2	Ⅰ～Ⅱ	Red	○	以下の科目から8単位選択	○	以下の科目から4単位選択
日本古典文学史論(中古)	2	Ⅰ～Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学史論(中世)	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
日本古典文学史論(近世)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本近代文学史論(近代)	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○		○	
日本近代文学史論(現代)	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○		○	
日本語語彙論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から2単位選択	○	以下の科目から2単位選択
日本語文法総論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○		○	
日本語音声表現論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○		○	
日本語文章表現論	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○	以下の科目から2単位選択	○	以下の科目から4単位選択
日本文学論講読Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○		○	
日本文学論講読Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○		○	
日本文学論講読Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○		○	
日本文学論講読Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○		○	
日本古典文学論基礎演習Ⅱ	2	Ⅱ	Pink			○	
日本語学基礎演習	2	Ⅱ	Pink			○	
日本語学特殊研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から6単位選択	○	以下の科目から6単位選択
日本語史特殊研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本古典文学論特殊研究(上代)	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本古典文学論特殊研究（中古）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本古典文学論特殊研究（中世）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本古典文学論特殊研究（近世）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本近代文学論特殊研究（近代）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本近代文学論特殊研究（現代）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本語学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本語・日本文学選択基礎	2	Ⅰ	White	○			
日本古典文学論基礎演習Ⅰ	2	Ⅱ	Pink	◎			
日本古典文学論演習（上代）Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○	以下の科目から6単位選択 （同一演習のⅠ、Ⅱを必ず一組は含むこと）	○	以下の科目から2単位選択
日本古典文学論演習（上代）Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習（中古）Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習（中古）Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習（中世）Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習（中世）Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習（近世）Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習（近世）Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習（近代）Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習（近代）Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習（現代）Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習（現代）Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本語学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本語学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本語学研究指導	2	Ⅳ	Red	○	以下の科目から2単位選択		
日本文学研究指導	2	Ⅳ	Red	○			
書道Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	以下の科目から2単位選択
書道Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

言語文化学科 中国語圏言語文化コース

主：44 単位 強化：20 単位

主プログラム

①教育目標

中国語圏言語文化コースでは、現代中国語のトレーニングを基盤として、中国の現代文化および古典文化、ひいては中国に対する総合的な理解を深めることを目指しています。確実な中国語運用能力の土台のもとに、様々な分野で活躍しうる人材を育成することを目標とします。

②内容・構成

本プログラムは、学科共通科目、中国語の実践的運用能力を習得するための科目群（専門中国語）、現代語学・言語学および現代文学・現代中国に関する基本的知識を習得するための科目群（現代言語文化）、古典語学・文献学および古典文学・古典文化に関する研究方法を習得するための科目群（古典言語文化）、そして卒業論文作成指導の科目群ならびに卒業論文から構成されます（また別途、高大連携科目を設けます）。

強化プログラム

①教育目標

中国語圏言語文化コースの主プログラムと併せて履修することにより、中国の言語文化に関するより一層高度な知識・技能を習得することを目標とします。高等学校等の教員を目指す学生、あるいは大学院に進学することを希望する学生には本プログラムが適しています。

②内容・構成

主プログラムよりも高度な中国語の実践運用能力の習得を目指すための科目群と、現代言語文化および古典言語文化の各四分野に関する研究技能を強化するための科目群、および大学院との連携を意識した科目から構成されます。

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	以下の科目から 8 単位選択		
日本語学通論	2	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門(1)	1	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門(2)	1	I～II	Pink	○			
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○			
中国古典文学史（宋～清）	2	I～II	Pink	○			
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○			
言語学入門 I (1)	1	I～II	Pink	○			
言語学入門 I (2)	1	I～II	Pink	○			
言語学入門 II	2	I～II	Pink	○			
中国語ヒアリング基礎	2	I～II	Green	◎			
中国語コミュニケーション・スキル	2	II～IV	Green	◎			
中国語作文基礎演習	2	II～IV	Red	◎			
中国語作文応用演習	2	II～IV	Red	◎			
中国語講読	2	II～IV	Green	◎			
中国語学概論	2	I～II	Pink	◎			
中国古典文学史（先秦～唐）	2	I～II	Pink	◎			
中国文化論	2	II～IV	Green	○	以下の科目から 12 単位選択	○	以下の科目から、主プログラムにおいて既修得の科目を除く 4 単位選択
中国現代作家論	2	II～IV	Red	○		○	
日中対照言語学	2	II～IV	Green	○		○	
中国語統語論	2	II～IV	Green	○		○	
中国古典文献講読入門	2	II～IV	Green	○		○	
中国古典文献講読基礎	2	II～IV	Green	○		○	
中国文学古典講読	2	II～IV	Green	○		○	
中国文学古典演習	2	II～IV	Red	○		○	
中国語圏言語文化選択基礎	2	I	White	○	以下の科目から 2 単位選択		
中国現代文化特別演習	2	IV	Red	○			
中国現代語学特別演習	2	IV	Red	○			
中国古典文献特別演習	2	IV	Red	○			
中国古典文学特別演習	2	IV	Red	○			

授業科目一覧

III

2

専門教育科目
文教育学部

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
中国言語文化論演習	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国事情	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			◎	
中国語会話演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			◎	
中国語ヒアリング演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			◎	
中国現代作品論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国語文法論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国語学文献講読	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国古典詩講義演習	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	

言語文化学科 英語圏言語文化コース

				主：44 単位	強化：20 単位
主プログラム					
①教育目標					
英語圏言語文化主プログラムは、英語圏の言語文化に関する研究を専攻し、柔軟な英語運用能力を習得するとともに、学術的研究の成果や深い思想を英語で正確に表現し、自信を持って広く世界に発信できる能力を身につけることを目指すものです。スピーキングの技能に関して言えば、単なる日常会話のレベルにとどまることなく、将来は海外の研究者・知識人と対等に議論できるレベルの技能の習得を目標とします。					
②内容・構成					
本プログラムは、英語で学術的論文を書きまたその内容を口頭で正確に発表できるようになるための、方法論的問題を学ぶ科目群および基礎から中級レベルに至る専門的知識・教養を学ぶ科目群を中心に組まれています。また中学・高等学校の教員免許（英語）を取得するために必要な科目の単位も、本プログラムの中で取得できるように組まれています。本プログラムをとる学生は、最終年次に英語で卒業論文を提出することが義務づけられています。					
強化プログラム					
①教育目標					
英語圏の言語文化についての高度な専門的知識・技能を身につけるためのプログラムである。本プログラム履修者は、卒業後国際社会で通用する洗練された英語力と、豊かにして深い文化的教養を身につけて巣立つことを期待されています。また卒業後に大学院進学を目指す人が履修するのにも、ふさわしいプログラムです。					
②内容・構成					
英語圏言語文化主プログラムが、専門的研究の基本的な方法論を学び、英語で学術論文を書く技術を修得するための科目を中心に組まれているのに対し、本プログラムは主としてより専門性の高い科目群を中心に構成されています。分野にとらわれず一般性の高い方法論等を学ぶ科目群においては、最終的には上級レベルまで到達すべく組まれています。					

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	以下の科目から8単位選択		
日本語学通論	2	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門(1)	1	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門(2)	1	I～II	Pink	○			
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○			
中国古典文学史（宋～清）	2	I～II	Pink	○			
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅰ(1)	1	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅰ(2)	1	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅱ	2	I～II	Pink	○			
英米文学演習（初級）	2	II～IV	Pink	◎			
英作文演習（初級）	2	II	Pink	◎			
英会話演習（初級）	2	II	Pink	◎			
対照表現学演習Ⅰ(1)	1	III～IV	Red	◎			
対照表現学演習Ⅰ(2)	1	III～IV	Red	◎			
対照表現学演習Ⅱ	2	III	Red	◎			
英文法Ⅰ(1)	1	I	Pink	◎			
英文法Ⅰ(2)	1	I	Pink	◎			
英文法Ⅱ	2	I	Pink	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
特別演習（言語研究方法論）Ⅰ(1)	1	III	Red	○		以下の科目から6単位選択	
特別演習（言語研究方法論）Ⅰ(2)	1	III	Red	○			
特別演習（言語研究方法論）Ⅱ	2	III～IV	Red	○			
特別演習（英米文学研究方法論）Ⅰ(1)	1	III	Red	○			
特別演習（英米文学研究方法論）Ⅰ(2)	1	III	Red	○			
特別演習（英米文学研究方法論）Ⅱ	2	III～IV	Red	○			
特別演習（作品分析）	2	IV	Red	○			
特別演習（言語資料分析）	2	IV	Red	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
英語学入門(1)	1	Ⅱ	Pink	○	○の科目から 8単位選択		
英語学入門(2)	1	Ⅱ	Pink	○			
英語学概論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
英文法演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	以下の科目から 6～8単位選択
英語音声学演習	2	Ⅱ	Green	○		○	
英文学史Ⅰ(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
英文学史Ⅰ(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
英文学史Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
米文学史Ⅰ(1)	1	Ⅲ	Green	○		○	
米文学史Ⅰ(2)	1	Ⅲ	Green	○		○	
米文学史Ⅱ	2	Ⅲ	Green	○		○	
英米文学演習(中級)	2	Ⅲ	Green			○	
英米文学演習(上級)(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
英米文学演習(上級)(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
英語圏言語文化選択基礎	2	Ⅰ	White	○			
英語圏テキスト講読	2	Ⅱ	Pink	○			
英作文演習(中級)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	以下の科目から 12～14単位選択
英会話演習(中級)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
英文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅴ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅵ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅶ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅷ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅵ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅶ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語圏言語文化研究Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
英語圏言語文化研究Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
英米事情(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	Green	○			
英米事情(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	Green	○			
第二言語教授法研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○			
中国文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
独文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
英作文演習(上級)	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
英会話演習(上級)	2	Ⅲ	Red			○	
ギリシャ語	4	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
ラテン語	4	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
現代スペイン語	4	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
現代イタリア語	4	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

		主：44 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標			
本プログラムの教育目標は以下のようになります。			
1 フランス語の専門的知識と実践的運用能力を身に付けます。			
2 フランス語で営まれている様々な文化現象を理解します。			
3 狭い意味での言語文化だけではなく、思想から映画まで、ファッションから移民問題まで、幅広くフランス語圏の文化と社会を学びます。			
4 ドイツ語圏文化を初めとして、イタリアやスペインなどのヨーロッパの他の国の文化や、あるいは世界のフランス語圏の文化にも視野を広げます。			
5 日仏交流、日欧交流などの異文化交流にも関心を持ちます。			
②内容・構成			
本プログラムは、上記のような本コースの教育目標をプログラム全体において実現するために、以下のような5つの科目群から構成されます。			
一番目の科目群は、言語文化学科共通科目です。ここではヨーロッパのみならず、広く英語圏、中国語圏、日本の言語文化の諸相を学びます。また言語学の基礎もここで学びます。			
二番目の科目群では、フランスの周辺国を中心として広くヨーロッパの言語や文化についての知識を獲得します。			
三番目の科目群では、フランス語圏の文化やフランスの社会について知見を得ます。			
四番目の科目群では、フランス語の運用能力を高めます。			
五番目の科目群では、フランスの文学や思想を分析します。			
強化プログラム			
①教育目標			
本プログラムの教育目標は、主プログラムで学んだ幅広い知見を基礎にして、さらに、各人の関心に応じて自分が学習したい領域をより集中的に学ぶことです。そして、そのことによって、より深い専門的知識やより高い語学能力を身につけることを目指します。			
②内容・構成			
主プログラムを構成する5つの科目群から、学科共通科目の科目群を除いた残りの4つの科目群から構成されます。さらに主プログラムに含まれる主として1、2年生で履修する基本的な授業科目は、ここでは原則的に除かれています。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	以下の科目から8単位選択		
日本語学通論	2	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門(1)	1	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門(2)	1	I～II	Pink	○			
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○			
中国古典文学史(宋～清)	2	I～II	Pink	○			
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅰ(1)	1	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅰ(2)	1	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅱ	2	I～II	Pink	○			
欧州文化論Ⅰ	2	II～IV	Green	○	以下の科目から26単位選択	○	○の科目から20単位選択
欧州文化論Ⅱ	2	II～IV	Green	○		○	
西欧社会文化論Ⅰ	2	I～IV	Pink	○			
西欧社会文化論Ⅱ	2	I～IV	Pink	○			
西欧社会文化論Ⅲ	2	II～IV	Green	○		○	
西欧社会文化論Ⅳ	2	II～IV	Green	○		○	
独文学演習Ⅰ	2	III～IV	Red	○		○	
独文学演習Ⅱ	2	III～IV	Red	○		○	
独文学特殊講義Ⅰ	2	III～IV	Red	○		○	
独文学特殊講義Ⅱ	2	III～IV	Red	○		○	
ギリシャ語	4	I～IV	Pink	○		○	
ラテン語	4	I～IV	Pink	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
現代スペイン語	4	I～IV	Pink	○		○	
現代イタリア語	4	I～IV	Pink	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏社会言語論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
基礎仏作文演習	2	Ⅱ	Green	○			
中級仏作文演習	2	Ⅱ	Green	○			
基礎仏会話演習	2	Ⅱ	Green	○			
中級仏会話演習	2	Ⅱ	Green	○			
上級仏会話演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
上級仏会話演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
基礎仏語学演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
中級仏語学演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
上級仏語学演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red	○		○	
上級仏語学演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red	○		○	
応用仏語学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
応用仏語学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
仏文学特殊研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
仏文学特別研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
仏語言語文化研究指導	2	Ⅳ	Red	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
仏語圏言語文化選択基礎	2		White	○			

人間社会科学科 社会学コース

				主：48 単位	強化：20 単位
主プログラム					
①教育目標					
社会学プログラムは、理論的ないし実証的方法により、人間の意識と行動の社会的側面、およびその基盤をなす社会の構造と変動を多角的に分析・考察し、人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを目標としています。社会学の基礎理論と研究方法、および社会意識、ジェンダー、社会政策等の主要な研究領域に対応する科目、および文化人類学、教育社会学等の隣接領域に関する科目を用意し、学生それぞれが持つ社会に対する関心を育てる事を目指しています。					
②内容・構成					
主プログラムは、社会学プログラムの中心をなす科目から構成されます。社会学・行動科学の基礎を学ぶ為の、「人間と社会」を含む人間社会科学科の共通科目 8 単位、社会学カリキュラムの特色である社会調査法と卒業論文をなどからなる必修科目 16 単位、社会学・社会調査関連の講義 14 単位、同じく社会学・社会調査関連の演習 10 単位の合計 48 単位です。					
強化プログラム					
①教育目標					
社会学プログラムは、理論的ないし実証的方法より、人間の意識と行動の社会的側面、およびその基盤をなす社会の構造と変動を多角的に分析・考察し、人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを趣旨としています。社会学の基礎理論と研究方法、および社会意識、ジェンダー、社会政策等の主要な研究領域に対応する科目、および文化人類学、教育社会学等の隣接領域に関する科目を用意し、学生それぞれが持つ社会に対する関心を育てる事を目指しています。					
②内容・構成					
強化プログラムは、主プログラムに加えて、社会学・社会調査関連の講義科目 14 単位を履修する事で社会学的なテーマについてより幅広く学習し、また社会学・社会調査関連の演習科目 6 単位を履修する事で、反省的・批判的思考をより深く養成することを目的としています。					

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間と社会	2	I～II	Pink	◎			
人間科学論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から 6 単位選択		
人間科学方法論	2	I～II	Pink	○			
人間と情報	2	I～II	Pink	○			
人間と発達	2	I～II	Pink	○			
社会学選択基礎	2	I	White	○			
社会学総論 I	2	I～IV	Pink	☆○	以下の科目から 14 単位選択 (内☆の科目からは 2 単位まで、※の科目からは、6 単位までを含めることができる。)	☆○	以下の科目から 14 単位選択 (内☆の科目からは 4 単位まで、※の科目からは、主プログラムで取得するものも含めて、6 単位までを含めることができる。)
社会学総論 II	2	I～IV	Pink	☆○		☆○	
政治学総論 I	2	I～IV	Pink	☆○		☆○	
政治学総論 II	2	I～IV	Pink	☆○		☆○	
経済学総論 I	2	I～IV	Pink	☆○		☆○	
経済学総論 II	2	I～IV	Pink	☆○		☆○	
法学総論 I	2	I～IV	Pink	☆○			
法学総論 II	2	I～IV	Pink	☆○			
哲学総論	2	I～IV	Pink	☆○			
倫理学総論	2	I～IV	Pink	☆○			
ジェンダー論	2	I～IV	Pink	○		○	
現代社会論	2	I～IV	Pink	○		○	
現代生活論	2	I～IV	Pink	○		○	
社会意識論	2	II～IV	Green	○		○	
比較社会論	2	II～IV	Green	○		○	
社会政策論 I	2	I～IV	Pink	○		○	
社会政策論 II	2	II～IV	Green	○		○	
社会問題論(1)	1	II～IV	Green	○		○	
社会問題論(2)	1	II～IV	Green	○		○	
社会調査の設計と実施	2	I～IV	Pink	○		○	
教育社会学概論	2	II～IV	Pink	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
教育社会学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
学校社会学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
文化人類学概論	2	I～IV	Pink	○			
文化人類学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
民族誌学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
比較社会政策論	2	II～IV	Green	○		○	
フィールドワーク方法論	2	II～IV	Green	○			
人間と空間	2	I～IV	Pink	○			
都市地理学	2	I～IV	Green	○			
社会福祉学	2	II	Green	※○		※○	
家族社会学(1)	1	III	Green	※○		※○	
家族社会学(2)	1	III	Green	※○		※○	
老人福祉論	2	II	Green	※○		※○	
老年学	2	II～IV	Green	※○		※○	
地域社会論	2	II	Green	※○		※○	
児童福祉論	2	II～IV	Green	※○		※○	
応用生活統計学(1)	1	I	Pink	※○		※○	
応用生活統計学(2)	1	I	Pink	※○		※○	
社会統計学 I	2	II	Green	※○		※○	
ジェンダー論演習 I	2	III～IV	Red	○	以下の科目から 10 単位選択	○	以下の科目から 6 単位選択
ジェンダー論演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
現代社会論演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
現代社会論演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
社会保障論演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
社会保障論演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
社会政策論演習 I	2	II～IV	Red	○		○	
社会政策論演習 II	2	II～IV	Red	○		○	
現代生活論演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
現代生活論演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
社会意識論演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
社会意識論演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
教育社会学演習	4	III～IV	Red	○			
学校社会学演習	4	III～IV	Red	○			
文化人類学演習	4	III～IV	Red	○			
民族誌学演習	4	III～IV	Red	○			
社会調査法	4	II～IV	Red	◎			
社会学研究指導 I	2	III	Green	◎			
社会学研究指導 II	2	IV	Red	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			

		主：48 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標 教育科学プログラムは、「教育」という営みを理論と実践の両面から多角的に考察し、教育から人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを趣旨としています。4年間の学習を通じて、教育にかかわる事象をテーマに選び、自分なりの知識、視点、方法で卒業論文をまとめることになります。この主プログラムは、卒業論文を作成するための必要最小限の学習メニューです。また、本プログラムの科目は、小学校教員等の教職課程の一部を構成しています。			
②内容・構成 本プログラムは、学科共通科目（8単位、うち「人間と発達」は必修）、他コース科目（6単位）、概論（6単位）、特殊講義（8単位）、演習（16単位）および必修の「教育実地研究」（1年次）、「教育科学研究指導Ⅰ」（3年次）、「同Ⅱ」（4年次）「卒業論文」から成っています。教育思想、教育史、教育社会学、文化人類学、教育方法学、教育開発論、生涯学習論等から自分の専攻領域を選び、その領域を中心に概論・特殊講義・演習を選んで履修してください。			
強化プログラム			
①教育目標 教育科学の主プログラムと重ねて履修することにより、教育という事象をより幅広く、かつより深く捉えることを可能にするための学習メニューです。概論、特殊講義、演習を主プログラムに加えて幅広く履修します。教員その他教育にかかわる職業に就く場合、大学院で引き続き教育科学を学ぶ場合のほか、教育科学の内容で一定の水準の卒業論文を作成するためには、本プログラムが適しています。			
②内容・構成 概論・特殊講義・演習でプログラムを構成しています。主プログラムだけでは概論が3科目、特殊講義が4科目、演習が2科目しか履修できませんが、本プログラムで概論2～4科目、特殊講義2～4科目、演習2～3科目を加えて履修することができます。自分が専攻する領域に関連する科目をやや広く履修し、知識や研究方法の基礎固めが可能となります。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間と発達	2	I～II	Pink	◎			
人間科学論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から6単位選択		
人間科学方法論	2	I～II	Pink	○			
人間と社会	2	I～II	Pink	○			
人間と情報	2	I～II	Pink	○			
ジェンダー論	2	I～IV	Pink	○	以下の科目から6単位選択		
現代社会論	2	I～IV	Pink	○			
教育心理学概論	2	I～II	Pink	○			
社会心理学概論	2	I～II	Pink	○			
発達心理学概論	2	I～II	Pink	○			
臨床心理学概論	2	I～II	Pink	○			
認知心理学概論	2	I～II	Pink	○			
教育思想概論(1)	1	I～IV	Pink	○	以下の科目から6単位選択	○	以下の科目から4単位以上選択
教育思想概論(2)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育史概論(1)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育史概論(2)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育社会学概論(1)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育社会学概論(2)	1	I～IV	Pink	○		○	
文化人類学概論(1)	1	I～IV	Pink	○		○	
文化人類学概論(2)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育制度概論	2	I～IV	Pink	○		○	
教育方法学概論(1)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育方法学概論(2)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育課程概論	2	I～IV	Pink	○		○	
教育開発概論(1)	1	I～IV	Pink	○		○	
教育開発概論(2)	1	I～IV	Pink	○		○	
生涯学習概論(1)	1	I～IV	Pink	○		○	
生涯学習概論(2)	1	I～IV	Pink	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
教育科学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink	○	○の科目から 8単位選択	○	○の科目から 4単位以上選 択
教育科学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink	○		○	
教育思想特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育人間学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育史特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育制度特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育社会学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
学校社会学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
文化人類学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
民族誌学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育方法学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育課程特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育開発特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
比較教育特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
生涯学習特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
社会教育学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅰ	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅱ	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅲ	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅳ	2	I～Ⅳ	Green	○		○	
学校インターンシップ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green		以下の科目か ら8単位選択	○	以下の科目か ら8単位以上 選択
児童社会文化論	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
博物館概論	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory			○	
教育科学選択基礎	2	I	White	○			
教育思想演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育人間学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育史演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育制度演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育社会学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
学校社会学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
文化人類学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
民族誌学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育方法学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育課程演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育開発演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
比較教育演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
生涯学習演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
社会教育学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育科学演習Ⅰ	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育科学演習Ⅱ	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
社会教育計画Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory			○	以下の科目か ら0～2単位 選択
社会教育計画Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory			○	
社会教育特講Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory			○	
社会教育特講Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory			○	
社会教育課題研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory			○	
社会教育実習	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory			○	
社会学総論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink			○	
社会学総論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink			○	
政治学総論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink			○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
政治学総論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink			○	
経済学総論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink			○	
経済学総論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink			○	
法学総論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink			○	
法学総論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink			○	
哲学総論	2	I～Ⅳ	Pink			○	
倫理学総論	2	I～Ⅳ	Pink			○	
教育実地研究	2	I	Pink	◎			
教育科学研究指導Ⅰ	1	Ⅲ	Green	◎			
教育科学研究指導Ⅱ	1	Ⅳ	Red	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			

人間社会科学科 心理学コース

		主：48 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標 心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。主プログラムでは、学生に、心理学に関する基礎的な知識と、心理学研究に必要なテクニックを学ばせるとともに、人間に関わる事象への深い理解と科学的な見方、更に、どのような問題に対しても論理的、分析的に考えられる力を身につけさせたいと考えています。			
②内容・構成 主プログラムの設定科目には、3つの柱があります。第1に、心理学に関する基礎知識を学ぶための概論、第2に、概論の内容を深めるための演習、第3に、心理学研究のテクニックを習得するための実験演習や研究法などの科目があります。そして、4年次には、こうして身につけた知識とテクニックを使い、自分自身の関心を持ったテーマについて、研究を計画・実施し、卒業論文を執筆します。本プログラムには、心理学の主要5領域（認知、社会、教育、発達、臨床）がありますが、主プログラムでは4年次までにこのうちの1領域を専攻し、その領域を中心とした卒業研究をおこないます。			
強化プログラム			
①教育目標 心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。専門強化プログラムでは、学生に、主プログラムで培った心理学に関する基礎的な知識と心理学研究に必要なテクニックをさらに磨き、領域融合的な先端的内容による卒業研究をおこなうことによって、幅広い心理学的研究力や実践力を身につけさせたいと考えています。			
②内容・構成 専門強化プログラムでは、主専攻プログラムで専攻した領域（認知、社会、教育、発達、臨床）に加えて、もう1領域を専攻し、先端的な領域融合型の卒業研究をおこなうことを目指します。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間科学方法論	2	I～II	Pink	◎			
人間と情報	2	I～II	Pink	◎			
人間科学論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択		
人間と発達	2	I～II	Pink	○			
人間と社会	2	I～II	Pink	○			
発達心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
認知心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
教育心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
社会心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
臨床心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
心理統計法	2	II	Pink	◎			
心理学基礎演習（理論）(1)	1	II	Pink	◎			
心理学基礎演習（理論）(2)	1	II	Pink	◎			
心理学基礎演習（応用）	2	II	Pink	◎			
心理学基礎実験演習Ⅰ(1)	1	II	Pink	◎			
心理学基礎実験演習Ⅰ(2)	1	II	Pink	◎			
心理学基礎実験演習Ⅱ	2	II	Pink	◎			
心理学応用実験演習	2	III	Green	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
発達心理学演習（基礎）	2	II～III	Green	○	以下の科目から「基礎」「応用」を必ず含む4単位選択	○	以下の科目から18～20単位選択
発達心理学演習（応用）	2	III～IV	Red	○		○	
認知心理学演習（基礎）	2	II～III	Green	○		○	
認知心理学演習（応用）	2	III～IV	Red	○		○	
教育心理学演習（基礎）	2	II～III	Green	○		○	
教育心理学演習（応用）	2	III～IV	Red	○		○	
社会心理学演習（基礎）	2	II～III	Green	○		○	
社会心理学演習（応用）	2	III～IV	Red	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
臨床心理学演習（基礎）	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○	以下の科目から2単位選択	○	
臨床心理学演習Ⅰ（応用）	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学演習Ⅱ（応用）	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
心理学選択基礎	2	I	White	○			
発達心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
認知心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
教育心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
社会心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
臨床心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
発達心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
認知心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
教育心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
社会心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
発達心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○	以下の科目から4単位選択	○	
発達心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
認知心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
認知心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
教育心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
教育心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
社会心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
社会心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学研究法Ⅰ（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学研究法Ⅰ（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学研究法Ⅱ（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学研究法Ⅱ（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
社会学総論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	以下の科目から0～2単位選択
社会学総論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
政治学総論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
政治学総論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学総論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
経済学総論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
法学総論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
法学総論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
哲学総論	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
倫理学総論	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

グローバル文化学環

		主：44 単位
主プログラム		
①教育目標		
グローバル化時代に、文化の差異を理解しながら、その差異をこえて協働し、新しい関係や価値を創り出していく力をもった市民を育てます。		
②内容・構成		
次の科目群からなり、いずれの科目においても学生との双方向的教育を重視しています。現場を訪ねて考える実習や、国内外からの講師招聘、インターネットを含む交流授業などをとりいれています。		
(1) 政治・経済・文化のグローバル化を理解する基礎科目		
(2) 変容する地域や文化をどのように理解するかを学ぶ「地域研究・地域文化 (COMPREHENSION)」		
(3) 多様な文化をもつ人々が交流するための理論と実践を学ぶ「多文化交流 (COMMUNICATION)」		
(4) 国際的な場での平和と協力について学ぶ「国際関係・国際協力 (COLLABORATION)」		
(5) 地域研究、多文化交流、国際協力にかかわる現場を体験し、現場でのコミュニケーションや問題解決の力を養う「実習」		
(6) 文献資料、フィールドワーク、社会調査などにもとづく卒業研究 (4 年生)、およびそのツールとなる研究法科目		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム ◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考
哲学基礎論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から、所属する学科が開講する科目を 4 単位選択
倫理学基礎論	2	I～II	Pink	○	
美術史基礎論	2	I～II	Pink	○	
比較文化史	2	I～II	Pink	○	
比較社会史	2	I～II	Pink	○	
人間と空間	2	I～II	Pink	○	
自然と人間	2	I～II	Pink	○	
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	
日本語学通論	2	I～II	Pink	○	
英語圏言語文化入門(1)	1	I～II	Pink	○	
英語圏言語文化入門(2)	1	I～II	Pink	○	
中国古典文学史 (宋～清)	2	I～II	Pink	○	
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○	
言語学入門 I (1)	1	I～II	Pink	○	
言語学入門 I (2)	1	I～II	Pink	○	
言語学入門 II	2	I～II	Pink	○	
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○	
人間と社会	2	I～II	Pink	○	
人間と発達	2	I～II	Pink	○	
人間科学論	2	I～II	Pink	○	
人間科学方法論	2	I～II	Pink	○	
人間と情報	2	I～II	Pink	○	
グローバル文化学総論	2	I～IV	Pink	○	以下の科目から 8 単位以上選択
国際関係論	2	I～IV	Pink	○	
政治学概論	2	I～IV	Pink	○	
グローバル・メディア論	2	I～IV	Pink	○	
グローバル化と経済	2	I～IV	Pink	○	
比較ジェンダー論	2	I～IV	Green	○	
比較法文化論	2	I～IV	Pink	○	
グローバル・ヒストリー	2	I～IV	Pink	○	
地域研究方法論	2	II～IV	Green	○	
文化理論研究	2	II～IV	Green	○	
多文化間交流論(1)	1	II～IV	Green	○	
多文化間交流論(2)	1	II～IV	Green	○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム ◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考
言語と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際協力学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	
グローバル文化学選択基礎	2	Ⅰ	White	○	
文化変動論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
文化変動論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
イスラム社会文化論Ⅰ(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
イスラム社会文化論Ⅰ(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
イスラム社会文化論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
オセアニア社会文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
オセアニア社会文化論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
対日交流論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
中国社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
東アジア社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
南アジア社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
アフリカ社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
地域研究特論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
英米事情	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○	
文化と人間関係Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
文化と人間関係Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
グローバル化と言語教育Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
グローバル化と言語教育Ⅱ(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
グローバル化と言語教育Ⅱ(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
文化と心理	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
表現行動論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○	
表現行動論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○	
言語と社会Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
言語と社会Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
多文化共生論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際交流論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際交流論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
多文化交流特論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際協力方法論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
国際協力方法論Ⅱ(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
国際協力方法論Ⅱ(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
平和構築論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
平和構築論Ⅱ(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
平和構築論Ⅱ(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
国際開発論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際開発論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
グローバル化と労働	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際機構論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際教育協力論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
NGO／NPO論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
比較社会政策論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
地域開発論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際金融論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際協力特論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
多文化交流実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	
多文化交流実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム ◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考
多文化交流実習Ⅲ	2	I～Ⅳ	Green	○	
多文化交流実習Ⅳ	2	I～Ⅳ	Red	○	
多文化交流実習Ⅴ	2	I～Ⅳ	Red	○	
グローバル文化学実習Ⅰ	2	I～Ⅳ	Green	○	
グローバル文化学実習Ⅱ	2	I～Ⅳ	Green	○	
地域研究実習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
地域研究実習Ⅱ	2	I～Ⅳ	Green	○	
国際協力実習Ⅰ	2	I～Ⅳ	Green	○	
国際協力実習Ⅱ	2	I～Ⅳ	Red	○	
国際協力実習Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
フィールドワーク方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
グローバル文化学方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
グローバル文化学特論	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	◎	
卒業研究	8	Ⅳ	Red	◎	
卒業研究演習	2	Ⅳ	Red	○	

副プログラム・学際プログラム

哲学・倫理学・美術史副プログラム

単位数：20

①教育目標

LA（リベラルアーツ）の中核を担う哲学・倫理学・美術史の使命は、わたしたちの人生を、いかに考え、いかに生き、いかに表現し、いかに幸福なものとするかという、もっとも根本的である共に実際の応用力の養成です。主・強化・副、そのいずれのレベルにおいても、普遍的価値の学習を基礎にしつ、根本につねにたちもどり現実の実践力を追求します。この高度教養教育に基づき、21世紀型LAは国際性・学際性・専門性を発信します。

本コースはこれに基づき構成され、人類が求めてきた真・善・美についての基礎的な勉強をするためのプログラムを作成しました。哲学、倫理学、美術史を効率よく学ぶためのプログラムになっている。

ねらいは二つあります。①哲学、倫理学、美術史を幅広くバランスよく学習することができるということ、②専門的に深く勉強することができるということ。これらの、一見すると相反する目標に対応するために必要な科目を用意し、それぞれのプログラムに配置しました。副プログラムは、とくに哲学、倫理学、美術史を全体として広く学ぶための科目を配置してあります。

②内容・構成

本プログラムは、哲学、倫理学、美術史の、基礎的な知識を幅広く得るために、基礎論、概論、特殊講義などからなります。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
哲学基礎論	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から20単位選択
倫理学基礎論	2	I～II	選択	Pink	
美術史基礎論	2	I～II	選択	Pink	
哲学概論I	2	I～IV	選択	Pink	
哲学概論II	2	I～IV	選択	Pink	
哲学A I	2	I～IV	選択	Green	
哲学A II	2	I～IV	選択	Green	
哲学A III	2	I～IV	選択	Green	
哲学A IV	2	I～IV	選択	Green	
哲学B I	2	I～IV	選択	Green	
哲学B II	2	I～IV	選択	Green	
哲学B III	2	I～IV	選択	Green	
哲学B IV	2	I～IV	選択	Green	
倫理学概論I	2	I～IV	選択	Pink	
倫理学概論II	2	I～IV	選択	Pink	
日本倫理思想史I	2	I～IV	選択	Green	
日本倫理思想史II	2	I～IV	選択	Green	
西洋倫理思想史I	2	I～IV	選択	Green	
西洋倫理思想史II	2	I～IV	選択	Green	
倫理学研究	2	II～IV	選択	Green	
西洋倫理思想史研究	2	II～IV	選択	Green	
宗教と倫理学	2	II～IV	選択	Green	
生命と倫理学	2	II～IV	選択	Green	
日本の社会と文化	2	II～IV	選択	Green	
形象分析学特殊講義I	4	II～IV	選択	Green	
形象分析学特殊講義II	4	II～IV	選択	Green	
形象分析学特殊講義III	4	II～IV	選択	Green	
西洋美術史A I	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史A II	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史A III	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史B I	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史B II	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史B III	2	II～IV	選択	Green	
東洋美術史A I	2	II～IV	選択	Green	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
東洋美術史AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
美術史学特殊講義Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
美術史学特殊講義Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	

①教育目標

比較歴史学の主プログラムを専攻しない学生に向けて、歴史学のエッセンスを学び、歴史を構成する基本的な地域・時間軸を理解し、歴史資料にもとづく研究法を学ぶことを目的としています。広く社会に生起する事象について、歴史学を学んだことで比較の軸としての複眼的視点を獲得することを目標とする。比較歴史学を主プログラムとしないすべての学生に向けて開かれています。また、中学社会科、高校地歴科および公民科の教職免許取得にも適します。

②内容・構成

歴史学の基礎的知識を身につけ歴史学を学ぶとはどういうことなのかを理解する入門型の初級科目、文献・情報収集方法や研究史の調べ方など必須の基礎知識を得るための中級科目、そして各時代・分野ごとの専門性の高い多彩な講義群（上級科目）で構成されます。自分の関心に応じて自由なカリキュラム編成が可能であり、幅広くさまざまな時代・地域を学ぶのもよいし、地域や時代を絞った履修形態をとることもできます（たとえば、東洋史型—東洋史の科目群を集中的に履修—、あるいは近世史型—日東西の近世関連科目の集中履修—など）。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
比較文化史	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から 20 単位選択
比較社会史	2	I～II	選択	Pink	
日本文化史概論	2	I～IV	選択	Pink	
日本史概説	2	I～IV	選択	Pink	
アジア史概説	2	I～IV	選択	Pink	
西洋史概説	2	I～IV	選択	Pink	
日本史研究法(1)	1	II	選択	Green	
日本史研究法(2)	1	II	選択	Green	
アジア史研究法(1)	1	II	選択	Green	
アジア史研究法(2)	1	II	選択	Green	
西洋史研究法(1)	1	II	選択	Green	
西洋史研究法(2)	1	II	選択	Green	
グローバル・ヒストリー	2	I～II	選択	Pink	
日本史講読	2	II	選択	Green	
アジア史講読	2	II	選択	Green	
西洋史講読	2	II	選択	Green	
古文書学	2	II～IV	選択	Green	
歴史史料学	2	II～IV	選択	Green	
歩いて学ぶ比較歴史 I	2	II～IV	選択	Green	
歩いて学ぶ比較歴史 II	2	II～IV	選択	Green	
歴史史料調査 I	2	III～IV	選択	Green	
歴史史料調査 II	2	III～IV	選択	Green	
歴史現地調査 I	2	III～IV	選択	Green	
歴史現地調査 II	2	III～IV	選択	Green	
考古学通論 I	2	II～IV	選択	Green	
考古学通論 II	2	II～IV	選択	Green	
歴史考古学	2	II～IV	選択	Green	
史跡調査	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世文化史	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代文化史	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世史特殊講義	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代史特殊講義	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世政治史	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代政治史	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世社会経済史	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代社会経済史	2	II～IV	選択	Green	
東アジア政治史	2	II～IV	選択	Green	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
西アジア政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア社会史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア社会史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア文化史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア文化史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋中世史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋近世史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋近現代史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
ドイツ史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
イギリス史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
歴史学文献講読Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
歴史学文献講読Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
都市社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較女性史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較家族史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
日本古代史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本古代史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本古代史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本古代史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
比較アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

①教育目標 総合科学（関係の学）としての地理学の知識を講義、演習によって提供し、自然・人文・社会科学のそれぞれの分野が問題とする現象の地域性、場所性について、地理的センスを身に付けてもらいます。 ②内容・構成 自然、政治、経済、社会、文化、言語などのいずれの現象においても、それらが生起する特定の地理的コンテキストの理解が不可欠です。近年の知識情報化社会では、地理的知識・スキル・センスのもつ重要性は、ますます高まるものと考えられます。こうした社会的要請にこたえるための地理学的基礎を、講義と実習で行います。
--

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
人間と空間	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から 12 単位選択
自然と人間	2	I～II	選択	Pink	
都市と自然	2	I	選択	Pink	
地誌学	2	II～IV	選択	Green	
都市地理学	2	I～IV	選択	Green	
経済地理学	2	I～IV	選択	Green	
社会地理学	2	I～IV	選択	Green	
自然地理学	2	I～IV	選択	Green	
地理学英書講読	2	I～II	選択	Green	以下の科目から 4 単位選択
地図学	2	II～IV	選択	Green	
測量学	2	II～IV	選択	Green	
人文地理学分析基礎演習	4	II～III	選択	Green	
環境地理学基礎演習	4	II～III	選択	Green	以下の科目から 2 単位選択
地域分析学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
環境地理学演習 I	2	II～III	選択	Red	
自然地理学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
社会地理学演習	2	II～IV	選択	Red	
都市・福祉地理学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
地理学フィールドワーク B	2	I～III	必修	Green	

①教育目標

本プログラムにおいては、日本語・日本文学について広範に学び、言語と文学の観点から日本文化の本質を考察する識見と力量を育むことを目標とします。日本語学・日本上代文学・日本中古文学・日本中世文学・日本近世文学・日本近代文学・日本現代文学の各領域にわたって、その基礎的なところを学習します。

②内容・構成

副プログラムは、日本語・日本文学以外のプログラムを主とする学生のためのカリキュラムです。基礎的知識の広範な習得を重視して、科目群も広範かつ基本的なものを配置しています。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
日本文学概説	2	I～II	必修	Pink	
日本古典文学史論（上代）	2	I～II	選択	Green	以下の科目から6単位選択
日本古典文学史論（中古）	2	I～III	選択	Green	
日本古典文学史論（中世）	2	II～III	選択	Green	
日本古典文学史論（近世）	2	II～IV	選択	Green	
日本近代文学史論（近代）	2	III～IV	選択	Green	
日本近代文学史論（現代）	2	III～IV	選択	Green	
日本語学通論	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から2単位選択
日本語語彙論	2	I～IV	選択	Green	
日本語文法総論	2	I～IV	選択	Green	
日本語音声表現論	2	I～IV	選択	Green	
日本語文章表現論	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から4単位選択
日本文学論講読Ⅰ	2	I～III	選択	Pink	
日本文学論講読Ⅱ	2	I～III	選択	Pink	
日本文学論講読Ⅲ	2	I～III	選択	Pink	
日本文学論講読Ⅳ	2	I～III	選択	Pink	
日本語学特殊研究	2	II～IV	選択	Green	以下の科目から6単位選択
日本語史特殊研究	2	II～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（上代）	2	I～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（中古）	2	II～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（中世）	2	II～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（近世）	2	II～IV	選択	Green	
日本近代文学論特殊研究（近代）	2	II～IV	選択	Green	
日本近代文学論特殊研究（現代）	2	II～IV	選択	Green	
日本語学特殊講義Ⅰ	2	II～IV	選択	Red	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	II～IV	選択	Red	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	II～IV	選択	Red	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	II～IV	選択	Red	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	

①教育目標

中国語圏言語文化コース以外の主プログラムを履修する学生が、その主プログラムの学習内容と中国の言語文化とを連携させて学際的な学習・研究を行うことを目標とします。

②内容・構成

本プログラムは、中国語の実践的運用能力を習得するための科目群（選択）、現代文化・現代語学・古典文献・古典文学の四分野の基本的知識を習得するための科目群（選択）、四分野に関する研究的アプローチの方法を習得するための科目群（選択）から構成されます。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
中国語学概論	2	I～II	必修	Pink	以下の科目から4単位以上選択
中国古典文学史（先秦～唐）	2	I～II	必修	Pink	
中国語ヒアリング基礎	2	I～II	選択	Green	
中国語コミュニケーション・スキル	2	II～IV	選択	Green	
中国語作文基礎演習	2	II～IV	選択	Red	
中国語作文応用演習	2	II～IV	選択	Red	
中国語講読	2	II～IV	選択	Green	以下の科目から6単位以上選択
中国文化論	2	II～IV	選択	Green	
中国現代作家論	2	II～IV	選択	Red	
日中対照言語学	2	II～IV	選択	Green	
中国語統語論	2	II～IV	選択	Green	
中国古典文献講読入門	2	II～IV	選択	Green	
中国古典文献講読基礎	2	II～IV	選択	Green	
中国文学古典講読	2	II～IV	選択	Green	
中国文学古典演習	2	II～IV	選択	Red	

①教育目標

英語圏言語文化副プログラムは、英語圏言語文化以外の領域を主専攻とする学生が副専攻として履修することを主たる目的として設置されています。また英語圏言語文化以外の主プログラムとこのプログラムを併せて履修する形で、中学・高等学校の教員免許（英語）を取得することも可能です。

②内容・構成

本プログラムの内容は、主として、英語圏の言語文化を研究するための基礎的科目群、中学・高等学校の教員免許（英語）取得に必要な単位を取得することのできる科目群、学際的研究に関心をもつ他専攻の学生に教養として英語圏言語文化に関する最先端の学問的成果を提供することを想定した科目群から構成されています。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
英文法Ⅰ(1)	1	I	必修	Pink	以下の科目から4単位選択
英文法Ⅰ(2)	1	I	必修	Pink	
英文法Ⅱ	2	I	必修	Pink	
英米文学演習（初級）	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Pink	
英作文演習（初級）	2	Ⅱ	選択	Pink	
英会話演習（初級）	2	Ⅱ	選択	Pink	
英語学入門(1)	1	Ⅱ	選択	Pink	以下の科目から4～6単位選択
英語学入門(2)	1	Ⅱ	選択	Pink	
英語学概論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英文法演習	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英語音声学演習	2	Ⅱ	選択	Green	
英文学史Ⅰ(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
英文学史Ⅰ(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
英文学史Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
米文学史Ⅰ(1)	1	Ⅲ	選択	Green	
米文学史Ⅰ(2)	1	Ⅲ	選択	Green	
米文学史Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Green	
英作文演習（中級）	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	以下の科目から6～8単位選択
英会話演習（中級）	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅴ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅵ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅶ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅷ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅵ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅶ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語圏言語文化研究Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英語圏言語文化研究Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英語圏言語文化研究Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英米事情(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
英米事情(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
第二言語教授法研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	

①教育目標

仏語圏言語文化以外の主プログラムを履修した学生が、自分が学んだ主プログラムの内容と本プログラムの内容とを関連させて、学際的な知識や複合的な能力を獲得することを目標とします。

②内容・構成

主プログラムを構成する5つの科目群から、学科共通科目の科目群を除いた残りの4つの科目群から構成されます。履修者の関心に応じて、特に1つの分野を集中的に履修してもよく、また幅広くいくつかの分野を履修するのもよいでしょう。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
欧州文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	以下の科目から20単位選択
欧州文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西欧社会文化論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
西欧社会文化論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
西欧社会文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西欧社会文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
独文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
独文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
独文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
独文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
ギリシャ語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
ラテン語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
現代スペイン語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
現代イタリア語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏社会言語論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
基礎仏作文演習	2	Ⅱ	選択	Green	
中級仏作文演習	2	Ⅱ	選択	Green	
基礎仏会話演習	2	Ⅱ	選択	Green	
中級仏会話演習	2	Ⅱ	選択	Green	
上級仏会話演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
上級仏会話演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
基礎仏語学演習	2	Ⅲ	選択	Red	
中級仏語学演習	2	Ⅲ	選択	Red	
上級仏語学演習Ⅰ	2	Ⅳ	選択	Red	
上級仏語学演習Ⅱ	2	Ⅳ	選択	Red	
応用仏語学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
応用仏語学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
現代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
現代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
現代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
仏文学特殊研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
仏文学特別研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

①教育目標

・多様な言語、文化的背景を持つ日本語学習者を理解し、彼らのコミュニケーション能力を向上させるための基盤となる理論や方法、専門性と実践力をもったグローバル社会の日本語教育専門家を育成します。

・外国語または第二言語としての日本語教育のスキルを獲得します。

②内容・構成

・日本語教育副プログラムの科目を学ぶことにより、国内外の教育機関等で活躍する日本語教育専門家に必要とされる専門知識の基礎や実践力を学びます。

・所定の科目群中、必修科目を2単位、選択科目を18単位履修すればこのプログラムの必要要件を満たすことができます。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
第二言語教授法演習Ⅰ	2	I～Ⅳ	必修	Pink	以下の科目から18単位選択
第二言語教授法演習Ⅱ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語表現法概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育学研究法実習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
日本語教育学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育法演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
多文化間人間関係論演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
異文化間教育学演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
社会言語学演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
日本語学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語非母語話者年少者教育学概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育学特殊講義	2	I～Ⅳ	選択	Green	

①教育目標

社会学プログラムは、理論的ないし実証的方法により、人間の意識と行動の社会的側面、およびその基盤をなす社会の構造と変動を多角的に分析・考察し、人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを目標としています。社会学の基礎理論と研究方法、および社会意識、ジェンダー、社会政策等の主要な研究領域に対応する科目、および文化人類学、教育社会学等の隣接領域に関する科目を用意し、学生それぞれが持つ社会に対する関心を育てる事を目指しています。

②内容・構成

社会学以外の主プログラムを履修する学生を対象とした副プログラムでは、社会学・行動科学の基礎を学ぶ為の、「人間と社会」を含む学科共通科目を2科目4単位履修する他、社会調査法4単位を必修とする事で社会学の特色である実証研究の方法を修得します。また社会学の講義科目から4科目履修する事で多様な社会学的テーマについての理解を深め、社会学の演習科目2科目に参加する事で、反省的批判的思考の訓練をしながら自らの問題関心を育ててゆく事を目指します。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
人間と社会	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から4単位選択。ただし、人間社会科学科の学生は、本プログラムの他の科目で単位を満たすことができる。
人間科学論	2	I～II	選択	Pink	
人間科学方法論	2	I～II	選択	Pink	
人間と情報	2	I～II	選択	Pink	
人間と発達	2	I～II	選択	Pink	
ジェンダー論	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から8単位選択
現代社会論	2	I～IV	選択	Pink	
現代生活論	2	I～IV	選択	Pink	
社会意識論	2	II～IV	選択	Green	
比較社会論	2	II～IV	選択	Green	
社会政策論Ⅰ	2	I～IV	選択	Pink	
社会政策論Ⅱ	2	II～IV	選択	Green	
社会問題論(1)	1	II～IV	選択	Green	
社会問題論(2)	1	II～IV	選択	Green	
社会調査の設計と実施	2	I～IV	選択	Pink	
ジェンダー論演習Ⅰ	2	III～IV	選択	Red	以下の科目から4単位選択
ジェンダー論演習Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
現代社会論演習Ⅰ	2	III～IV	選択	Red	
現代社会論演習Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
社会保障論演習Ⅰ	2	III～IV	選択	Red	
社会保障論演習Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
社会政策論演習Ⅰ	2	II～IV	選択	Red	
社会政策論演習Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	
現代生活論演習Ⅰ	2	III～IV	選択	Red	
現代生活論演習Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
社会意識論演習Ⅰ	2	III～IV	選択	Red	
社会意識論演習Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
社会調査法	4	II～IV	必修	Red	

①教育目標

教育科学以外の主プログラムを履修した学生が、自分が学んだ主プログラムの内容と教育科学の内容とを関連させて、学際的な研究を行うことを目標とします。

②内容・構成

「人間と発達」（教育科学コースの担当教員が自分の専門領域の概要を講義）を必修としつつ、概論（3～5科目）と特殊講義（3～5科目）を中心に履修します。基本的な知識を幅広く得るために概論・特殊講義を広く履修することも可能ですが、特定のことがらを深く学ぶために特定領域の概論・特殊講義を土台にして最後に演習を履修することもできます。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
人間と発達	2	I～II	必修	Pink	以下の科目から6単位以上選択
教育思想概論(1)	1	I～IV	選択	Pink	
教育思想概論(2)	1	I～IV	選択	Pink	
教育史概論(1)	1	I～IV	選択	Pink	
教育史概論(2)	1	I～IV	選択	Pink	
教育社会学概論(1)	1	I～IV	選択	Pink	
教育社会学概論(2)	1	I～IV	選択	Pink	
文化人類学概論(1)	1	I～IV	選択	Pink	
文化人類学概論(2)	1	I～IV	選択	Pink	
教育制度概論	2	I～IV	選択	Pink	
教育方法学概論(1)	1	I～IV	選択	Pink	
教育方法学概論(2)	1	I～IV	選択	Pink	
教育課程概論	2	I～IV	選択	Pink	
教育開発概論(1)	1	I～IV	選択	Pink	
教育開発概論(2)	1	I～IV	選択	Pink	
生涯学習概論(1)	1	I～IV	選択	Pink	
生涯学習概論(2)	1	I～IV	選択	Pink	
教育科学概論Ⅰ	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から6単位以上選択
教育科学概論Ⅱ	2	I～IV	選択	Pink	
教育思想特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育人間学特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育史特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育制度特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育社会学特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
学校社会学特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
文化人類学特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
民族誌学特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育方法学特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育課程特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育開発特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
比較教育特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
生涯学習特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
社会教育学特殊講義	2	I～IV	選択	Green	
教育科学特殊講義Ⅰ	2	I～IV	選択	Green	以下の科目から0～8単位選択
教育科学特殊講義Ⅱ	2	I～IV	選択	Green	
教育科学特殊講義Ⅲ	2	II～IV	選択	Green	
教育科学特殊講義Ⅳ	2	I～IV	選択	Green	
学校インターンシップ	2	II～IV	選択	Green	
教育思想演習	4	III～IV	選択	Red	
教育人間学演習	4	III～IV	選択	Red	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
教育史演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育制度演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育社会学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
学校社会学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
文化人類学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
民族誌学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育方法学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育課程演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育開発演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較教育演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
生涯学習演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
社会教育学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育科学演習Ⅰ	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育科学演習Ⅱ	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

①教育目標

心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。副プログラム A (人間社会科学科学生用) では、学生に、心理学を理解するために必要な基礎的な知識と技法を学ばせるとともに、それぞれが主専攻として学ぶ社会学あるいは教育学と心理学との融合的な視点を獲得させ、人間に関わる事象と社会とのかかわりについての理解を深化させることを目的としています。

②内容・構成

概論および展開の履修によって心理学の基礎的かつ幅広い教養を身に付けるとともに、心理学の基本的方論 (心理統計学および演習 (基礎)) を習得し、人間に関わる事象への理解と科学的な見方を養います。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
発達心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から4単位以上選択
認知心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
教育心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
社会心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
臨床心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
心理統計法	2	II～IV	選択	Pink	
発達心理学演習 (基礎)	2	II～IV	選択	Green	以下の科目から4単位以上選択
認知心理学演習 (基礎)	2	II～IV	選択	Green	
教育心理学演習 (基礎)	2	II～IV	選択	Green	
社会心理学演習 (基礎)	2	II～IV	選択	Green	
臨床心理学演習 (基礎)	2	II～IV	選択	Green	
発達心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
認知心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
教育心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
社会心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
臨床心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
発達心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
認知心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
教育心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
社会心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
臨床心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	

①教育目標

心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。副プログラム B (人間社会科学科以外学生用) では、学生に、心理学を理解するために必要な基礎的な知識と基本的な技法を学ばせ、人間に関わる事象に関するより深い理解力を身につけさせます。

②内容・構成

概論・心理基礎科目および展開の履修によって心理学の基礎的かつ幅広い教養を身に付け、人間に関わる事象への理解と科学的な見方を養います。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
人間科学方法論	2	I～II	必修	Pink	以下の科目から4単位以上選択
人間と情報	2	I～II	必修	Pink	
発達心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
認知心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
教育心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
社会心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
臨床心理学概論	2	I～IV	選択	Pink	
心理統計法	2	II～IV	選択	Pink	以下の科目から4単位以上選択
発達心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
認知心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
教育心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
社会心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
臨床心理学の展開	2	II～III	選択	Green	
発達心理学演習(基礎)	2	II～IV	選択	Green	
認知心理学演習(基礎)	2	II～IV	選択	Green	
教育心理学演習(基礎)	2	II～IV	選択	Green	
社会心理学演習(基礎)	2	II～IV	選択	Green	
臨床心理学演習(基礎)	2	II～IV	選択	Green	
発達心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
認知心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
教育心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
社会心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	
臨床心理学特殊講義	2	II～IV	選択	Red	

①教育目標

舞踊教育学コース副プログラムでは、他コースの学生を対象として、舞踊や運動科学に関する基礎的な科目を提供します。このプログラムを履修することにより、舞踊や運動が人間にとってどのような意義があるのかについての理解を深めることが出来、自らの専門分野の研究に活かすことが出来ます。

②内容・構成

舞踊学概論は本プログラムにおける中心的科目であり、必修科目に位置づけられています。その他の科目は概論、演習、特殊講義、実習から構成されていますが、演習科目の履修には、その基礎となる概論科目をあらかじめ履修しておくことが条件とされます。実習科目は舞踊や運動経験の少ない人でも無理なく履修できる内容となっており、理論面での理解を深めるためにも履修することが望ましいものです。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
舞踊学概論	2	I	必修	Pink	
表現行動論Ⅰ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	以下の科目から6～14単位選択
表現行動論Ⅱ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
舞踊芸術学	2	Ⅱ	選択	Green	
民族舞踊学(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
民族舞踊学(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
臨床舞踊論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
スポーツ人間学(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
スポーツ人間学(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
体育原理	2	Ⅱ	選択	Green	
動作学(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
動作学(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
舞踊・運動科学研究法入門	2	Ⅱ	選択	Pink	以下の科目から0～4単位選択
舞踊芸術学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
舞踊芸術学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
民族舞踊学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
民族舞踊学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
臨床舞踊論実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
臨床舞踊論実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
スポーツ人間学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
スポーツ人間学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
動作学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
動作学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
スポーツ文化論演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	以下の科目から0～8単位選択
スポーツ文化論演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
体育心理学	2	I～Ⅳ	選択	Green	
運動学（運動方法学を含む）	2	I～Ⅳ	選択	Green	
解剖学	2	Ⅱ	選択	Green	
生理学（運動生理学を含む）	2	Ⅱ	選択	Green	
舞踊学特殊講義	2	I～Ⅳ	選択	Green	
運動科学特殊講義	2	I～Ⅳ	選択	Green	以下の科目から0～2単位選択
舞踊教育法実習（初等教育）	1	I～Ⅳ	選択	Green	
舞踊教育法実習（中等教育）	1	Ⅲ	選択	Green	
民族舞踊実習（基礎）	1	I～Ⅳ	選択	Pink	

①教育目標

音楽表現コース副プログラムでは、他コースの学生を対象として、音楽学に関する基礎的な科目を提供します。このプログラムを履修することにより、音楽に対してどのような学問的アプローチがあるのか、について理解を深めるとともに、自らの専門分野との関連を学ぶことが出来ます。

②内容・構成

音楽学概論と日本音楽史概論、西洋音楽史ⅠとⅡは、必修科目です。その他の科目は概論や演習からなっていますが、演習科目の履修には、その基礎となる概論科目をあらかじめ履修しておく必要があります。なお、西洋音楽史ⅠおよびⅡ、音楽学研究法、音楽学基礎演習はいずれも英語のテキストを使用します。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
音楽学概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	以下の科目から8～14単位選択
日本音楽史概論	2	I	選択	Pink	
西洋音楽史Ⅰ	2	I	選択	Pink	
西洋音楽史Ⅱ	2	Ⅱ	選択	Green	
音楽学研究法	2	Ⅱ	選択	Green	
音楽形式論	2	I～Ⅱ	選択	Pink	
民族音楽学	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
音楽学基礎演習Ⅰ	2	Ⅱ	選択	Green	以下の科目から4～8単位選択
音楽学基礎演習Ⅱ	2	Ⅱ	選択	Green	
音楽学研究演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
音楽学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	以下の科目から0～4単位選択
音楽学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋音楽史特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋音楽史特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
アジア音楽論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
アジア音楽論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	

①教育目標

グローバル化時代に、文化の差異を理解しながら、その差異をこえて協働し、人々と共に新しい関係や価値を創り出していく力をもった市民を育てます。

②内容・構成

次の科目群からなり、いずれの科目においても学生との双方向的教育を重視し、国内外かからの講師招聘やインターネットを含む交流授業を取り入れています。

- (1) 政治・経済・文化のグローバル化を理解する基礎科目
- (2) 変容する地域や文化をどのように理解するかを学ぶ「地域研究・地域文化（COMPREHENSION）」
- (3) 多様な文化をもつ人々が交流するための理論と実践を学ぶ「多文化交流（COMMUNICATION）」
- (4) 国際的な場での平和と協力について学ぶ「国際関係・国際協力（COLLABORATION）」
- (5) 地域研究、多文化交流、国際協力にかかわる現場を体験し、現場でのコミュニケーションや問題解決の力を養う「実習」
- (6) グローバル文化学にかかわる研究法

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
グローバル文化学総論	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から4～8単位選択
国際関係論	2	I～IV	選択	Pink	
政治学概論	2	I～IV	選択	Pink	
グローバル・メディア論	2	I～IV	選択	Pink	
グローバル化と経済	2	I～IV	選択	Pink	
比較ジェンダー論	2	I～IV	選択	Green	
比較法文化論	2	I～IV	選択	Pink	
グローバル・ヒストリー	2	I～IV	選択	Pink	
地域研究方法論	2	II～IV	選択	Green	
文化理論研究	2	II～IV	選択	Green	
多文化間交流論(1)	1	II～IV	選択	Green	
多文化間交流論(2)	1	II～IV	選択	Green	
言語と文化	2	II～IV	選択	Green	
国際協力学	2	I～IV	選択	Green	
文化変動論Ⅰ	2	II～IV	選択	Green	
文化変動論Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
イスラム社会文化論Ⅰ(1)	1	II～IV	選択	Green	
イスラム社会文化論Ⅰ(2)	1	II～IV	選択	Green	
イスラム社会文化論Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
オセアニア社会文化論Ⅰ	2	II～IV	選択	Green	
オセアニア社会文化論Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
対日交流論	2	II～IV	選択	Green	
中国社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
東アジア社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
南アジア社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
アフリカ社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
地域研究特論	2	II～IV	選択	Green	
英米事情	2	III～IV	選択	Green	
文化と人間関係Ⅰ	2	II～IV	選択	Green	
文化と人間関係Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	
グローバル化と言語教育Ⅰ	2	II～IV	選択	Green	
グローバル化と言語教育Ⅱ(1)	1	III～IV	選択	Red	
グローバル化と言語教育Ⅱ(2)	1	III～IV	選択	Red	
文化と心理	2	II～IV	選択	Green	
表現行動論Ⅰ	2	I～IV	選択	Pink	
表現行動論Ⅱ	2	I～IV	選択	Pink	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
言語と社会Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
言語と社会Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
多文化共生論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際交流論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際交流論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流特論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力方法論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力方法論Ⅱ(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
国際協力方法論Ⅱ(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
平和構築論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
平和構築論Ⅱ(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
平和構築論Ⅱ(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
国際開発論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際開発論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
グローバル化と労働	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際機構論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際教育協力論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
N G O／N P O 論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較社会政策論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
地域開発論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際金融論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力特論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
多文化交流実習Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流実習Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
多文化交流実習Ⅴ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
グローバル文化学実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
グローバル文化学実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
地域研究実習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
地域研究実習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
国際協力実習Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フィールドワーク方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
グローバル文化学方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
卒業研究演習	2	Ⅳ	選択	Red	

芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
●専攻科目（必修）					
舞踊芸術学	2	Ⅱ	必修	Green	
民族舞踊学(1)	1	Ⅱ	必修	Green	
民族舞踊学(2)	1	Ⅱ	必修	Green	
臨床舞踊論	2	Ⅱ	必修	Green	
スポーツ人間学(1)	1	Ⅱ	必修	Green	
スポーツ人間学(2)	1	Ⅱ	必修	Green	
体育原理	2	Ⅱ	必修	Green	
動作学(1)	1	Ⅱ	必修	Green	
動作学(2)	1	Ⅱ	必修	Green	
モダンダンス・テクニク（初級）	1	Ⅰ	必修	Pink	
舞踊創作法実習（舞踊構成法）	1	Ⅱ	必修	Green	
舞踊創作法実習（即興創作）	1	Ⅰ	必修	Pink	
民族舞踊実習（基礎）	1	Ⅰ	必修	Pink	
舞踊教育法実習（中等教育）	1	Ⅲ	必修	Green	
舞踊・運動科学研究法入門	2	Ⅱ	必修	Pink	
舞踊・運動科学研究法演習	2	Ⅲ	必修	Red	
卒業論文	8	Ⅳ	必修	Red	
●専攻科目（選択）					専攻科目（選択）及び関連科目から35単位以上選択
舞踊学概論	2	Ⅰ	選択	Pink	
表現行動論Ⅰ	2	Ⅰ	選択	Pink	
表現行動論Ⅱ	2	Ⅰ	選択	Pink	
モダンダンス・テクニク（中級）Ⅰ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
モダンダンス・テクニク（中級）Ⅱ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
モダンダンス・テクニク（上級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
舞踊創作法実習（舞踊上演・制作）	2	Ⅲ	選択	Red	
舞踊教育法実習（初等教育）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
民族舞踊実習（発展）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
舞踊上演法実習（初級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
舞踊上演法実習（中級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
舞踊上演法実習（上級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
舞踊表現技法実習	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
舞踊芸術学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
舞踊芸術学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
民族舞踊学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
民族舞踊学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
臨床舞踊論実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
臨床舞踊論実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
スポーツ人間学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
スポーツ人間学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
動作学実験演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
動作学実験演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
スポーツ文化論演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
スポーツ文化論演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
陸上競技	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
器械体操	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
球技	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
体づくり運動・武道	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	

授業科目一覧

Ⅲ

2

専門教育科目
文教育学部

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
水泳実習	1	I～Ⅳ	選択	Green	
日本舞踊実習	1	I～Ⅳ	選択	Green	
バレエ実習	1	I～Ⅳ	選択	Green	
舞踊音楽構成法	1	I～Ⅳ	選択	Green	
運動学（運動方法学を含む）	2	I～Ⅳ	選択	Green	
解剖学	2	Ⅱ	選択	Green	
生理学（運動生理学を含む）	2	Ⅱ	選択	Green	
体育心理学	2	I～Ⅳ	選択	Green	
衛生学及び公衆衛生学	2	I～Ⅳ	選択	Green	
学校保健	2	I～Ⅳ	選択	Green	
病理学	2	I～Ⅳ	選択	Green	
学校安全と救急看護	2	I～Ⅳ	選択	Green	
舞踊学特殊講義	2	I～Ⅳ	選択	Green	
運動科学特殊講義	2	I～Ⅳ	選択	Green	
表現療法講義演習	2	I～Ⅳ	選択	Red	
●関連科目（選択）					
教育方法学概論	2		選択	Pink	
教育社会学概論	2		選択	Pink	
文化人類学概論	2		選択	Pink	
生涯学習概論	2		選択	Pink	
●専攻科目（選択）－高大連携科目					
舞踊教育学選択基礎	2	I	選択	White	
高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1－2（第6条関係）「自由に選択して履修する科目・単位」内の「専攻科目 選択」の単位として認定することができる。					

芸術・表現行動学科 音楽表現コース

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
●専攻科目（必修）					
ソルフェージュ	2	必修	I	Pink	
音楽形式論	2	必修	I～II	Pink	
ピアノ基礎	4	必修	I	Pink	
音楽基礎	4	必修	I	Pink	
作曲原論 I	2	必修	I	Pink	
作曲原論 II	2	必修	I	Pink	
西洋音楽史 I	2	必修	I	Pink	
西洋音楽史 II	2	必修	II	Green	
日本音楽史概論	2	必修	I	Pink	
音楽学研究法	2	必修	II	Green	
音楽学基礎演習 I	2	必修	II	Green	
音楽学基礎演習 II	2	必修	II	Green	
卒業研究	8	必修	IV	Red	
●専攻科目（選択）					以下の科目から 28 単位以上選択
ピアノ発展 A	4	選択	II～IV	Red	
ピアノ発展 B	4	選択	II～IV	Red	
ピアノ発展 C	4	選択	II～IV	Red	
ピアノ研究演習 A I	2	選択	II～IV	Pink	
ピアノ研究演習 A II	2	選択	II～IV	Pink	
ピアノ研究演習 B I	2	選択	II～IV	Pink	
ピアノ研究演習 B II	2	選択	II～IV	Pink	
ピアノ研究演習 C I	2	選択	II～IV	Pink	
ピアノ研究演習 C II	2	選択	II～IV	Pink	
ピアノレパートリー研究 A I	2	選択	II～IV	Green	
ピアノレパートリー研究 A II	2	選択	II～IV	Green	
ピアノレパートリー研究 B I (1)	1	選択	II～IV	Green	
ピアノレパートリー研究 B I (2)	1	選択	II～IV	Green	
ピアノレパートリー研究 B II (1)	1	選択	II～IV	Green	
ピアノレパートリー研究 B II (2)	1	選択	II～IV	Green	
ピアノレパートリー研究 C I	2	選択	II～IV	Green	
ピアノレパートリー研究 C II	2	選択	II～IV	Green	
ピアノ特別演習 A I	2	選択	II～IV	Green	
ピアノ特別演習 A II	2	選択	II～IV	Green	
ピアノ特別演習 B I	2	選択	II～IV	Green	
ピアノ特別演習 B II	2	選択	II～IV	Green	
ピアノ特別演習 C I	2	選択	II～IV	Green	
ピアノ特別演習 C II	2	選択	II～IV	Green	
ピアノ演奏法研究 A I	2	選択	II～IV	Red	
ピアノ演奏法研究 A II	2	選択	II～IV	Red	
ピアノ演奏法研究 B I	2	選択	II～IV	Red	
ピアノ演奏法研究 B II	2	選択	II～IV	Red	
ピアノ演奏法研究 C I	2	選択	II～IV	Red	
ピアノ演奏法研究 C II	2	選択	II～IV	Red	
ピアノ合奏研究	2	選択	II～IV	Green	
室内楽研究	2	選択	II～IV	Green	
副科ピアノ A	2	選択	II～IV	Pink	
副科ピアノ B	2	選択	II～IV	Pink	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
副科ピアノC	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Pink	
ピアノ指導法研究(1)	1	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
ピアノ指導法研究(2)	1	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
声楽発展A	4	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
声楽発展B	4	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
声楽発展C	4	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
声楽特別演習	4	選択	Ⅱ～Ⅳ	Pink	
歌曲研究AⅠ	2	選択	Ⅲ～Ⅳ	Green	
歌曲研究AⅡ	2	選択	Ⅲ～Ⅳ	Green	
歌曲研究BⅠ	2	選択	Ⅲ～Ⅳ	Green	
歌曲研究BⅡ	2	選択	Ⅲ～Ⅳ	Green	
オペラ研究AⅠ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
オペラ研究AⅡ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
オペラ研究AⅢ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
オペラ研究AⅣ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
オペラ研究BⅠ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
オペラ研究BⅡ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
オペラ研究BⅢ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
オペラ研究BⅣ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Red	
演奏身体論AⅠ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
演奏身体論AⅡ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
演奏身体論BⅠ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
演奏身体論BⅡ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
演奏身体論CⅠ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
演奏身体論CⅡ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
副科声楽A	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Pink	
副科声楽B	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Pink	
副科声楽C	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Pink	
声楽指導法研究Ⅰ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
声楽指導法研究Ⅱ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
音楽学概論	2	選択	I	Pink	
指揮法	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Pink	
作曲Ⅰ	4	選択	I	Green	
作曲Ⅱ	4	選択	Ⅱ	Green	
西洋音楽史特殊講義Ⅰ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
西洋音楽史特殊講義Ⅱ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
民族音楽学	2	選択	Ⅲ～Ⅳ	Green	
アジア音楽論Ⅰ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
アジア音楽論Ⅱ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
音楽学研究演習	4	選択	Ⅲ	Red	
音楽学特殊講義Ⅰ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
音楽学特殊講義Ⅱ	2	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
日本音楽演奏法	2	選択	Ⅲ～Ⅳ	Pink	
合唱演習Ⅰ	2	選択	I～Ⅳ	Pink	
合唱演習Ⅱ	2	選択	I～Ⅳ	Green	
合奏演習	2	選択	I	Pink	
クリエイティブ・ミュージック・メイキング	4	選択	Ⅱ～Ⅳ	Green	
卒業演奏研究(ピアノ)	2	選択	Ⅳ	Red	
卒業演奏研究(声楽)	2	選択	Ⅳ	Red	
卒業論文演習	4	選択	Ⅳ	Red	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
●専攻科目（選択）－高大連携科目					
音楽表現選択基礎	2	選択	I	White	
高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1－2（第6条関係）「自由に選択して履修する科目・単位」内の「専攻科目選択」の単位として認定することができる。					

学部共通科目

授業科目名	単位	CCBM
ギリシャ語	4	Pink
ラテン語	4	Pink
現代スペイン語	4	Pink
現代イタリア語	4	Pink
現代アジア諸語Ⅰ	2	Pink
現代アジア諸語Ⅱ	2	Pink
現代アジア諸語Ⅲ	2	Pink
現代アジア諸語Ⅳ	2	Pink

全学共通科目

授業科目名	単位	CCBM	備考
NPO入門	2	Pink	
女性リーダーへの道（入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（ロールモデル入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（実践入門編）	2	Green	
平和と共生演習	2	Pink	
国際共生社会論実習	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅠ	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅡ	2	Pink	
情報コミュニケーション技術と創発性	2	Pink	
働く女性の権利と地位	2	Pink	卒業単位に含めることができない
共生社会で働く	2	Green	卒業単位に含めることができない
グループワークとマネジメント	2	Green	卒業単位に含めることができない
キャリアプランニング実習	1	Pink	卒業単位に含めることができない
インターンシップ	1	Pink	卒業単位に含めることができない
クリエイティブ・ライティングⅠ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅣ	2	Green	
博物館概論	2	Ivory	
博物館資料論	2	Ivory	
博物館経営論	2	Ivory	
博物館資料保存論	2	Ivory	
博物館展示論	2	Ivory	
博物館教育論	2	Ivory	
博物館実習	3	Ivory	
博物館情報・メディア論	2	Ivory	
初等解析Ⅰ	2	Pink	
初等解析Ⅱ(1)	1	Pink	
初等解析Ⅱ(2)	1	Pink	
初等線形代数学	2	Pink	
初等代数学	2	Pink	
物理学概論A	2	Pink	
物理学概論B	2	Pink	
基礎化学A	2	Pink	

授業科目名	単位	CCBM	備考
基礎化学 B(1)	1	Pink	
基礎化学 B(2)	1	Pink	
基礎生物学 A	2	Pink	
基礎生物学 B	2	Pink	
宇宙・地球科学	2	Pink	
地球環境科学	2	Pink	
大気・海洋科学概論	2	Pink	
地史・古生物学概論	2	Pink	
物理学基礎実験	2	Pink	
化学基礎実験	2	Pink	
生物学基礎実験	2	Pink	
地学基礎実験	2	Pink	
数理基礎論	2	Pink	
確率序論	2	Green	
コンピュータシステム序論	2	Pink	
生命情報学概論(1)	1	Green	
生命情報学概論(2)	1	Green	
計算生物学(1)	1	Green	
計算生物学(2)	1	Green	
海外交換留学等認定科目	2～12	White	
科学英語 I	2	White	
科学英語 II	2	White	
Advanced Communication Training I	2	Red	
Advanced Communication Training II	2	Red	
Advanced Communication Training III	2	Red	
Advanced Communication Training IV	2	Red	
Advanced Communication Training V	2	Red	
Advanced Communication Training VI	2	Red	
Academic Writing	2	Red	
Academic Presentation	2	Red	
Summer Program in English I	2	Pink	
Summer Program in English II	2	Pink	
Summer Program in English III	2	Pink	
Summer Program in English IV	2	Pink	
Summer Program in English V	2	Pink	
Summer Program in English VI	2	Pink	
国際交流実習	2	Red	
Interdisciplinary Lectures in English I	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English II	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English III	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English IV	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English V	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English VI	2	White	
物理学サプリメント	2	Pink	卒業単位に含めることができない
生物学サプリメント	2	Pink	卒業単位に含めることができない
英語基礎強化ゼミ	2	Pink	卒業単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ R/L	2	White	卒業単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ S/W	2	White	卒業単位に含めることができない
IELTS 対策ゼミ R/L	2	White	卒業単位に含めることができない
IELTS 対策ゼミ S/W	2	White	卒業単位に含めることができない
企画・運営力養成講座	2	White	卒業単位に含めることができない

授業科目名	単位	CCBM	備考
中国語力強化ゼミⅠ	2	Green	卒業単位に含めることができない
中国語力強化ゼミⅡ	2	Green	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅰ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅱ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅲ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅳ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅴ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅵ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅶ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅷ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅸ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅹ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅠ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅡ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅢ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅣ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅤ	1	White	卒業単位に含めることができない

人間社会科学科教職科目

社会コース（中学校・高等学校）教科に関する科目

授業科目名	単位	CCBM
日本史概説	2	Pink
日本文化史概論	2	Pink
アジア史概説	2	Pink
西洋史概説	2	Pink
考古学通論Ⅰ	2	Green
考古学通論Ⅱ	2	Green
歴史考古学	2	Green
グローバル・ヒストリー	2	Pink
教育史演習	4	Red
都市と自然	2	Pink
地誌学	2	Pink
自然と人間	2	Pink
人間と空間	2	Pink
地図学	2	Pink
社会地理学	2	Pink
自然地理学	2	Pink
法学総論Ⅰ	2	Pink
法学総論Ⅱ	2	Pink
政治学総論Ⅰ	2	Pink
政治学総論Ⅱ	2	Pink
教育制度演習	4	Red
現代生活論	2	Pink
国際関係論	2	Pink
国際協力方法論Ⅰ	2	Green
国際開発論Ⅰ	2	Green
国際協力学	2	Green
平和構築論Ⅰ	2	Green

授業科目名	単位	CCBM
国際機構論	2	Green
社会学総論Ⅰ	2	Pink
社会学総論Ⅱ	2	Pink
経済学総論Ⅰ	2	Pink
経済学総論Ⅱ	2	Pink
教育社会学特殊講義	2	Green
教育社会学演習	4	Red
学校社会学演習	4	Red
生涯学習概論(1)	1	Pink
生涯学習概論(2)	1	Pink
現代社会論	2	Pink
文化人類学概論(1)	1	Pink
文化人類学概論(2)	1	Pink
文化人類学特殊講義	2	Green
民族誌学特殊講義	2	Green
文化人類学演習	4	Red
民族誌学演習	4	Red
社会政策論Ⅰ	2	Pink
社会調査法	4	Red
比較社会政策論	2	Green
哲学総論	2	Pink
倫理学総論	2	Pink
教育思想演習	4	Red
教育人間学演習	4	Red
社会心理学概論	2	Pink
認知心理学概論	2	Pink

社会コース（中学校・高等学校）教職に関する科目

授業科目名	単位	CCBM
教職概論(1)	1	Ivory
教職概論(2)	1	Ivory
教育思想概論(1)	1	Pink
教育思想概論(2)	1	Pink
教育史概論(1)	1	Pink
教育史概論(2)	1	Pink
教育心理学概論	2	Pink
発達心理学概論	2	Pink
発達臨床心理学 I	2	Green
教育制度概論	2	Pink
教育社会学概論(1)	1	Pink
教育社会学概論(2)	1	Pink
教育課程概論	2	Pink

授業科目名	単位	CCBM
社会科教育法 I（地理歴史）	2	Ivory
社会科教育法 II（公民）	2	Ivory
公民科教育法	2	Ivory
道徳教育の研究	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory
教育方法学概論(1)	1	Pink
教育方法学概論(2)	1	Pink
臨床心理学概論	2	Pink
学校臨床学	2	Pink
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	高校は2単位 中学校は4単位	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory

教職〔小学校・幼稚園コース〕

教科に関する科目

授業科目名	単位	CCBM
国語科教育論	2	Ivory
社会科教育論	2	Ivory
算数科教育論	2	Ivory
理科教育論	2	Ivory
生活科教育論	2	Ivory
家庭科教育論	2	Ivory

授業科目名	単位	CCBM
教職ピアノ	1	Ivory
教職声楽	1	Ivory
教職合唱	1	Ivory
教職指揮法	1	Ivory
図工科教育論	2	Ivory
幼・小体育実技	2	Ivory

教職に関する科目

授業科目名	単位	CCBM
教職概論(1)	1	Ivory
教職概論(2)	1	Ivory
教育思想概論(1)	1	Pink
教育思想概論(2)	1	Pink
教育史概論(1)	1	Pink
教育史概論(2)	1	Pink
教育心理学概論	2	Pink
発達心理学概論	2	Pink
発達臨床心理学 I	2	Green
教育制度概論	2	Pink
教育社会学概論(1)	1	Pink
教育社会学概論(2)	1	Pink
教育課程概論	2	Pink
小学校教材研究(国語)	2	Ivory
小学校教材研究(社会)	2	Ivory
小学校教材研究(算数)	2	Ivory
小学校教材研究(理科)	2	Ivory
小学校教材研究(生活)	2	Ivory
小学校教材研究(音楽)	2	Ivory
小学校教材研究(図工)	2	Ivory
小学校教材研究(家庭)	2	Ivory
小学校教材研究(体育)	2	Ivory
道德教育の研究	2	Ivory

授業科目名	単位	CCBM
特別活動の研究	2	Ivory
教育方法学概論(1)	1	Pink
教育方法学概論(2)	1	Pink
保育課程論	2	Ivory
保育学	2	Green
保育内容の研究 I (言葉)	2	Ivory
保育内容の研究 II (人間関係)	2	Ivory
保育内容の研究 III (環境)	2	Ivory
保育表現 I (指導法)	2	Ivory
保育表現 II (指導法)	2	Ivory
保育内容・健康	2	Ivory
保育指導法 I	2	Ivory
保育指導法 II	2	Ivory
生徒指導の研究(1)	1	Ivory
生徒指導の研究(2)	1	Ivory
臨床心理学概論	2	Pink
学校臨床学	2	Pink
幼児理解と教育相談	2	Ivory
保育臨床学	2	Green
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	4	Ivory
教職実践演習(教諭)	2	Ivory

教職共通科目

授業科目名	単位	CCBM
国語科教育論	2	Ivory
社会科教育論	2	Ivory
算数科教育論	2	Ivory
理科教育論	2	Ivory
生活科教育論	2	Ivory
家庭科教育論	2	Ivory

授業科目名	単位	CCBM
教職ピアノ	1	Ivory
教職声楽	1	Ivory
教職合唱	1	Ivory
教職指揮法	1	Ivory
図工科教育論	2	Ivory
幼・小体育実技	2	Ivory

教職に関する科目 中学校・高等学校

授業科目名	単位	CCBM
教職概論(1)	1	Ivory
教職概論(2)	1	Ivory
教育原論（思想・歴史）(1)	1	Ivory
教育原論（思想・歴史）(2)	1	Ivory
教育心理	2	Ivory
教育原論（制度・社会）	2	Ivory
教育課程論	2	Ivory
社会科教育法Ⅰ（地理歴史）	2	Ivory
社会科教育法Ⅱ（公民）	2	Ivory
地理歴史科教育法	2	Ivory
公民科教育法	2	Ivory
国語科教育法Ⅰ	2	Ivory
国語科教育法Ⅱ	2	Ivory
中国語科教育法Ⅰ	2	Ivory
中国語科教育法Ⅱ	2	Ivory
英語科教育法Ⅰ	2	Ivory

授業科目名	単位	CCBM
英語科教育法Ⅱ	2	Ivory
保健体育科教育法Ⅰ	2	Ivory
保健体育科教育法Ⅱ	2	Ivory
音楽科教育法Ⅰ	2	Ivory
音楽科教育法Ⅱ	2	Ivory
道德教育の研究	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory
教育方法論	2	Ivory
生徒指導の研究(1)	1	Ivory
生徒指導の研究(2)	1	Ivory
学校カウンセリング	2	Ivory
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	高校は2単位 中学校は4単位	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory

教職に関する科目 小学校・幼稚園

授業科目名	単位	CCBM	備考
教職概論(1)	1	Ivory	
教職概論(2)	1	Ivory	
教育原論(思想・歴史)(1)	1	Ivory	
教育原論(思想・歴史)(2)	1	Ivory	
教育心理	2	Ivory	
教育原論(社会・制度)	2	Ivory	
教育課程論	2	Ivory	小学校希望者
小学校教材研究(国語)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(社会)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(算数)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(理科)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(生活)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(音楽)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(図工)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(家庭)	2	Ivory	〃
小学校教材研究(体育)	2	Ivory	〃
道德教育の研究	2	Ivory	〃
特別活動の研究	2	Ivory	〃

授業科目名	単位	CCBM	備考
教育方法論	2	Ivory	〃
保育課程論	2	Ivory	幼稚園希望者
保育内容の研究Ⅰ(言葉)	2	Ivory	〃
保育内容の研究Ⅱ(人間関係)	2	Ivory	〃
保育内容の研究Ⅲ(環境)	2	Ivory	〃
保育表現Ⅰ(指導法)	2	Ivory	〃
保育表現Ⅱ(指導法)	2	Ivory	〃
保育内容・健康	2	Ivory	〃
保育指導法Ⅰ	2	Ivory	〃
保育指導法Ⅱ	2	Ivory	〃
生徒指導の研究(1)	1	Ivory	小学校希望者
生徒指導の研究(2)	1	Ivory	〃
学校カウンセリング	2	Ivory	〃
幼児理解と教育相談	2	Ivory	幼稚園希望者
事前・事後指導	1	Ivory	
教育実習	4	Ivory	
教職実践演習(教諭)	2	Ivory	

外国人留学生特別科目

授業科目名	単位	CCBM
日本語演習ⅠA	2	Pink
日本語演習ⅠB	2	Pink
日本語演習ⅡA	2	Green
日本語演習ⅡB	2	Green
日本語演習ⅢA	2	Green
日本語演習ⅢB	2	Green
日本語演習ⅣA	2	Green
日本語演習ⅣB	2	Green
日本語演習ⅤA	2	Green
日本語演習ⅤB	2	Green
日本事情演習ⅠA	2	Pink

授業科目名	単位	CCBM
日本事情演習ⅠB	2	Pink
日本事情演習ⅡA	2	Green
日本事情演習ⅡB	2	Green
日本事情演習ⅢA	2	Green
日本事情演習ⅢB	2	Green
日本事情演習ⅣA	2	Green
日本事情演習ⅣB	2	Green
日本事情演習ⅤA	2	Green
日本事情演習ⅤB	2	Green
総合日本語サマープログラムⅠ	2	Pink
総合日本語サマープログラムⅡ	2	Pink

2 理学部

理学部履修規程（P.234）により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位124単位を修得してください。各学科プログラム等に関することは、別表2～11を参照してください。

別表第1（第5条関係）																			
学科別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位								自由に選択して履修する科目・単位								卒業に必要な履修単位数	
		コア科目					専門教育科目(必修プログラム)			コア科目	専攻科目	他学科の専攻科目	関連科目	他学部科目	全学共通科目	教職に関する科目	必修以外の選択プログラム		
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報	外国語	スポーツ健康	主プログラム	強化プログラム	副プログラム										
数 学 科				30			60		20					14				124	
物 理 学 科				30			60		20					14				124	
化 学 科				30			60		20					14				124	
生 物 学 科				30			60		20					14				124	
情 報 科 学 科				30			60		20					14				124	
備考 1 情報処理演習（情報）2単位は、必修とする。 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また外国語の履修方法は別に定める。 3 スポーツ																			

別表第2（第5条関係）

【(理)二つ目の選択プログラム】(別表第1 備考5関係)

所属学科	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」								
	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
数 学 科		○	×	×	○	○	×	×	○
物 理 学 科	○		○	○	○	○	○	○	○
化 学 科	×	○		○	×	×	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○		○	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	×	×		○	×	×	○

【(理)三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科	哲 学・倫理学・美術史(副)	比 較 歴 史 学(副)	地 理 環 境 学(副)	日 本 語・日本文学(副)	中 国 語 圏 言語文化(副)	英 語 圏 言語文化(副)	仏 語 圏 言語文化(副)	日 本 語 教 育(副)	社 会 学(副)	教育科学(副)	心 理 学(副A) 人間社会科学科対象	心 理 学(副B) 人間社会科学科以外対象	舞 踊 教 育 学(副)	音楽表現(副)	グローバル文化学(学際)
数 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
物 理 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
化 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

理学部 主プログラム・強化プログラム

数学科

	主：60 単位	強化：20 単位
主プログラム ①教育目標 この主プログラムにおいては二つの大きな目標を持つ。ひとつは広分野に及ぶ現代数学の基礎教育を施すことであり、もうひとつは数学的論理思考力を身に付けさせることである。これにより数学を学び研究しようと志す学生に対しては高度職業人あるいは研究者として自ら学んでいける素地を育むことになる。また数学的論理思考力を身に付けるということはどの分野に進むとしても社会における有為な人物となりうるということで、そのような人物が輩出されることになる。		
②内容・構成 数学を学ぶ上での基礎となる内容のものや4年間の数学の学習の総まとめとなる「数学講究」を含み、必修もしくは必修に準ずる科目群からなる。数学科で提供する強化プログラム、または、副プログラムの科目を履修する為の予備知識もこのプログラムで提供される。数学科を卒業するためには、この科目群の殆ど全ての60単位以上を履修しなければならない。		
強化プログラム ①教育目標 数学における様々な分野を特化してより深く理解し追求するためのより高度な専門性の高い知識や能力を養うことに加えて、一つの専門にこだわらず、数学全般に対する視野を広げることがこのプログラムの教育目標であり、現代数学の新しい結果や問題に触れることにより、問題の発見力・構成力を育む他、数学の重要性・おもしろさを後世に伝えていくコミュニケーション力を身につけた、専門性の高い職業人が養成されることが期待される。		
②内容・構成 各人の興味と能力に応じて、数学の多岐にわたる分野を幅広く学習、あるいは特定の分野を深く学習できるように、様々な科目が選択科目として用意されている。これらの科目群のうちのすべての科目が毎年開講される訳ではないが、主プログラムの科目よりは専門性が高いが、現代数学における基礎として位置付けられる科目は毎年、または、隔年で開講され、講義内容の理解を深める為の演習も用意されている。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
集合論 1	1	I	Pink	◎			
集合論 2	1	I	Pink	◎			
線形代数学 1	2	I	Green	◎			
線形代数学 2	2	I					

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
初等代数学	2	I～IV	Pink	○			
確率序論	2	I	Green	○			
数理解析序論	2	II	Green	○			
数学選択基礎	2	I	White	○			
体論	2	III	Green			○	以下の科目から20単位以上選択
加群と表現	2	III～IV	Red			○	
関数論2	2	III	Green			○	
多様体論2	2	III～IV	Red			○	
積分論2	2	III	Red			○	
微分方程式論	2	III～IV	Red			○	
数学英語	2	II	Green			○	
関数解析	2	III～IV	Red			○	
微分幾何学	2	III～IV	Red			○	
位相幾何学	2	III～IV	Red			○	
ガロア理論	2	IV	Red			○	
フーリエ解析とラプラス変換	2	IV	Red			○	
関数論統論	2	III～IV	Red			○	
確率論	2	III～IV	Red			○	
グラフ理論	2	II～IV	Green			○	
組み合わせ論	2	III～IV	Red			○	
暗号と符号	2	III～IV	Red			○	
計算基礎							

物理学科

		主：60 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標			
物理学の主要分野の基礎を講義により学習する。それと平行して、問題解決の能力を養うための演習と、物理現象の自発的な発見と検証の能力を磨くための実験を行う。以上を経て、各人が課題を設定し、これを首尾一貫した系統的な物理学の考え方をを用いて問題を解決することを目標として特別研究を行い、その完成を修了要件とする。			
②内容・構成			
物理学科が用意する講義科目・演習科目・実験科目・特別研究からなる。物理学を学ぶ上で有用であると思われる、数学、地学、ほか、理学の基礎実験科目を含んでいる。			
強化プログラム			
①教育目標			
主プログラムで学んだ物理学の基礎的内容を発展させた専門性の高い科目群を履修する。それにより、物理学の細分化された専門分野での高度な知識を習得し、将来、大学院等で具体的かつ最前線の研究テーマに取り組むための実力を身につける。			
②内容・構成			
素粒子・宇宙・原子核・物性物理等の幅広い分野の専門的・応用的科目から構成されている。講義科目に加えて計算機実習科目、および各研究室に配属してそこで行われている研究に触れる科目（物理学基礎研究）を用意している。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
古典力学(1)	1	I	Pink	○			
古典力学(2)	1	I	Pink	○			
解析力学(1)	1	I	Green	○			
解析力学(2)	1	I	Green	○			
電磁							

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
統計力学演習(2)	1	Ⅲ	Green	○	以下の科目から6単位選択 (※印はコア科目外国語(必修)英語の「中級英語Ⅱ(1)」 「中級英語Ⅱ(2)」に充てることができる)		
基礎物理学実験(1)	1	Ⅱ	Pink	○			
基礎物理学実験(2)	1	Ⅱ	Pink	○			
物理学実験(1)	1	Ⅲ	Green	○			
物理学実験(2)	1	Ⅲ	Green	○			
物理学実験(3)	1	Ⅲ	Green	○			
物理学実験(4)	1	Ⅲ	Green	○			
特別研究	12	Ⅳ	Red	○			
物理英語(1)	1	Ⅰ	Pink	※○			
物理英語(2)	1	Ⅰ	Pink	※○			
初等解析学Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
初等解析学Ⅱ(1)	1	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
初等解析学Ⅱ(2)	1	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
初等線形代数学	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○</			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
物理学基礎研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Pink			○	
物理学特別講義Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅴ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅵ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅶ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅷ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅸ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義Ⅹ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅠ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅡ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅢ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅣ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅤ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅥ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅦ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅧ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅨ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
物理学特別講義ⅩⅩ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red				

		主：60 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標			
講義科目における、化学及びそれに関連する分野の概念を理解すること、また、それに基づいた基礎的知識の系統的な修得を目指すとともに、講義科目によって身につけた力を、講義と密接に連携した実験科目の履修により、化学あるいはその関連分野に展開可能かつ実践的な基礎力を身につけることを目標とする。			
②内容・構成			
主プログラムでは、化学の5つの主要分野である物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学の専門分野の基礎を講義により順次学習し、化学の体系を理解する。さらに講義内容の十分な理解と化学の研究に必要な実験手法を身につけるために各分野の実験をおこなう。化学の専門課程を理解する為の基礎を身につけることを目標とする。			
強化プログラム			
①教育目標			
強化プログラムでは、各分野の基礎に立脚し、専門的事柄について講義および実験を通して学習する。これにより、幅広くかつ深い知識を習得するとともに、物質の構造、性質、反応に関する理解を深め、化学的視点に基づいた問題解決能力と問題発見能力を涵養することを目指す。			
②内容・構成			
物質の構造、性質、反応に関する共通的内容を含む必修科目と、それらを発展させたものもしくは現代化学の先端的内容を含んだ選択科目群から構成される。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
物理化学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	○			
物理化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	○			
物理化学Ⅲ	2	Ⅱ	Green	○			
無機化学Ⅰ	2	Ⅰ	Green	○			
無機化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	○			
有機化学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	○			
有機化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	○			
分析化学Ⅰ(1)	1	Ⅱ	Green	○			
分析化学Ⅰ(2)	1	Ⅱ	Green	○			
生物化学Ⅰ(1)	1	Ⅱ	Green	○			
生物化学Ⅰ(2)	1	Ⅱ	Green	○			
生物化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	○			
基本化学実験Ⅰ	2	Ⅰ	Pink	○			
基本化学実験Ⅱ	2	Ⅱ	Green	○			
基本化学実験Ⅲ	2	Ⅱ	Green	○			
基本化学実験Ⅳ	2	Ⅱ	Green	○			
専門化学実験Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○			
専門化学実験Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○			
専門化学実験Ⅲ	2	Ⅲ	Red	○			
専門化学実験Ⅳ	2	Ⅲ	Red	○			
専門化学実験Ⅴ	2	Ⅲ	Red	○			
化学演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red	○			
化学演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red	○			
特別研究Ⅰ	4	Ⅳ	Red	○			
特別研究Ⅱ	8	Ⅳ	Red	○			
化学特別ゼミⅠ	2	Ⅰ	Pink	○	以下の科目から6単位選択		
化学特別ゼミⅡ	2	Ⅰ	Pink	○			
化学英語	2	Ⅱ	Green	○			
基礎化学A	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
基礎化学B(1)	1	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
基礎化学B(2)	1	I～IV	Pink	○			
物理学概論A	2	I～IV	Pink	○			
物理学概論B	2	I～IV	Pink	○			
基礎生物学A	2	I～IV	Pink	○			
基礎生物学B	2	I～IV	Pink	○			
生物学基礎実験	2	I～IV	Pink	○			
物理学基礎実験	2	I～IV	Pink	○			
化学選択基礎	2	I	White	○			
有機化学Ⅲ	2	Ⅲ	Red			◎	
分析化学Ⅱ	2	Ⅲ	Red			◎	
分子分光法	2	Ⅲ	Red			◎	
無機化学Ⅲ	2	Ⅲ	Red			○	以下の科目から14単位選択
生体分子機能・反応学	2	Ⅲ	Red			○	
物理化学Ⅳ	2	Ⅲ	Red			○	
有機化学Ⅳ	2	Ⅲ	Red			○	
分子生命科学(1)	1	Ⅲ	Red			○	
分子生命科学(2)	1	Ⅲ	Red			○	
量子化学	2	Ⅳ	Red			○	
計算化学	2	Ⅱ	Red			○	
反応物理化学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
高分子化学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
実験値解析法	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
放射化学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
生物物理化学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
物理化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
物理化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
物理化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
無機化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
無機化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
無機化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
分析化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
分析化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
分析化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
有機化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
有機化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
有機化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
生物化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
生物化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
生物化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
化学特別講義Ⅰ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
化学特別講義Ⅱ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
化学特別講義Ⅲ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
化学特別講義Ⅳ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
化学特別講義Ⅴ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
化学特別講義Ⅵ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
化学特別講義Ⅶ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
化学特別講義Ⅷ	1	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	

		主：60 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標			
生物学は自然科学の1分野にとどまらず、周辺領域の医学、薬学、農学、情報学などの学問分野に影響を与え、さらには地球環境問題や生命倫理などの社会的な問題にまで影響を及ぼしている。このような時代背景の下で、生物学を学んだ人材の必要性は益々高まっている。生物学主プログラムでは、1、2年次における生物学の基礎分野の講義と基本的な実習によって、核となる知識・理解力・論理力・実験手法を身につけ、3、4年次での専門的な実習及び特別研究を通して、実践力のある人材を育成することを目標とする。			
②内容・構成			
上記の目標を達成するために、生物学主プログラムは、学年ごとに段階的に学習を積み重ねる構成内容となっている。1、2年次は、生物学の基礎概念を理解するための必修科目（26 単位）及び基礎的な実験手法を学ぶ必修実習（4 単位）を中心として学んでいく。2、3 年次では、この基礎の上に、生物学の各分野の実験手法を学ぶ選択必修実習（8 単位以上）及び選択科目を学ぶ。その後、3 年次において生物学強化プログラム、学際プログラム、または他学科の副プログラムを学び、生物学主プログラムの総まとめとしての特別研究（12 単位）及び生物学演習（4 単位）を4 年次において履修する。			
強化プログラム			
①教育目標			
生物学主プログラムを履修する学生を対象に、生物学各分野の専門性の高い講義と実習を含む科目群を提供する。これらの科目群の中から各自の興味に応じた科目を選択することにより、より広く高度な応用的または先進的な知識・理解力・論理力・実践手法を身につけることを目的とする。この強化プログラムを踏まえて、実践的な研究活動を行う主プログラムの特別研究に移行することにより、高度な専門教育の実践が可能となる。また、この強化プログラムにより、大学院における生物学の特定分野の専門性を高める教育に対して学問的な基礎を身につける。			
②内容・構成			
生物学主プログラムを学び終えた学生を対象にしているため、必修の科目は設けずに、多様な高度で専門的な講義及び実習から構成される内容となっている。学生の興味に従い、20 単位以上を履修することが要件である。この強化プログラムは、学生に必要と判断される内容を柔軟に含めることができる構成となっている。学生は、自らの主体的な履修科目の選択により、個性的・独創的な生物学を構築することができる。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
生化学	2	I	Pink	○			
生物物理学	2	I	Pink	○			
動物系統学	2	I	Green	○			
植物系統学	2	II	Green	○			
動物生理学	2	II	Green	○			
植物生理学	2	I	Green	○			
代謝生物学	2	II	Green	○			
基礎遺伝学	2	II	Green	○			
分子遺伝学	2	II	Green	○			
細胞生物学	2	II	Green	○			
発生生物学	2	II	Green	○			
進化生物学	2	I	Pink	○			
生物統計学	2	II	Green	○			
生物学実習 I	2	I	Green	○			
生物学実習 II	2	II	Green	○			
生物学演習 I	2	IV	Red	○			
生物学演習 II	2	IV	Red	○			
特別研究 I	6	IV	Red	○			
特別研究 II	6	IV	Red	○			
基礎遺伝学実習	1	II	Green	○	以下の科目から8 単位以上選択		
分子遺伝学実習	1	III	Green	○			
細胞生物学実習	1	III	Green	○			
細胞生化学実習	1	III	Green	○			
代謝生物学実習	1	III	Green	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
植物生理学実習	1	Ⅲ	Green	○			
動物生理学実習	1	Ⅲ	Green	○			
発生生物学実習	1	Ⅲ	Green	○			
植物系統学実習	1	Ⅱ	Green	○			
動物系統学臨海実習	1	Ⅱ	Green	○			
動物生理学臨海実習	1	Ⅲ	Green	○			
植物系統学臨海実習	1	Ⅰ	Pink	○			
生物学外書講読	2	Ⅲ	Green	※○			
植物生態学	2	Ⅰ～Ⅱ	Green	○	各選択（※印はコア科目外国語（必修）英語の「中級英語Ⅱ(1)」「中級英語Ⅱ(2)」に充てることができる）		
動物生態学	2	Ⅰ～Ⅱ	Green	○			
生物学選択基礎	2	Ⅰ	White	○			
生物学特別講義Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特別講義Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特別講義Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特別講義Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特別講義Ⅴ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅰ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○	以下の科目から本プログラムとして2単位までを含めることができる	○	以下の科目から20単位選択
生物学特殊講義Ⅱ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅲ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅳ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅴ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅵ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅶ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅷ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅸ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義Ⅹ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅠ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅡ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅢ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅣ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅤ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅥ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅦ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅧ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅨ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
生物学特殊講義ⅩⅩ	1	Ⅰ～Ⅳ	Red	○		○	
細胞生化学	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
分子細胞情報学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
生物系統地理学	2	Ⅲ	Green			○	
進化遺伝学	2	Ⅲ	Red			○	
発生遺伝学(1)	1	Ⅲ	Red			○	
発生遺伝学(2)	1	Ⅲ	Red			○	
バイオメカニクス(1)	1	Ⅲ	Red			○	
バイオメカニクス(2)	1	Ⅲ	Red			○	
植物生理学(1)	1	Ⅲ	Red			○	
植物生理学(2)	1	Ⅲ	Red			○	
遺伝子工学(1)	1	Ⅲ	Red			○	
遺伝子工学(2)	1	Ⅲ	Red			○	
植物機能制御学	2	Ⅲ	Red			○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
動物環境応答学(1)	1	Ⅲ	Red			○	
動物環境応答学(2)	1	Ⅲ	Red			○	
分子構造生物学(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
分子構造生物学(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
免疫学	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
生命情報プログラミング演習	1	Ⅲ	Red			○	
分析・光学機器実習	1	Ⅲ	Red			○	
発生生物学臨海実習	1	Ⅲ	Green			○	
公開臨海実習	1	I～Ⅳ	Red			○	

	主：60 単位	強化：20 単位
主プログラム ①教育目標 情報科学を学ぶために必要な基礎を身につけるためのプログラムです。研究テーマを決めて指導教員のもとで専門的な情報科学の研究を行う特別研究も含まれますが、特別研究の履修には主プログラムの基礎科目だけでなく強化プログラムまたは副プログラムでそれぞれの専門分野について深く学ぶ必要があります。		
②内容・構成 コンピュータシステム序論、データ構造とアルゴリズムなどの情報科学の基礎科目、線形代数学1～6、微分積分学1～6、数理基礎論、確率序論、離散数学などの数学系の基礎科目、プログラミング実習、システムプログラミング実習などのプログラミング力を身につけるための実習科目、コンピュータアーキテクチャ、コンピュータネットワーク、マルチメディアなどの情報科学技術を学ぶ科目、特別研究が含まれます。		
強化プログラム ①教育目標 主プログラムで情報科学を学ぶために必要な基礎を身につけた後で、更に情報科学についての理解を深めるためのプログラムです。特別研究を円滑に行えるように希望する指導教員の推奨する科目を中心に専門分野について深く学びます。		
②内容・構成 主プログラムで学んだ基礎を元に、専門性を強化するためのプログラムです。情報科学の様々な研究分野からそれぞれの興味にあった科目を選択して履修することができます。特別研究を担当するそれぞれの教員が履修を推奨する科目を中心になるべく多くの科目を履修できるように情報科学の専門科目を幅広く開講します。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
線形代数学 1	2	I	Green	○			
線形代数学 2	2	I	Green	○			
線形代数学 3	2	I	Green	○			
線形代数学 4	2	I	Green	○			
微分積分学 1	2	I	Green	○			
微分積分学 2	2	I	Green	○			
微分積分学 3	2	I	Green	○			
微分積分学 4	2	I	Green	○			
数理基礎論	2	I	Pink	○			
コンピュータシステム序論	2	I	Pink	○			
データ構造とアルゴリズム	2	I	Green	○			
コンピュータ基礎演習	2	I	Green	○			
プログラミング実習	2	I	Green	○			
確率序論	2	II	Green	○			
離散数学	2	II	Green	○			
システムプログラミング実習	2	II	Green	○			
コンピュータアーキテクチャ I	2	II	Green	○			
コンピュータアーキテクチャ II	2	II	Green	○			
コンピュータネットワーク I	2	II	Green	○			
マルチメディア	2	II	Green	○			
マルチメディアプログラミング実習	2	II	Green	○			
特別研究	6	IV	Red	○			
線形代数学 5	2	II	Green	○	以下の科目から 12 単位選択（※ 印はコア科目外 国語（必修）英 語の「中級英語 Ⅱ(1)」「中級英語 Ⅱ(2)」に充てる ことができる）		
微分積分学 5	2	II	Green	○			
初等代数学	2	I～IV	Pink	○			
線形代数学 6	2	II	Green	○			
微分積分学 6	2	II	Green	○			
グラフ理論	2	II	Green	○			
関数型言語	2	II	Green	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
英文講読	2	Ⅲ	Green	※○			
計算機代数演習	2	Ⅱ	Green	○			
位相空間論	2	Ⅱ	Green	○			
情報理論	2	Ⅱ	Green	○			
物理学概論A	2	I～Ⅳ	Pink	○			
物理学概論B	2	I～Ⅳ	Pink	○			
情報科学選択基礎	2	I	White	○			
情報科学集中演習	2	Ⅲ	Red			○	以下の科目から 20 単位選択
関数論 1	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
関数論 2	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数値計算	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数値計算演習	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
言語理論とオートマトン	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
計算基礎論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報解析学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
組み合わせ論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
暗号と符号	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
フーリエ解析とラプラス変換	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
微分方程式論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理統計学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報倫理	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
情報と職業	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
計算モデル論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンパイラ構成論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
形式言語論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
人工知能論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
自然言語論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
バイオインフォマティクス	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
データベースシステム	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
データベース設計論	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
コンピュータグラフィックス	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンピュータビジョン	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンピュータネットワークⅡ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
ヒューマンインターフェイス	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
ソフトウェア工学	2	I～Ⅳ	Red			○	
環境情報論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
シミュレーション科学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学演習Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学演習Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学演習Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	

副プログラム・学際プログラム

数学副プログラム

単位数：20

①教育目標

他学科の純粋数学を学ぼうとする学生を対象とし、数学における抽象化、一般化、論理性が数学の発展の上でどのように寄与して来たかを学ぶ事により、物事を抽象的に把握し、その本質を見ぬく力を身につける事がこのプログラムの教育目標である。数学の専門性を追求しながら論理的・抽象的思考力を培い、数学の面白さを理解する知識と感性を備えた人物が養成されることが期待できる。

②内容・構成

数学の基礎科目に加えて、解析学、幾何学、代数学の各分野の3科目、概論的な科目である『数理逍遥』を選択科目とする科目構成より成る。基礎を身につけた上で、各人の興味の傾向に従って分野を主体的に選択することが可能である。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
初等代数学	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から20単位選択 (※印の科目は、情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
集合論1	1	I	選択	Pink	
集合論2	1	I	選択	Pink	
集合論3	2	II	選択	Green	
線形代数学5	2	II	※選択	Green	
線形代数学6	2	II	※選択	Green	
微分積分学5	2	II	※選択	Green	
微分積分学6	2	II	※選択	Green	
位相空間論1	2	II	※選択	Green	
位相空間論2	2	II	選択	Green	
関数論1	2	III	選択	Green	
関数論2	2	III	選択	Green	
積分論1	2	III	選択	Red	
関数解析	2	III～IV	選択	Red	
微分方程式論	2	III～IV	選択	Red	
多様体論1	2	III～IV	選択	Red	
位相幾何学	2	III～IV	選択	Red	
微分幾何学	2	III～IV	選択	Red	
群論1	2	II	選択	Green	
環論	2	III	選択	Green	
ガロア理論	2	IV	選択	Red	
数理逍遥I	2	I～III	選択	Red	
数理逍遥II	2	I～IV	選択	Red	
数理逍遥III	2	I～III	選択	Red	
数理逍遥IV	2	I～III	選択	Red	

①教育目標

数学は、自然、社会諸科学の“言葉”として用いられ、それら諸科学を解明する方法となる。このプログラムでは、数理的方法による諸科学の基礎となる数学と、実際に応用される諸分野を広く学び、数理的方法の有用性を知り、この方法による問題解決力を身につけることが目標である。

②内容・構成

数学、物理学、情報科学の3つの科目群からなる。数学科目は数学の中でも、特に応用される事の多い科目から成っている。物理学の科目群は物理学の基礎として重要な科目から成り、情報科学の科目は数学の応用として捉えやすい科目から成る。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
【履修にあたっての注意】					
以下の（数学）・（物理学）・（情報科学）のグループから2つ以上を選択し、それぞれ6単位以上を修得すること					
関数解析	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	（数学）
関数論統論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
確率論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
フーリエ解析とラプラス変換	2	Ⅳ	選択	Red	
ガロア理論	2	Ⅳ	選択	Red	
多様体論1	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
微分幾何学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
微分方程式論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理統計学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理経済学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理物理学	2	Ⅱ	※選択	Green	（物理学） （※印の科目は、物理学科は本プログラムとしては履修できない）
古典力学(1)	1	Ⅰ	※選択	Pink	
古典力学(2)	1	Ⅰ	※選択	Pink	
電磁気学Ⅰ(1)	1	Ⅰ	※選択	Pink	
電磁気学Ⅰ(2)	1	Ⅰ	※選択	Pink	
電磁気学Ⅱ(1)	1	Ⅰ	※選択	Green	
電磁気学Ⅱ(2)	1	Ⅰ	※選択	Green	
量子力学Ⅰ	2	Ⅱ	※選択	Green	
量子力学Ⅱ(1)	1	Ⅱ	※選択	Green	
量子力学Ⅱ(1)	1	Ⅱ	※選択	Green	
解析力学(1)	1	Ⅰ	※選択	Green	
解析力学(2)	1	Ⅰ	※選択	Green	
熱力学(1)	1	Ⅱ	※選択	Pink	
熱力学(2)	1	Ⅱ	※選択	Pink	
統計力学(1)	1	Ⅲ	※選択	Green	
統計力学(2)	1	Ⅲ	※選択	Green	
量子光学(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
量子光学(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
凝縮系物理学(1)	1	Ⅳ	選択	Red	
凝縮系物理学(2)	1	Ⅳ	選択	Red	
場の量子論(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
場の量子論(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
物性物理学序論(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
物性物理学序論(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
素粒子物理学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
素粒子物理学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
相対論(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
相対論(2)	1	Ⅱ	選択	Green	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
流体物理学	2	Ⅲ	選択	Green	
宇宙物理学(1)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
宇宙物理学(2)	1	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
物理学基礎研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Pink	
計算基礎論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	(情報科学) (*印の科目は、情報科学科は本プログラム としては履修できない)
グラフ理論	2	Ⅱ	*選択	Green	
情報理論	2	Ⅱ	*選択	Green	
組み合わせ論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
コンピュータシステム序論	2	Ⅰ	*選択	Pink	
暗号と符号	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
情報解析学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

①教育目標

他専攻の学生で、物理学に関心のある者がはじめに修めるべき主要分野の基礎的内容を講義により学習する。講義内容の消化と問題解決能力の養成のための演習を行う。以上を経て、各人が物理学的な考え方に習熟し、それをある程度使いこなせるようになることを目指す。

②内容・構成

物理学科が用意する主要分野の基礎的な講義科目・演習科目から成る。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
物理学概論A	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から20単位選択
物理学概論B	2	I～IV	選択	Pink	
物理学基礎実験	2	I～IV	選択	Pink	
宇宙・地球科学	2	I～IV	選択	Pink	
古典力学(1)	1	I	選択	Pink	
古典力学(2)	1	I	選択	Pink	
解析力学(1)	1	I	選択	Green	
解析力学(2)	1	I	選択	Green	
電磁気学Ⅰ(1)	1	I	選択	Pink	
電磁気学Ⅰ(2)	1	I	選択	Pink	
電磁気学Ⅱ(1)	1	I	選択	Green	
電磁気学Ⅱ(2)	1	I	選択	Green	
物理数学Ⅰ(1)	1	I	選択	Pink	
物理数学Ⅰ(2)	1	I	選択	Pink	
物理数学Ⅱ(1)	1	I	選択	Pink	
物理数学Ⅱ(2)	1	I	選択	Pink	
力学系理論	2	II	選択	Green	
熱力学(1)	1	II	選択	Pink	
熱力学(2)	1	II	選択	Pink	
量子力学Ⅰ	2	II	選択	Green	
量子力学Ⅱ(1)	1	II	選択	Green	
量子力学Ⅱ(2)	1	II	選択	Green	
力学演習(1)	1	I	選択	Pink	
力学演習(2)	1	I	選択	Pink	
電磁気学演習(1)	1	I	選択	Pink	
電磁気学演習(2)	1	I	選択	Pink	
物理数学演習	2	II	選択	Pink	
量子力学演習(1)	1	II	選択	Pink	
量子力学演習(2)	1	II	選択	Pink	

①教育目標

物理や化学の主プログラムで学んだ、当該分野の基礎的内容を発展させた専門科目を履修すると共に、相互の分野の基礎的および専門的科目を同時に履修する。それにより、物理学と化学の学際領域で活躍するための基本的な力を身につける。

②内容・構成

物理と化学の学際分野に進むために有用である、両分野の入門的科目（基礎化学、物理学概論）および基礎実験科目を配置し、基礎的および専門的な講義科目を集めている。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
基礎化学 A	2	I～IV	☆選択	Pink	以下の科目から20単位選択 (☆印の科目は、化学科は本プログラムとしては履修できない) (※印の科目は、化学科は履修できない) (*印の科目は、物理学科は履修できない)
基礎化学 B(1)	1	I～IV	☆選択	Pink	
基礎化学 B(2)	1	I～IV	☆選択	Pink	
化学基礎実験	2	I～IV	※選択	Pink	
物理学概論 A	2	I～IV	*選択	Pink	
物理学概論 B	2	I～IV	*選択	Pink	
物理学基礎実験	2	I～IV	*選択	Pink	
物理化学 I	2	II	☆選択	Green	(◇印の科目は、物理学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学 II	2	II	☆選択	Green	
物理化学 III	2	II	☆選択	Red	
物理化学 IV	2	III	選択	Red	
無機化学 I	2	I	☆選択	Green	
有機化学 I	2	II	☆選択	Green	
分析化学 I(1)	1	II	☆選択	Green	
分析化学 I(2)	1	II	☆選択	Green	
分析化学 II	2	III	選択	Red	
計算化学	2	II	選択	Red	
分子分光法	2	III	選択	Red	
量子化学	2	IV	選択	Red	
反応物理化学	2	III～IV	選択	Red	
生物物理化学	2	III～IV	選択	Red	
放射化学	2	III～IV	選択	Red	
量子力学 I	2	II	◇選択	Green	
量子力学 II(1)	1	II	◇選択	Green	
量子力学 II(2)	1	II	◇選択	Green	
熱力学(1)	1	II	◇選択	Pink	
熱力学(2)	1	II	◇選択	Pink	
統計力学(1)	1	III	◇選択	Green	
統計力学(2)	1	III	◇選択	Green	
物理数学 I(1)	1	I	◇選択	Pink	
物理数学 I(2)	1	I	◇選択	Pink	
物性物理学序論(1)	1	II～IV	選択	Green	
物性物理学序論(2)	1	II～IV	選択	Green	
固体電子論(1)	1	III	選択	Red	
固体電子論(2)	1	III	選択	Red	
相転移物理学	2	III	選択	Red	
凝縮系物理学(1)	1	IV	選択	Red	
凝縮系物理学(2)	1	IV	選択	Red	
ソフトマター物理	2	III～IV	選択	Red	
物理実験学(1)	1	II～IV	選択	Green	
物理実験学(2)	1	II～IV	選択	Green	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
基礎エレクトロニクス(1)	1	Ⅲ	選択	Green	
基礎エレクトロニクス(2)	1	Ⅲ	選択	Green	
物理学基礎研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Pink	
計算物理学講義・演習(1)	2	Ⅲ	選択	Green	
計算物理学講義・演習(2)	2	Ⅲ	選択	Green	

①教育目標

化学の分野における基本的な考え方、基礎知識を身につけるとともに、先端化学について、その概要をある程度理解できる様な力を養う。

②内容・構成

化学関連の全学共通科目において、初歩的なところを学び、化学の各分野の基礎的なものを選択して学べる様な構成となっている。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
基礎化学 A	2	I～IV	必修	Pink	
基礎化学 B(1)	1	I～IV	必修	Pink	
基礎化学 B(2)	1	I～IV	必修	Pink	
化学基礎実験	2	I～IV	必修	Pink	
物理化学 I	2	II	選択	Green	以下の科目から 14 単位選択
物理化学 II	2	II	選択	Green	
物理化学 III	2	II	選択	Green	
無機化学 I	2	I	選択	Green	
無機化学 II	2	II	選択	Green	
有機化学 I	2	II	選択	Green	
有機化学 II	2	II	選択	Green	
分析化学 I (1)	1	II	選択	Green	
分析化学 I (2)	1	II	選択	Green	
生物化学 I (1)	1	II	選択	Green	
生物化学 I (2)	1	II	選択	Green	
生物化学 II	2	II	選択	Green	
化学英語	2	II	選択	Green	
化学特別ゼミ I	2	I	選択	Pink	

①教育目標

生物学の主プログラムを専攻しない他学科の学生に向けて、生物学のエッセンスを学び、生物学を構成する基本的な知識および概念を学ぶことを目的とする。近年の地球環境問題や生命倫理の問題が重要視される社会情勢の中で、生物学を主たる専攻としない学生に対する生物学教育の重要性は、益々高まるものと考えられる。主たる専門に加えて、このような生物学の基礎的な素養を持つ学生を育成することが、本プログラムの目標である。

②内容・構成

この副プログラムの履修要件として、生物学の全学共通科目である基礎生物学 A、B 及び生物学基礎実験を必修科目（6 単位）として履修し、これらに加えて生物学の必修科目の中から 7 科目以上を選択することとする。なお、生物学科の学生はこのプログラムを履修することができない。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
基礎生物学 A	2	I～IV	必修	Pink	以下の科目から 14 単位選択
基礎生物学 B	2	I～IV	必修	Pink	
生物学基礎実験	2	I～IV	必修	Pink	
生化学	2	I	選択	Pink	
生物物理学	2	I	選択	Pink	
動物系統学	2	I	選択	Green	
植物系統学	2	II	選択	Green	
動物生理学	2	II	選択	Green	
植物生理学	2	I	選択	Green	
代謝生物学	2	II	選択	Green	
基礎遺伝学	2	II	選択	Green	
分子遺伝学	2	II	選択	Green	
細胞生物学	2	II	選択	Green	
発生生物学	2	II	選択	Green	
進化生物学	2	I	選択	Pink	
生物統計学	2	II	選択	Green	

①教育目標

化学または生物の基礎をもつ学生がその知識と考え方を発展させて、生体分子および生物の働きを解明する学際分野へ進むための橋渡しをする。生命のしくみを物質の視点からより深く学ぶとともに、生体物質の構造と機能の解明、ならびに生体機能を制御する物質の合成・創成のために必要な基盤を習得する。

②内容・構成

化学主プログラムまたは生物主プログラムを履修した学生について必要なケミカルバイオロジー分野の基盤的科目及び、それらを発展して学ぶ科目及び周辺領域に視野を広げる科目から構成されている。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
分子生命科学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	以下の科目から12単位以上選択
分子生命科学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
有機化学Ⅲ	2	Ⅲ	選択	Red	
生体分子機能・反応学	2	Ⅲ	選択	Red	
有機化学Ⅳ	2	Ⅲ	選択	Red	
生体分子機能・認識学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
生物物理化学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
細胞生化学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
分子細胞情報学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
分子構造生物学(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
分子構造生物学(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
植物生理学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
植物生理学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
細胞生物学	2	Ⅱ	☆選択	Green	(☆印の科目は、生物学科は本プログラムとしては履修できない)
代謝生物学	2	Ⅱ	☆選択	Green	
公開臨海実習	1	I～Ⅳ	選択	Red	(◇印の科目は、化学科は本プログラムとしては履修できない)
動物環境応答学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
動物環境応答学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
植物機能制御学	2	Ⅲ	選択	Red	
遺伝子工学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
遺伝子工学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
分析化学Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
計算化学	2	Ⅱ	選択	Red	
無機化学Ⅲ	2	Ⅲ	選択	Red	
ケミカルバイオロジー特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
ケミカルバイオロジー特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
高分子化学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
生物化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
生物化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
生物化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
有機化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
有機化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
有機化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
有機化学Ⅰ	2	Ⅱ	◇選択	Green	
有機化学Ⅱ	2	Ⅱ	◇選択	Green	
生物化学Ⅰ(1)	1	Ⅱ	◇選択	Green	
生物化学Ⅰ(2)	1	Ⅱ	◇選択	Green	
生物化学Ⅱ	2	Ⅱ	◇選択	Green	
基礎生物学A	2	I～Ⅳ	※選択	Pink	(※印の科目は生物学科は履修できない)
基礎生物学B	2	I～Ⅳ	※選択	Pink	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
生物学基礎実験	2	I～IV	※選択	Pink	(*印の科目は化学科は履修できない)
化学基礎実験	2	I～IV	*選択	Pink	
基礎化学A	2	I～IV	◇選択	Pink	
基礎化学B(1)	1	I～IV	◇選択	Pink	
基礎化学B(2)	1	I～IV	◇選択	Pink	
生物学特別講義Ⅰ	2	I～IV	選択	Red	以下の科目から本プログラムとして4単位 までを含めることができる
生物学特別講義Ⅱ	2	I～IV	選択	Red	
生物学特別講義Ⅲ	2	I～IV	選択	Red	
生物学特別講義Ⅳ	2	I～IV	選択	Red	
生物学特別講義Ⅴ	2	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅰ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅱ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅲ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅳ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅴ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅵ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅶ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅷ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅸ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅹ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅠ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅡ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅢ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅣ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅤ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅥ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅦ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅧ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅨ	1	I～IV	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅩ	1	I～IV	選択	Red	

①教育目標

生命情報学学際プログラムは、理学部プログラムの基礎を習得した学生に対して、学際分野である生命情報学の基礎から応用までを提供する。生命情報学研究に最低限必要な基礎知識の習得と様々なデータを解析し新しい知見を抽出するために必要な論理力と技術力の取得を目的とする。これらの習得により、ライフサイエンスのさまざまな分野で活躍できる人材の育成に資する。

②内容・構成

理学部の主プログラムを終えた学生に対して、生命情報学の基礎知識と基礎技術を習得させるために、1科目の必修と7科目の選択必修を提供する。選択必修からは3科目を履修する。その上で、今までに学んできた主プログラムと生命情報学の基礎とを合流させて、学生自らがもっとも力を発揮できる領域を見だし、6科目以上（必修として選択しなかった選択必修科目と選択科目から）を履修する。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
生命情報学概論(1)	1	I～IV	必修	Green	
生命情報学概論(2)	1	I～IV	必修	Green	
計算生物学(1)	1	I～IV	選択	Green	以下の科目から6単位以上選択 (※印の科目は、生物学科は本プログラムとしては履修できない) (※印の科目は、情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
計算生物学(2)	1	I～IV	選択	Green	
進化遺伝学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
分子遺伝学	2	Ⅱ	※選択	Green	
バイオインフォマティクス	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
コンピュータシステム序論	2	I	*選択	Pink	
生体分子機能・反応学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
計算化学	2	Ⅱ	選択	Red	
生命情報プログラミング演習	1	Ⅲ	選択	Red	
生化学	2	I	※選択	Pink	
細胞生物学	2	Ⅱ	※選択	Green	(☆印の科目は、化学科は本プログラムとしては履修できない)
発生遺伝学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
発生遺伝学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
動物生理学	2	Ⅱ	※選択	Green	
遺伝子工学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
遺伝子工学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
植物生態学	2	I～Ⅱ	選択	Green	
動物生態学	2	I～Ⅱ	選択	Green	
生物統計学	2	Ⅱ	※選択	Green	
分子構造生物学(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
分子構造生物学(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
データ構造とアルゴリズム	2	I	*選択	Green	
情報解析学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理基礎論	2	I	*選択	Pink	
確率序論	2	Ⅱ	*選択	Green	
グラフ理論	2	Ⅱ	*選択	Green	
情報理論	2	Ⅱ	*選択	Green	
組み合わせ論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
暗号と符号	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
データベース設計論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
マルチメディア	2	Ⅱ	*選択	Green	
環境情報論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
物理化学Ⅰ	2	Ⅱ	☆選択	Green	
物理化学Ⅱ	2	Ⅱ	☆選択	Green	
分子生命科学(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
分子生命科学(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
有機化学Ⅰ	2	Ⅱ	☆選択	Green	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
有機化学Ⅱ	2	Ⅱ	☆選択	Green	(◇印の科目は、物理学科は本プログラムとしては履修できない) (◆印の科目は生物学科は履修できない)
有機化学Ⅲ	2	Ⅲ	選択	Green	
有機化学Ⅳ	2	Ⅲ	選択	Green	
物理化学Ⅲ	2	Ⅱ	☆選択	Green	
物理化学Ⅳ	2	Ⅲ	選択	Red	
高分子化学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
実験値解析法	2	Ⅲ	選択	Red	
分析化学Ⅰ(1)	1	Ⅱ	☆選択	Green	
分析化学Ⅰ(2)	1	Ⅱ	☆選択	Green	
数理統計学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理物理学	2	Ⅱ	◇選択	Green	
微分幾何学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
基礎生物学A	2	Ⅰ～Ⅳ	◆選択	Pink	
基礎生物学B	2	Ⅰ～Ⅳ	◆選択	Pink	
基礎化学A	2	Ⅰ～Ⅳ	☆選択	Pink	
基礎化学B(1)	1	Ⅰ～Ⅳ	☆選択	Pink	
基礎化学B(2)	1	Ⅰ～Ⅳ	☆選択	Pink	
生物学特別講義Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	以下の科目から本プログラムとして4単位までを含めることができる
生物学特別講義Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特別講義Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特別講義Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特別講義Ⅴ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅰ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅱ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅲ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅳ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅴ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅵ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅶ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅷ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅸ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義Ⅹ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅠ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅡ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅢ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅣ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅤ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅥ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅦ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅧ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅨ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
生物学特殊講義ⅩⅩ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	

①教育目標

情報科学の基礎を学ぶための情報科学科以外の学生のための科目です。プログラミングの指導はできませんので各自で勉強してから履修してください。プログラミング課題を伴うマルチメディア I、コンピュータネットワーク I、データベースシステムについては、コア科目のプログラミング演習の成績が S または A であることを履修の要件とします。人数制限がある場合にはプログラミング演習の成績が S の学生を優先します。

②内容・構成

コンピュータシステム序論などの情報科学の基礎科目、数理基礎論、確率序論、離散数学などの数学系の基礎科目、コンピュータアーキテクチャ、コンピュータネットワーク、マルチメディア、暗号と符号などの情報科学技術を学ぶ科目が含まれます。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
数理基礎論	2	I	必修	Pink	(※印の科目は、数学科は本プログラムとしては履修できない) (※印の科目は数学科は履修できない)
情報理論	2	II	必修	Green	
コンピュータシステム序論	2	I	選択	Pink	
確率序論	2	II	※選択	Green	
離散数学	2	II	*選択	Green	
コンピュータアーキテクチャ I	2	II	選択	Green	
コンピュータネットワーク I	2	II	選択	Green	
マルチメディア	2	II	選択	Green	
グラフ理論	2	II	選択	Green	
位相空間論	2	II	※選択	Green	
情報倫理	2	III～IV	選択	Green	
情報と職業	2	III～IV	選択	Green	
バイオインフォマティクス	2	III～IV	選択	Red	
データベースシステム	2	III～IV	選択	Red	
組み合わせ論	2	III～IV	選択	Red	
暗号と符号	2	III～IV	選択	Red	
ヒューマンインターフェイス	2	III～IV	選択	Red	
環境情報論	2	III～IV	選択	Red	

関連科目 数学科

授業科目	単位	CCBM
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B(1)	1	Pink
基礎化学B(2)	1	Pink
基礎生物学A	2	Pink
基礎生物学B	2	Pink
宇宙・地球科学	2	Pink
地球環境科学	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
コンピュータシステム序論	2	Pink

関連科目 物理学科

授業科目	単位	CCBM
初等解析学Ⅰ	2	Pink
初等解析学Ⅱ(1)	1	Pink
初等解析学Ⅱ(2)	1	Pink
初等線形代数学	2	Pink
初等代数学	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B(1)	1	Pink
基礎化学B(2)	1	Pink
基礎生物学A	2	Pink
基礎生物学B	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
宇宙・地球科学	2	Pink
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
確率序論	2	Green
コンピュータシステム序論	2	Pink

授業科目一覧

Ⅲ

2

専門教育科目
理学部

関連科目 化学科

授業科目	単位	CCBM
初等解析学Ⅰ	2	Pink
初等解析学Ⅱ(1)	1	Pink
初等解析学Ⅱ(2)	1	Pink
初等線形代数学	2	Pink
初等代数学	2	Pink
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B(1)	1	Pink
基礎化学B(2)	1	Pink
基礎生物学A	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
基礎生物学B	2	Pink
宇宙・地球科学	2	Pink
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
確率序論	2	Green
コンピュータシステム序論	2	Pink

関連科目 生物学科

授業科目	単位	CCBM
初等解析学Ⅰ	2	Pink
初等解析学Ⅱ(1)	1	Pink
初等解析学Ⅱ(2)	1	Pink
初等線形代数学	2	Pink
初等代数学	2	Pink
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B(1)	1	Pink
基礎化学B(2)	1	Pink

授業科目	単位	CCBM
宇宙・地球科学	2	Pink
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
確率序論	2	Green
コンピュータシステム序論	2	Pink

関連科目 情報科学科

授業科目	単位	CCBM
初等代数学	2	Pink
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B(1)	1	Pink
基礎化学B(2)	1	Pink
基礎生物学A	2	Pink
基礎生物学B	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
宇宙・地球科学	2	Pink
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink

全学共通科目

授業科目	単位	CCBM	備考
NPO入門	2	Pink	
女性リーダーへの道（入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（ロールモデル入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（実践入門編）	2	Green	
平和と共生演習	2	Pink	
国際共生社会論実習	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅠ	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅡ	2	Pink	
情報コミュニケーション技術と創発性	2	Pink	
働く女性の権利と地位	2	Pink	卒業単位に含めることができない
共生社会で働く	2	Green	卒業単位に含めることができない
グループワークとマネジメント	2	Green	卒業単位に含めることができない
キャリアプランニング実習	1	Pink	卒業単位に含めることができない
インターンシップ	1	Pink	卒業単位に含めることができない
クリエイティブ・ライティングⅠ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅣ	2	Green	
博物館概論	2	Ivory	
博物館資料論	2	Ivory	
博物館経営論	2	Ivory	
博物館資料保存論	2	Ivory	
博物館展示論	2	Ivory	
博物館教育論	2	Ivory	
博物館実習	3	Ivory	
博物館情報・メディア論	2	Ivory	
初等解析学Ⅰ	2	Pink	数学科、情報科学科は履修できない
初等解析学Ⅱ(1)	1	Pink	数学科、情報科学科は履修できない
初等解析学Ⅱ(2)	1	Pink	数学科、情報科学科は履修できない
初等線形代数学	2	Pink	数学科、情報科学科は履修できない
初等代数学	2	Pink	
物理学概論A	2	Pink	物理学科は履修できない
物理学概論B	2	Pink	物理学科は履修できない
基礎化学A	2	Pink	
基礎化学B(1)	1	Pink	
基礎化学B(2)	1	Pink	
基礎生物学A	2	Pink	生物学科は履修できない
基礎生物学B	2	Pink	生物学科は履修できない
宇宙・地球科学	2	Pink	
地球環境科学	2	Pink	
大気・海洋科学概論	2	Pink	
地史・古生物学概論	2	Pink	
物理学基礎実験	2	Pink	物理学科は履修できない
化学基礎実験	2	Pink	化学科は履修できない
生物学基礎実験	2	Pink	生物学科は履修できない
地学基礎実験	2	Pink	
数理基礎論	2	Pink	
確率序論	2	Green	

授業科目	単位	CCBM	備考
コンピュータシステム序論	2	Pink	
生命情報学概論(1)	1	Green	
生命情報学概論(2)	1	Green	
計算生物学(1)	1	Green	
計算生物学(2)	1	Green	
海外交換留学等認定科目	2～12	White	
科学英語 I	2	White	
科学英語 II	2	White	
Advanced Communication Training I	2	Red	
Advanced Communication Training II	2	Red	
Advanced Communication Training III	2	Red	
Advanced Communication Training IV	2	Red	
Advanced Communication Training V	2	Red	
Advanced Communication Training VI	2	Red	
Academic Writing	2	Red	
Academic Presentation	2	Red	
Summer Program in English I	2	Pink	
Summer Program in English II	2	Pink	
Summer Program in English III	2	Pink	
Summer Program in English IV	2	Pink	
Summer Program in English V	2	Pink	
Summer Program in English VI	2	Pink	
国際交流実習	2	Red	
Interdisciplinary Lectures in English I	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English II	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English III	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English IV	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English V	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English VI	2	White	
物理学サプリメント	2	Pink	卒業単位に含めることができない
生物学サプリメント	2	Pink	卒業単位に含めることができない
英語基礎強化ゼミ	2	Pink	卒業単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ R/L	2	White	卒業単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ S/W	2	White	卒業単位に含めることができない
IELTS 対策ゼミ R/L	2	White	卒業単位に含めることができない
IELTS 対策ゼミ S/W	2	White	卒業単位に含めることができない
企画・運営力養成講座	2	White	卒業単位に含めることができない
中国語力強化ゼミ I	2	Green	卒業単位に含めることができない
中国語力強化ゼミ II	2	Green	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 I	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 II	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 III	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 IV	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 V	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 VI	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 VII	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 VIII	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 IX	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X I	1	White	卒業単位に含めることができない

授業科目	単位	CCBM	備考
理数特別講義演習ⅩⅡ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅢ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅣ	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅤ	1	White	卒業単位に含めることができない

教職に関する科目

授業科目	単位	CCBM
教職概論(1)	1	Ivory
教職概論(2)	1	Ivory
教育原論（思想・歴史）(1)	1	Ivory
教育原論（思想・歴史）(2)	1	Ivory
教育心理	2	Ivory
教育原論（社会・制度）	2	Ivory
教育方法論	2	Ivory
数学科教育法Ⅰ	2	Ivory
数学科教育法Ⅱ	2	Ivory
理科教育法Ⅰ	2	Ivory
理科教育法Ⅱ	2	Ivory
情報科教育法Ⅰ	2	Ivory

授業科目	単位	CCBM
情報科教育法Ⅱ	2	Ivory
道徳教育の研究	2	Ivory
教育課程論	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory
生徒指導の研究(1)	1	Ivory
生徒指導の研究(2)	1	Ivory
学校カウンセリング	2	Ivory
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	高校は2単位 中学校は4単位	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory

外国人留学生特別科目

授業科目名	単位	CCBM
日本語演習ⅠA	2	Pink
日本語演習ⅠB	2	Pink
日本語演習ⅡA	2	Green
日本語演習ⅡB	2	Green
日本語演習ⅢA	2	Green
日本語演習ⅢB	2	Green
日本語演習ⅣA	2	Green
日本語演習ⅣB	2	Green
日本語演習ⅤA	2	Green
日本語演習ⅤB	2	Green
日本事情演習ⅠA	2	Pink
日本事情演習ⅠB	2	Pink
日本事情演習ⅡA	2	Green
日本事情演習ⅡB	2	Green
日本事情演習ⅢA	2	Green
日本事情演習ⅢB	2	Green
日本事情演習ⅣA	2	Green
日本事情演習ⅣB	2	Green
日本事情演習ⅤA	2	Green
日本事情演習ⅤB	2	Green
総合日本語サマープログラムⅠ	2	Pink
総合日本語サマープログラムⅡ	2	Pink

3 生活科学部

生活科学部履修規程（P.247）により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位124単位を修得してください（ただし、食物栄養学科については、138単位を修得してください）。各学科プログラム等に関することは、別表2～14を参照してください。

別表第 1 － 1 （第 5 条関係）																			
学 科 別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位								自由に選択して履修する科目・単位								卒業に必要な履修単位数	
		コア科目				専門教育科目(必修プログラム)				コ ア 科 目	専 攻 科 目	学 部 共 通 科 目	自 由 科 目	他 学 部 の 科 目	全 学 共 通 科 目	教 職 共 通 科 目	教 職 に 関 する 科 目		必修以外の選択プログラム
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報報	外国語	スポーツ健康	主プログラム	強化プログラム	副プログラム										
人 間 ・ 環 境 学 科		34				60	20			10								124	
人 間 生 活 学 科		34				42	20			28								124	
備考																			
1 情報処理演習（情報）2単位は、必修とする。																			
2 外国語は、一の外国語について 12 単位を必修とする。																			
3 スポーツ健康実習 2 単位を必修とし、その履修方法は別に定める。																			
4 主プログラムは、所属学科から選択すること。																			
5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。																			
6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。																			
7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。																			
8 必修以外の選択プログラムは、別表第 2 の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。																			
9 教職に関する科目（教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。）の単位については、人間・環境科学科は 10 単位までを、人間生活学科は 14 単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。																			
10 外国人留学生特別科目（外国人留学生対象）の単位については 18 単位までをコア科目として取り扱う。																			
11 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第 9 のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。																			
12 特別設置科目は、自由科目の単位として取り扱う。ただし、卒業に必要な単位として取り扱うことのできる単位の上限は、8 単位とする。																			

別表第 1 - 2 （第 5 条関係）																		
学 科 別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位					自由に選択して履修する科目・単位									卒業に必要な履修単位数		
		コア科目					専攻科目	学部共通科目	コア科目	専攻科目	学部共通科目	自由科目	他学部の科目	全学共通科目	教職共通科目		教職に関する科目	必修以外の選択プログラム
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報	外国語	スポーツ健康												
食 物 栄 養 学 科		30					101	4	3									138
備考																		
1 情報処理演習（情報）2 単位は、必修とする。																		
2 外国語は、一の外国語について 12 単位を必修とする。																		
3 スポーツ健康実習 2 単位を必修とし、その履修方法は別に定める。																		
4 必修以外の選択プログラムは、別表第 2 の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。																		
5 教職に関する科目（教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。）の単位については、14 単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。																		
6 外国人留学生特別科目（外国人留学生対象）の単位については 18 単位までをコア科目として取り扱う。																		
7 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第 9 のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。																		
8 特別設置科目は、自由科目の単位として取り扱う。ただし、卒業に必要な単位として取り扱うことのできる単位の上限は、8 単位とする。																		

別表第2（第5条関係）

別表第2【（生）二つ目の選択プログラム】（別表第1-1 備考5関係）

所属学科・講座	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」					
	人間・環境科学（副）	発達臨床心理学（副）	公共政策論（副）	ジェンダー論（副）	生活文化学（副）	消費者学（学際）
食物栄養学科						
人間・環境科学科		×	×	×	×	○
人間生活学科	発達臨床心理学講座	○	○	○	○	○
	生活社会科学講座	○			○	○
	生活文化学講座	○	○	○		○

【（生）三つ目の選択プログラム（文・プログラム）】（別表第1-1 備考8関係，別表第1-2 備考4関係）

所属学科・講座	哲学・倫理学・美術史（副）	比較歴史学（副）	地理環境学（副）	日本語・日本文学（副）	中国語圏言語文化（副）	英語圏言語文化（副）	仏語圏言語文化（副）	日本語教育（副）	社会学（副）	教育科学（副）	心理学（副A） 人間社会科学科対象	心理学（副B） 人間社会科学科以外対象	舞踊教育学（副）	音楽表現（副）	グローバル文化学（学際）
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
人間・環境科学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
人間生活学科	発達臨床心理学講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	生活社会科学講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	生活文化学講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

【（生）三つ目の選択プログラム（理・プログラム）】（別表第1-1 備考8関係，別表第1-2 備考4関係）

所属学科・講座	数学（副）	物理学（副）	化学（副）	生物学（副）	情報科学（副）	応用数理（学際）	物理・化学（学際）	ケミカルバイオロジー（学際）	生命情報学（学際）
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間・環境科学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間生活学科	発達臨床心理学講座	○	○	○	○	×	×	×	×
	生活社会科学講座	○	○	○	○	×	×	×	×
	生活文化学講座	○	○	○	○	×	×	×	×

【（生）三つ目の選択プログラム（生・プログラム）】（別表第1-1 備考8関係，別表第1-2 備考4関係）

所属学科・講座	人間・環境科学（副）	発達臨床心理学（副）	公共政策論（副）	ジェンダー論（副）	生活文化学（副）	消費者学（学際）
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○
人間・環境科学科		○	○	○	○	○
人間生活学科	発達臨床心理学講座	○	○	○	○	○
	生活社会科学講座	○			○	○
	生活文化学講座	○	○	○		○

生活科学部 主プログラム・強化プログラム

人間・環境科学科

	主：60 単位	強化：20 単位
主プログラム ①教育目標 環境と人間との間でのアンバランスから生じるさまざまな問題に対し、人間が享受する快適性、利便性、安全・安心を生活者にとって重要な要素と位置付けた上で、互いに影響を受け合って変化する環境と人間との間のダイナミクス（相互作用）を、環境と人間の双方の視点から、また歴史・進化的視点のもとで科学的に理解することを目標とする。さらには、人間と環境がバランスを保ちつつ暮らせる具体的な対策を、社会に対して提案して実践する能力を養うことを教育目標とする。		
②内容・構成 人間と環境のあいだの問題の解決には定量制や客観性といった科学的な思考能力が不可欠であるため、入学後の1・2年次には、徹底した自然科学系基礎教育（数学、物理、化学、生物、統計学など）を行い、卒業研究のための基礎力を涵養する。3年次には関心に従い、応用へ展開する諸科目を学習する。4年間の勉学を通じて、科学技術の実践的な応用、生活関連分野におけるタイムリーなテーマへの取り組み、研究成果の社会での応用・評価などを学ぶ。		
強化プログラム ①教育目標 科学技術応用による具体課題の解決に対する社会的要求に応えるべく、実験実習を中心に充実した工学教育プログラムを提供する。本プログラムでは工学分野における主要科目（講義科目ならびに実験演習科目）を配置し、設計から評価にわたる徹底した一連の工学教育を展開する。そして、理系における実務教育の実施および女性技術者の育成に努める。なお、建築士受験資格を取得する場合必要となる単位数が異なるので注意すること。（備考欄参照）		
②内容・構成 主プログラムで学んだ自然科学基礎力を一層発展させることとし、工学的トレーニングを通じて、設計・評価能力を養う。また、プレゼンテーション技術を身につける。世界的科学技術競争の激化、少子高齢化、安全と安心の問題や地球的課題などに対応すべく、優れた創造の人材を育成する。理工系の基礎能力を身に付け、かつ、生活・生活の質に関連した具体的応用課題に対する解決能力を有する人材の育成をはかる。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
統計学	2	Ⅱ	Green	◎			
基礎有機化学	2	Ⅰ	Pink	◎			
数学物理学演習Ⅰ(1)	1	Ⅰ	Pink	◎			
数学物理学演習Ⅰ(2)	1	Ⅰ	Pink	◎			
物理学(1)	1	Ⅰ	Pink	◎			
物理学(2)	1	Ⅰ	Pink	◎			
生物化学(1)	1	Ⅱ	Green	◎			
生物化学(2)	1	Ⅱ	Green	◎			
人体解剖学(1)	1	Ⅰ	Pink	◎			
人体解剖学(2)	1	Ⅰ	Pink	◎			
環境科学(1)	1	Ⅱ	Green	◎			
環境科学(2)	1	Ⅱ	Green	◎			
情報工学演習(1)	1	Ⅲ	Red	◎			
情報工学演習(2)	1	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学演習(1)	1	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学演習(2)	1	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学実験実習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学実験実習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学実験実習Ⅲ	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学論講Ⅰ	2	Ⅳ	Red	◎			
人間環境科学論講Ⅱ	2	Ⅳ	Red	◎			
卒業論文	10	Ⅳ	Red	◎			
数学物理学演習Ⅱ(1)	1	Ⅰ	Pink	○	以下の科目から 22 単位以上選択		
数学物理学演習Ⅱ(2)	1	Ⅰ	Pink	○			
デザイン工学演習(1)	1	Ⅰ	Pink	○			
デザイン工学演習(2)	1	Ⅰ	Pink	○			
設計構造演習(1)	1	Ⅱ	Green	○			
設計構造演習(2)	1	Ⅱ	Green	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
物理化学(1)	1	Ⅱ	Green	○			
物理化学(2)	1	Ⅱ	Green	○			
反応工学論(1)	1	Ⅱ	Green	○			
反応工学論(2)	1	Ⅱ	Green	○			
計測工学(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	Green	○			
計測工学(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	Green	○			
環境生理学	2	Ⅱ	Green	○			
ヒトと文化(1)	1	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
ヒトと文化(2)	1	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
人体計測学演習(1)	2	Ⅱ	Green	○			
人体計測学演習(2)	2	Ⅱ	Green	○			
機器分析演習(1)	1	Ⅱ	Green	○			
機器分析演習(2)	1	Ⅱ	Green	○			
応用統計学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
建築一般構造	2	Ⅰ	Pink	○			
基礎構造力学	2	Ⅱ	Pink	○			
住居学概論	2	Ⅰ	Pink	○			
建築環境計画論	2	Ⅱ	Green	○			
建築史	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○			
設計製図基礎	2	Ⅰ	Pink	○			
生活科学概論	2	Ⅰ	Pink	○			
人間環境科学選択基礎	2	Ⅰ	White	○			
デザインとテクノロジー(1)	1	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	以下の科目から20単位以上選択
デザインとテクノロジー(2)	1	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	
機械と運動(1)	1	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	
機械と運動(2)	1	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	
人間工学(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
人間工学(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
システム工学	2	Ⅲ	Red			○	
水環境工学	2	Ⅲ	Red			○	
環境材料物性(1)	1	Ⅲ	Red			○	
環境材料物性(2)	1	Ⅲ	Red			○	
環境物理学	2	Ⅲ	Red			○	
人類進化史	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
医用工学	2	Ⅲ	Red			○	
数学物理学演習Ⅲ(1)	1	Ⅱ	Green			○	
数学物理学演習Ⅲ(2)	1	Ⅱ	Green			○	
人間環境科学特別実習Ⅰ	2	Ⅲ	Red			○	
人間環境科学特別実習Ⅱ	2	Ⅲ	Red			○	
環境衛生学(1)	1	Ⅱ	Green			○	
環境衛生学(2)	1	Ⅱ	Green			○	
LIDEE 演習	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
生活工学特別講義	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
建築環境工学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	以下の科目は建築士受験資格に関する科目です。強化プログラムに必要な20単位には含まれません。
建築材料学Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築施設計画	2	Ⅲ	Red			○	
建築構造力学	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
建築設計製図演習Ⅰ	2	Ⅱ	Green			○	
建築設計製図演習Ⅱ	2	Ⅱ	Red			○	
建築設計製図演習Ⅲ	2	Ⅲ	Red			○	
建築法規	1	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築生産	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築構法計画	1	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築材料学Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
建築設備学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築意匠論	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
測量学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
環境デザイン論	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	

人間生活学科 発達臨床心理学

		主：42 単位	強化：20 単位
主プログラム			
①教育目標			
本プログラムでは、生涯にわたる人間の発達・変容と、それに対する支援・援助のあり方について、理論的に、かつ、実践的に考究する。そのため、家庭、就学前教育施設、児童福祉施設、学校、心理臨床など、様々な現場とのダイナミックな連携を重視しつつカリキュラムが構成されている。			
卒業後は、学校教育の教員、心理臨床の専門家（臨床心理士）養成の準備教育を行うと同時に、大学で学んだ知見をあらゆる社会生活の中で実践的に生かせる態度と見識を養うことを目標としている。			
②内容・構成			
臨床心理学、発達心理学、教育心理学、保育学、教育学などの基礎となる様々な学問的知見について学び、研究の姿勢と方法を身につけることが目指されているが、加えて、実践の場で求められる知識や態度のために必要な基礎的学習を重視している。したがって、主プログラムでは、講義科目として、発達と臨床に関する基礎的な知識を習得する科目、また、観察・診断・検査・統計分析といった方法論や分析スキルを身につける科目を用意している。さらに、演習科目として、講義講読科目群と研究演習科目群が用意されており、計2科目以上の演習科目を履修し、卒業論文を執筆する。			
強化プログラム			
①教育目標			
発達臨床心理学主プログラムにより基礎的な力を養った後、より広範な専門的知識と分析方法を学習し、自ら分析・研究を進めていく力を養うためのプログラムである。また、充実した実習科目や演習科目を履修することによって、専門的な研究方法や、実践的な思考を深めることを目標としている。			
②内容・構成			
人の心やコミュニケーションの問題、子どもから大人まで生涯にわたる発達に関する課題等、専門に関する講義科目がすべて選択科目として用意されているので、各自の関心を深めると同時に視野を広げるために自由に選択することができる。実習科目については、履修年次制限に留意すること。4年次向けに開講されている発達臨床論文演習Ⅰ・Ⅱは必修ではないが、卒論執筆に当たっては、履修することが望まれる。			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間生活論(1)	1	I	Pink	◎	以下の科目から 2単位選択		
人間生活論(2)	1	I	Pink	◎			
児童学概論	2	I	Pink	◎			
生活文化学概論	2	I	Pink	○			
生活社会科学概論(1)	1	I	Pink	○			
生活社会科学概論(2)	1	I	Pink	○			
発達臨床基礎論Ⅰ	2	I	Pink	◎			
発達臨床基礎論Ⅱ	2	I	Pink	◎			
発達臨床基礎演習Ⅰ	2	I	Pink	◎			
発達臨床基礎演習Ⅱ	2	I	Pink	◎			
人間関係学	2	I	Pink	◎			
発達臨床心理学Ⅰ	2	I	Pink	◎			
発達臨床心理学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	◎			
発達臨床人格検査法	2	Ⅱ	Green	◎			
発達臨床観察法	2	Ⅱ	Green	◎			
心理統計法（理論）	2	Ⅲ	Green	◎			
心理統計法（実践）	2	Ⅲ	Green	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
生活科学概論	2	I	Pink	○			
家庭看護学	2	I	Green	○			
保育実践論	2	I	Green	○			
発達臨床心理学選択基礎	2	I	White	○			
生涯発達講義講読	2	Ⅲ	Red	○	以下の科目から 4単位以上 選択	○	以下の科目から 20単位以上 選択
心理臨床講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	
保育臨床講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間関係講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	
人格発達講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	
学校心理講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	
生涯発達研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
心理臨床研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
保育臨床研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
人間関係研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
人格発達研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
学校心理研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
保育臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
学校臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
人格心理学	2	Ⅱ	Green			○	
保育学	2	Ⅱ	Green			○	
カウンセリング論	2	Ⅱ	Green			○	
心理臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
障害臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
発達社会文化論	2	Ⅱ	Green			○	
発達過程論	2	Ⅱ	Green			○	
児童社会文化論	2	Ⅱ	Green			○	
発達保健学	2	Ⅱ	Green			○	
家族療法	2	Ⅱ	Green			○	
質問紙法	2	Ⅱ	Green			○	
面接法	2	Ⅱ	Green			○	
産業心理臨床	2	Ⅱ	Green			○	
児童文化論	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床心理学専門英語	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ	Green			○	
心理臨床実習	2	Ⅲ	Red			○	
保育臨床実習	2	Ⅱ	Red			○	
発達臨床学特別実習Ⅰ	2	Ⅲ	Red			○	
発達臨床学特別実習Ⅱ	2	Ⅲ	Red			○	
発達臨床論文演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red			○	
発達臨床論文演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red			○	

人間生活学科 生活社会科学

				主：42 単位	強化：20 単位
主プログラム					
①教育目標					
本プログラムは、社会科学の理論と方法論を習得し、身近な生活問題の発生メカニズムを理解するとともに、その解決の方途について提案する力を養うことを目的とする。法学、政治学、経済学、社会学の4分野にわたり広く社会科学の基礎知識を習得し、これを応用して各自の研究課題を解明するための基礎力を身につける。					
②内容・構成					
社会科学の理論と方法論の基礎を集中的に学ぶとともに、家族論、ジェンダー論、社会政策論、消費者経済、生活法、生活政治学等、本主プログラムと強化プログラムの柱となる現代的トピックについて学ぶ。3年次にはいずれかの演習を選択して密度濃い指導を受けつつ卒業研究のテーマを明確にし、4年次では卒業論文の作成に取り組む。					
強化プログラム					
①教育目標					
生活社会科学主プログラムにより基礎的な力を養った後、各自の研究テーマ及びその関連領域につき体系的な知識を習得するためのプログラムである。本強化プログラムを履修することにより、社会科学の高度な知識と研究方法を自在に使いこなす力を身につけることができる。					
②内容・構成					
講義科目は、家族論、ジェンダー論、社会政策論、消費者経済、生活法、生活政治学など、主プログラムにより提示された柱となるトピックへの関心をさらに広げ、同時に深めるための科目群からなる。一部必修化するが、大半の科目は選択科目であり、各自の関心に応じて自由に選ぶことができる。また、演習科目については、主プログラムに組み込まれた2科目4単位分は必修であるが、さらにもう一種の演習（ⅡⅡ）を選択して学際的な視点をもって卒業論文の作成に取り組むことも可能である。					

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間生活論(1)	1	I	Pink	◎			
人間生活論(2)	1	I	Pink	◎			
生活社会科学概論(1)	1	I	Pink	◎			
生活社会科学概論(2)	1	I	Pink	◎			
児童学概論	2	I	Pink	○	以下の科目から 2単位以上選択		
生活文化学概論	2	I	Pink	○			
生活科学概論	2	I	Pink	○			
生活社会科学選択基礎	2	I	White	○			
生活社会科学演習(1)	1	Ⅱ	Green	◎			
生活社会科学演習(2)	1	Ⅱ	Green	◎			
家族社会学(1)	1	Ⅲ	Green	◎			
家族社会学(2)	1	Ⅲ	Green	◎			
応用生活統計学(1)	1	I	Pink	◎			
応用生活統計学(2)	1	I	Pink	◎			
社会統計学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	◎			
ジェンダー論	2	I～Ⅳ	Pink	◎			
生活関連法	2	Ⅱ	Green	◎			
家族法	2	Ⅲ	Green	◎			
生活政治学(1)	1	Ⅱ	Green	◎			
生活政治学(2)	1	Ⅱ	Green	◎			
家政経済学概論	2	I～Ⅳ	Pink	◎			
消費者経済学	2	Ⅱ	Green	◎			
家族関係論	2	I～Ⅱ	Pink	◎			
社会保障論	2	Ⅱ	Pink	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
家族法演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○	以下の科目から 4単位選択	○	以下の科目から 4単位まで を含めること ができる
家族法演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
生活法学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活法学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活政治学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活政治学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
家族社会学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
家族社会学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活福祉学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活福祉学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
消費者経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
消費者経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
労働経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
労働経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
社会福祉学	2	Ⅱ	Green			◎	
労働経済学総論	2	Ⅲ	Green			◎	
社会統計学Ⅱ(1)	1	Ⅱ	Green			◎	
社会統計学Ⅱ(2)	1	Ⅱ	Green			◎	
生活社会科学論文演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red			◎	
生活社会科学論文演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red			◎	
生活社会科学専門英語	2	Ⅱ	Green			○	
女性政策論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
法女性学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
労働法	2	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	
比較家族思想史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較ジェンダー論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
政治とジェンダー	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
消費者教育論	2	Ⅱ	Green			○	
労働経済学各論	2	Ⅱ	Green			○	
企業経営論	2	Ⅱ	Green			○	
老年学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
老人福祉論	2	Ⅱ	Green			○	
児童福祉論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
人口学	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
地域社会論	2	Ⅱ	Green			○	
住生活論	2	Ⅱ	Green			○	
生活調査法	2	Ⅱ	Green			○	
生活社会調査実習	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
生活設計論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
財産と法	2	Ⅱ	Green			○	
刑事法	2	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	
生活法学	2	Ⅲ	Green			○	
生活と行政	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
生活経済学	2	Ⅱ	Green			○	
生活と金融	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
生活と財政	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
国際経済と生活	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
国民経済と生活	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
生活社会科学実習	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
社会問題論(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	以下の科目から4単位までを含めることができる
社会問題論(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
現代社会論	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
現代生活論	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
社会意識論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較社会論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
社会政策論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
社会政策論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
都市地理学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
経済地理学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
社会地理学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	

人間生活学科 生活文化学

				主：42 単位	強化：20 単位
主プログラム					
①教育目標					
生活文化学は、日常生活に関わる文化事象、とくに服飾、住まい、工芸、デザインなどの生活造形を対象とし、比較文化論、民俗学、歴史学、美学などの手法によって新しい文化論を構築することを目指している。生活に根差した文化論の考究を基盤とすることにより、現代生活の諸問題を解決する実践能力を養い、生活文化をリードする見識と創造力を養う。					
②内容・構成					
古今東西の生活文化に関する幅広い知識の習得と、自ら問題意識をもって文化事象を追究することのできる基礎力を養うことを重視する。そのために、人間生活学科の共通科目、生活文化学の各領域の基本的な知識を習得する概論科目、分析スキルを習得する基礎科目、自らの問題意識で分析・解釈を試みる基礎演習、および卒業論文で構成される。					
強化プログラム					
①教育目標					
生活造形の領域に関する専門的な知識に加え、より広範の生活文化に関する知識を習得し、また自ら分析・解釈を試みる演習を少なくとも二つの領域で履修することにより、生活文化に対する深い見識を養うとともに、より深い思考力と柔軟な分析力を養う。服飾制作実習や、民俗学のフィールドワークを含む実習によって身体を通して学び、理解力を深める。					
②内容・構成					
生活造形に関するより専門的な講義科目、生活史・生活思想、芸術・情報・環境など生活文化の関連領域に関するより広範なテーマの講義科目、基礎演習を展開させ、自らの分析スキルによって調査・解釈を試みる演習科目、あるいは実習科目、そして生活文化学専門英語で構成される。					

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間生活論(1)	1	I	Pink	◎	以下の科目から 2単位以上選択		
人間生活論(2)	1	I	Pink	◎			
生活文化学概論	2	I	Pink	◎			
生活社会科学概論(1)	1	I	Pink	○			
生活社会科学概論(2)	1	I	Pink	○			
児童学概論	2	I	Pink	○			
生活造形論	2	I	Pink	◎			
民俗学	2	I	Pink	◎			
服飾文化概論	2	I	Pink	◎			
服飾美学概論	2	I	Pink	◎			
服飾史論(1)	1	II	Green	◎			
服飾史論(2)	1	II	Green	◎			
服飾史資料論(1)	1	II	Green	◎			
服飾史資料論(2)	1	II	Green	◎			
比較生活文化論(1)	1	II	Green	◎			
比較生活文化論(2)	1	II	Green	◎			
比較生活文化史 I (1)	1	II	Green	◎			
比較生活文化史 I (2)	1	II	Green	◎			
民俗文化史概論(1)	1	II	Green	◎			
民俗文化史概論(2)	1	II	Green	◎			
歴史民俗文化論(1)	1	II	Green	◎			
歴史民俗文化論(2)	1	II	Green	◎			
生活文化学論文演習 I	2	IV	Red	◎			
生活文化学論文演習 II	2	IV	Red	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
比較文化論基礎演習	2	III	Red	○	以下の科目から 4単位以上 選択		
民俗文化史基礎演習	2	III	Red	○			
日本服飾史演習 I	2	III	Red	○			
服飾文化論基礎演習	2	III	Red	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム◎必修○選択			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
生活科学概論	2	I	Pink	○			
被服学概論	2	I～IV	Pink	○			
被服製作実習	1	II～IV	Green	○			
生活文化学選択基礎	2	I	White	○			
服飾史 I	2	II	Green			○	以下の科目から 20 単位以上 選択
服飾史 II	2	II	Green			○	
比較文化論演習	2	III	Red			○	
民俗文化史演習	2	III	Red			○	
服飾文化論演習	2	III	Red			○	
日本服飾史演習 II	2	III	Red			○	
民俗文化史各論	2	III	Red			○	
環境デザイン論	2	II	Green			○	
生活文化論	2	II	Green			○	
生活造形史	2	III	Red			○	
工芸史	2	III	Green			○	
比較生活文化史 II	2	III	Red			○	
地域文化論	2	II	Green			○	
現代文化論	2	II	Green			○	
文化情報論	2	III	Green			○	
美学・芸術学	2	III	Green			○	
西洋服飾論	2	II	Green			○	
日本服飾論	2	II	Green			○	
服飾文化各論	2	III	Red			○	
服飾美学各論	2	III	Red			○	
服飾制作実習	1	II	Green			○	
服飾文化実習	1	III	Green			○	
生活文化実習 I	1	II	Green			○	
生活文化実習 II	1	III	Red			○	
生活文化学専門英語	2	II	Green			○	

副プログラム・学際プログラム

人間・環境科学副プログラム

単位数：20

①教育目標

人間や環境に係る理学や工学を総合的に幅広く学ぶことを目標とする。環境と科学技術のあり方について、今後の技術動向に関する分析力を養うとともに、人間・環境に係る科学技術についての理解を目指す。文系・理系学習者のいずれも受講可とする。

②内容・構成

人間・環境科学科の主プログラムならびに強化プログラムにおいて提供される科目群から、受講者の関心に従って選択して受講する。なお、所属学部学科にかかわらず、建築士受験資格に関する科目を所定の単位以上履修修得した上で、卒業すれば二級建築士の受験資格を得ることができる。（取得単位数により必要な実務経験が0年～2年となる。）ただし、二級建築士受験資格を取得するには、厳しい履修条件が課されているので、二級建築士受験資格希望者は、かならず、人間・環境科学科の教員に事前に相談すること。詳細は、Ⅳ. 諸資格の修得、建築士の項を参照のこと。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
統計学	2	Ⅱ	選択	Green	以下の科目から20単位以上選択
人体解剖学(1)	1	Ⅰ	選択	Pink	
人体解剖学(2)	1	Ⅰ	選択	Pink	
環境科学(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
環境科学(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
反応工学論(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
反応工学論(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
環境生理学	2	Ⅱ	選択	Green	
ヒトと文化(1)	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
ヒトと文化(2)	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
建築一般構造	2	Ⅰ	選択	Pink	
基礎構造力学	2	Ⅰ～Ⅱ	選択	Pink	
住居学概論	2	Ⅰ	選択	Pink	
建築環境計画論	2	Ⅱ	選択	Green	
環境物理学	2	Ⅲ	選択	Red	
人類進化史	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
人間工学(1)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
人間工学(2)	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
システム工学	2	Ⅲ	選択	Red	
環境材料物性(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
環境材料物性(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
水環境工学	2	Ⅲ	選択	Red	
医用工学	2	Ⅲ	選択	Red	
人間環境科学実験実習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
人間環境科学特別実習Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
情報工学演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
情報工学演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
人間環境科学演習(1)	1	Ⅲ	選択	Red	
人間環境科学演習(2)	1	Ⅲ	選択	Red	
建築環境工学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
建築材料科学Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
建築材料科学Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
設計製図基礎	2	Ⅰ	選択	Pink	
建築設計製図演習Ⅰ	2	Ⅱ	選択	Green	
建築設計製図演習Ⅱ	2	Ⅱ	選択	Red	
建築設計製図演習Ⅲ	2	Ⅲ	選択	Red	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
建築史	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
建築法規	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
建築生産	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
建築構法計画	1	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
建築設備学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
建築意匠論	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
建築施設計画	2	Ⅲ	選択	Red	
建築構造力学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red	
測量学	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
環境デザイン論	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	

①教育目標

生涯にわたる人間の発達・変容と、それに対する支援・援助のあり方について、理論的に、かつ、実践的に考究する。副プログラムでは、発達臨床心理学に関する学問的知見を学ぶことによって、それらをあらゆる社会生活の中で生かす態度と見識を養うことを目標としている。

②内容・構成

臨床心理学、発達心理学、教育心理学、保育学、教育学などの様々な学問的知見について、学ぶことができる科目が用意されている。幅広い領域をまなぶことによって、視野を広げていくことが可能となる科目から構成されている。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
児童学概論	2	I	必修	Pink	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たす必要がある。
人間関係学	2	I	選択	Pink	
発達臨床心理学 I	2	I	選択	Pink	
発達臨床心理学 II	2	II	選択	Green	以下の科目から 18 単位以上選択
保育臨床学	2	II	選択	Green	
学校臨床学	2	II	選択	Green	
人格心理学	2	II	選択	Green	
保育学	2	II	選択	Green	
カウンセリング論	2	II	選択	Green	
心理臨床学	2	II	選択	Green	
障害臨床学	2	II	選択	Green	
発達社会文化論	2	II	選択	Green	
発達過程論	2	II	選択	Green	
児童社会文化論	2	II	選択	Green	
発達保健学	2	II	選択	Green	
家族療法	2	II	選択	Green	
質問紙法	2	II	選択	Green	
面接法	2	II	選択	Green	
産業心理臨床	2	II	選択	Green	
児童文化論	2	II	選択	Green	
発達臨床特殊講義 I	2	II	選択	Green	
発達臨床特殊講義 II	2	II	選択	Green	
発達臨床特殊講義 III	2	II	選択	Green	
生涯発達講義講読	2	III	選択	Red	
心理臨床講義講読	2	III	選択	Red	
保育臨床講義講読	2	III	選択	Red	
人間関係講義講読	2	III	選択	Red	
人格発達講義講読	2	III	選択	Red	
学校心理講義講読	2	III	選択	Red	
生涯発達研究演習	2	III	選択	Red	
心理臨床研究演習	2	III	選択	Red	
保育臨床研究演習	2	III	選択	Red	
人間関係研究演習	2	III	選択	Red	
人格発達研究演習	2	III	選択	Red	
学校心理研究演習	2	III	選択	Red	

①教育目標

さまざまな主専攻領域で学んできた学生を想定し、社会科学の基本的な考え方と方法論の基礎を学び、主専攻の専門知識と関連づけつつ実践に活かすための力を養うことを目的とする。公務員受験を志望するものにも役立つカリキュラムを提供する。

②内容・構成

社会科学の基本的な考え方と方法論を習得するため、「生活社会科学概論(1)(2)」「生活社会科学演習(1)(2)」を必修とする。また、自ら調べ自ら考える力を強化するために、演習科目に参加することが望ましい。他の講義科目については、各自の関心に応じ、体系的なメニューのもとに学んでいく。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
生活社会科学概論(1)	1	I	必修	Pink	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たす必要がある。
生活社会科学概論(2)	1	I	必修	Pink	
生活社会科学演習(1)	1	II	必修	Green	
生活社会科学演習(2)	1	II	必修	Green	
家族法演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	以下の科目から4単位までを含めることができる
家族法演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
生活法学演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
生活法学演習Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
生活政治学演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
生活政治学演習Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
家族社会学演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
家族社会学演習Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
生活福祉学演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
生活福祉学演習Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
消費者経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
消費者経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
生活経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
生活経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
労働経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Red	
労働経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red	
ジェンダー論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
生活関連法	2	Ⅱ	選択	Green	
家族法	2	Ⅲ	選択	Green	
生活政治学(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
生活政治学(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
家政経済学概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
消費者経済学	2	Ⅱ	選択	Green	
女性政策論	2	I～Ⅳ	選択	Green	
労働法	2	I～Ⅱ	選択	Green	
政治とジェンダー	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
社会福祉学	2	Ⅱ	選択	Green	
消費者教育論	2	Ⅱ	選択	Green	
労働経済学総論	2	Ⅲ	選択	Green	
社会保障論	2	Ⅱ	選択	Pink	
老人福祉論	2	Ⅱ	選択	Green	
児童福祉論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
地域社会論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
生活設計論	2	I～Ⅳ	選択	Green	
財産と法	2	Ⅱ	選択	Green	
刑事法	2	I～Ⅱ	選択	Green	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
生活法学	2	Ⅲ	選択	Green	
生活と行政	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
生活経済学	2	Ⅱ	選択	Green	
生活と金融	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
生活と財政	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
国際経済と生活	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国民経済と生活	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	

①教育目標

さまざまな主専攻領域で学んできた学生を想定し、社会科学領域におけるジェンダー研究の視点と方法を学び、主専攻の専門知識と関連づけつつ研究や実践に活かすための力を養うことを目的とする。

②内容・構成

社会科学とジェンダー研究の基本的な考え方と方法論を習得するため、「生活社会科学概論(1)(2)」「生活社会科学演習(1)(2)」「ジェンダー論」を必修とする。また、自ら調べ自ら考える力を強化するために、演習科目に参加することが望ましい。他の講義科目については、各自の関心に応じ、体系的なメニューのもとに学んでいく。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
生活社会科学概論(1)	1	I	必修	Pink	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たす必要がある。
生活社会科学概論(2)	1	I	必修	Pink	
生活社会科学演習(1)	1	II	必修	Green	
生活社会科学演習(2)	1	II	必修	Green	
ジェンダー論	2	I～IV	必修	Pink	
家族法演習 I	2	III	選択	Red	以下の科目から4単位までを含めることが出来る
家族法演習 II	2	III～IV	選択	Red	
生活法学演習 I	2	III	選択	Red	
生活法学演習 II	2	III	選択	Red	
生活政治学演習 I	2	III	選択	Red	
生活政治学演習 II	2	III	選択	Red	
家族社会学演習 I	2	III	選択	Red	
家族社会学演習 II	2	III	選択	Red	
生活福祉学演習 I	2	III	選択	Red	
生活福祉学演習 II	2	III	選択	Red	
消費者経済学演習 I	2	III	選択	Red	
消費者経済学演習 II	2	III	選択	Red	
生活経済学演習 I	2	III	選択	Red	
生活経済学演習 II	2	III～IV	選択	Red	
労働経済学演習 I	2	III	選択	Red	
労働経済学演習 II	2	III	選択	Red	
家族法	2	III	選択	Green	
家族関係論	2	I～II	選択	Pink	
女性政策論	2	I～IV	選択	Green	
法女性学	2	II～IV	選択	Green	
労働法	2	I～II	選択	Green	
比較家族思想史	2	II～IV	選択	Green	
比較ジェンダー論	2	II～IV	選択	Green	
政治とジェンダー	2	II～IV	選択	Green	
社会福祉学	2	II	選択	Green	
労働経済学総論	2	III	選択	Green	
社会保障論	2	II	選択	Pink	
家族社会学(1)	1	III	選択	Green	
家族社会学(2)	1	III	選択	Green	
老年学	2	II～IV	選択	Green	
老人福祉論	2	II	選択	Green	
児童福祉論	2	II～IV	選択	Green	
発達社会学	2	II～IV	選択	Green	
生活関連法	2	II	選択	Green	
生活法学	2	III	選択	Green	
生活と行政	2	II～IV	選択	Green	
国際経済と生活	2	II～IV	選択	Green	
国民経済と生活	2	II～IV	選択	Red	

①教育目標

生活科学を学ぶ学生が文化的視野をもち、人間の精神生活に対する理解を深めることは、生活の質を考える上でもっとも重要である。またどのような学問領域であれ、学生が生活を取りまく身近な文化に関心をもつことは、生活人として重要である。本プログラムは、生活造形を中心とした生活文化学の基本を学ぶことにより、より創造的な生活の感性を養うことを目指す。なお学芸員の資格を取得するための履修科目が複数含まれている。これらの科目については、履修ガイド「Ⅳ 諸資格の取得 2. 博物館学芸員」掲載の表を参照すること。

②内容・構成

生活造形に関するもっとも基礎的な知識を習得する概論などの基礎科目、生活文化・思想・芸術など、多様なテーマに関する講義科目、および基礎演習科目で構成される。基礎4科目を必修とし、他は自由に選択することができる。演習科目を一つは履修することが望ましい。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
生活造形論	2	I	必修	Pink	
民俗学	2	I	必修	Pink	
服飾文化概論	2	I	必修	Pink	
服飾美学概論	2	I	必修	Pink	
服飾史論(1)	1	II	選択	Green	以下の科目から12単位以上選択
服飾史論(2)	1	II	選択	Green	
服飾史資料論(1)	1	II	選択	Green	
服飾史資料論(2)	1	II	選択	Green	
服飾史 I	2	II	選択	Green	
服飾史 II	2	II	選択	Green	
比較生活文化論(1)	1	II	選択	Green	
比較生活文化論(2)	1	II	選択	Green	
比較生活文化史 I (1)	1	II	選択	Green	
比較生活文化史 I (2)	1	II	選択	Green	
民俗文化史概論(1)	1	II	選択	Green	
民俗文化史概論(2)	1	II	選択	Green	
歴史民俗文化論(1)	1	II	選択	Green	
歴史民俗文化論(2)	1	II	選択	Green	
比較文化論基礎演習	2	III	選択	Red	
民俗文化史基礎演習	2	III	選択	Red	
服飾文化論基礎演習	2	III	選択	Red	
日本服飾史演習 I	2	III	選択	Red	
民俗文化史各論	2	III	選択	Red	
環境デザイン論	2	II	選択	Green	
生活文化論	2	II	選択	Green	
生活造形史	2	III	選択	Red	
工芸史	2	III	選択	Green	
比較生活文化史 II	2	III	選択	Red	
地域文化論	2	II	選択	Green	
現代文化論	2	II	選択	Green	
文化情報論	2	III	選択	Green	
美学・芸術学	2	III	選択	Green	
西洋服飾論	2	II	選択	Green	
日本服飾論	2	II	選択	Green	
服飾文化各論	2	III	選択	Red	
服飾美学各論	2	III	選択	Red	

①教育目標

消費生活にともなう諸問題を学際的・総合的に学ぶ。成熟した市民社会を担う能動的消費者となるための基礎的カリキュラム。消費生活アドバイザー資格試験を受ける人などにも最適。

②内容・構成

消費者科学の基礎となる「消費者科学入門」「国民経済と生活」「消費者法」の3科目6単位を必修科目として履修する。選択科目として、消費者科学に関連する科目を14単位履修する。

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
消費者科学入門	2	I～Ⅲ	必修	Pink	以下の科目から14単位以上選択
国民経済と生活	2	Ⅱ～Ⅳ	必修	Red	
消費者法	2	Ⅱ～Ⅳ	必修	Green	
消費者教育論	2	Ⅱ	選択	Green	
企業経営論	2	Ⅱ	選択	Green	
家政経済学概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
環境衛生学(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
環境衛生学(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
建築環境計画論	2	Ⅱ	選択	Green	
医療と健康	2	Ⅱ	選択	Green	
社会保障論	2	Ⅱ	選択	Pink	
被服学概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
食物学概論	2	I	選択	Pink	
食糧経済学	2	Ⅱ	選択	Green	
住居学概論	2	I	選択	Pink	
生活と財政	2	I～Ⅳ	選択	Green	
生活と金融	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
社会統計学Ⅰ	2	Ⅱ	選択	Green	
社会統計学Ⅱ(1)	1	Ⅱ	選択	Green	
社会統計学Ⅱ(2)	1	Ⅱ	選択	Green	
生活調査法	2	Ⅱ	選択	Green	
消費者経済学	2	Ⅱ	選択	Green	
生活造形論	2	I	選択	Pink	
現代文化論	2	Ⅱ	選択	Green	
発達臨床心理学Ⅰ	2	I	選択	Green	
児童学概論	2	I	選択	Pink	
カウンセリング論	2	Ⅱ	選択	Green	
応用統計学	2	Ⅱ	選択	Green	
建築一般構造	2	I	選択	Pink	
国際栄養学	2	I～Ⅳ	選択	Green	
食生活史	2	I	選択	Green	

食物栄養学科

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
解剖生理学Ⅰ	2	Ⅰ	必修	Pink	
生化学	2	Ⅰ	必修	Pink	
解剖生理学Ⅱ	2	Ⅰ	必修	Pink	
調理科学	2	Ⅰ	必修	Pink	
基礎調理学実習	1	Ⅰ	必修	Pink	
細胞生化学	2	Ⅱ	必修	Green	
臨床医学総論	2	Ⅱ	必修	Green	
代謝栄養学	2	Ⅱ	必修	Green	
社会福祉学	2	Ⅱ	必修	Green	
食品化学	2	Ⅱ	必修	Green	
栄養教育論Ⅰ	2	Ⅱ	必修	Green	
生活環境学	2	Ⅱ	必修	Green	
食嗜好評価学	2	Ⅱ	必修	Green	
応用調理学実習	1	Ⅱ	必修	Green	
臨床医学各論Ⅰ	2	Ⅱ	必修	Green	
臨床医学各論Ⅱ	2	Ⅱ	必修	Green	
応用栄養学	2	Ⅱ	必修	Green	
給食経営管理論	2	Ⅱ	必修	Green	
食品製造・保存学	2	Ⅱ	必修	Green	
食品微生物学	2	Ⅱ	必修	Green	
臨床栄養アセスメント学	2	Ⅱ	必修	Green	
栄養カウンセリング論	2	Ⅱ	必修	Green	
分析化学実験	2	Ⅱ	必修	Green	
解剖生理学実験	1	Ⅱ	必修	Green	
食品微生物学実験	1	Ⅱ	必修	Green	
病態栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
食品衛生学	2	Ⅲ	必修	Red	
臨床栄養療法学	2	Ⅲ	必修	Red	
公衆栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養教育論Ⅱ	2	Ⅲ	必修	Red	
ライフステージ栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
公衆衛生学	2	Ⅲ	必修	Red	
給食マネジメント論	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養行政学	2	Ⅲ	必修	Red	
ライフスタイル栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
食品機能論	2	Ⅲ	必修	Red	
食事療法学	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
応用栄養学実習	1	Ⅲ	必修	Red	
食品製造・保存学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養カウンセリング論実習	1	Ⅲ	必修	Red	
公衆栄養学実習	1	Ⅲ	必修	Red	
臨床栄養アセスメント学実習	2	Ⅲ	必修	Red	
食品化学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
調理科学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
給食経営管理実習	2	Ⅲ	必修	Red	
食物栄養管理論総合演習	2	Ⅳ	必修	Red	
栄養臨地実習	4	Ⅳ	必修	Red	

授業科目名	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
卒業論文	6	Ⅳ	必修	Red	
専攻科目（選択）					
食品学	2	Ⅱ	選択	Green	
食品評価論	2	Ⅲ	選択	Green	
食物栄養学基礎演習	2	Ⅳ	選択	Red	
食物栄養学輪講	4	Ⅳ	選択	Red	
専攻科目（選択）－高大連携科目					
食物栄養学選択基礎	2	I		White	
高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1－2（第5条関係）「自由に選択して履修する科目・単位」内の「専攻科目 選択」の単位として認定することができる。					

学部共通科目

授業科目名	単位	CCBM	備考
生活科学概論	2	Pink	
基礎有機化学	2	Pink	食物栄養学科は必修
分析化学	2	Green	食物栄養学科は必修
ヒトと文化(1)	1	Pink	
ヒトと文化(2)	1	Pink	
ジェンダー論	2	Pink	
比較ジェンダー論	2	Green	
人口学	2	Pink	
社会保障論	2	Pink	
企業経営論	2	Green	
消費者科学入門	2	Pink	
生活造形論	2	Pink	
民俗学	2	Pink	
国際栄養学	2	Green	
食糧経済学	2	Green	
食生活史	2	Green	
環境衛生学(1)	1	Green	
環境衛生学(2)	1	Green	
応用統計学	2	Green	
食物学概論	2	Pink	
建築環境計画論	2	Green	
住居学概論	2	Pink	
発達臨床心理学 I	2	Pink	
保育臨床学	2	Green	
学校臨床学	2	Green	
医療と健康	2	Green	

全学共通科目

授業科目名	単位	CCBM	備考
NPO入門	2	Pink	
女性リーダーへの道（入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（ロールモデル入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（実践入門編）	2	Green	
平和と共生演習	2	Pink	
国際共生社会論実習	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅠ	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅡ	2	Pink	
情報コミュニケーション技術と創発性	2	Pink	
働く女性の権利と地位	2	Pink	卒業単位に含めることができない
共生社会で働く	2	Green	卒業単位に含めることができない
グループワークとマネジメント	2	Green	卒業単位に含めることができない
キャリアプランニング実習	1	Pink	卒業単位に含めることができない
インターンシップ	1	Pink	卒業単位に含めることができない
クリエイティブ・ライティングⅠ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅣ	2	Green	
博物館概論	2	Ivory	
博物館資料論	2	Ivory	
博物館経営論	2	Ivory	
博物館資料保存論	2	Ivory	
博物館展示論	2	Ivory	
博物館教育論	2	Ivory	
博物館実習	3	Ivory	
博物館情報・メディア論	2	Ivory	
初等解析学Ⅰ	2	Pink	
初等解析学Ⅱ(1)	1	Pink	
初等解析学Ⅱ(2)	1	Pink	
初等線形代数学	2	Pink	
初等代数学	2	Pink	
物理学概論A	2	Pink	
物理学概論B	2	Pink	
基礎化学A	2	Pink	
基礎化学B(1)	1	Pink	
基礎化学B(2)	1	Pink	
基礎生物学A	2	Pink	
基礎生物学B	2	Pink	
宇宙・地球科学	2	Pink	
地球環境科学	2	Pink	
大気・海洋科学概論	2	Pink	
地史・古生物学概論	2	Pink	
物理学基礎実験	2	Pink	
化学基礎実験	2	Pink	
生物学基礎実験	2	Pink	
地学基礎実験	2	Pink	
数理基礎論	2	Pink	
確率序論	2	Green	
コンピュータシステム序論	2	Pink	
生命情報学概論(1)	1	Green	

授業科目名	単位	CCBM	備考
生命情報学概論(2)	1	Green	
計算生物学(1)	1	Green	
計算生物学(2)	1	Green	
海外交換留学等認定科目	2～12	White	
科学英語 I	2	White	
科学英語 II	2	White	
Advanced Communication Training I	2	Red	
Advanced Communication Training II	2	Red	
Advanced Communication Training III	2	Red	
Advanced Communication Training IV	2	Red	
Advanced Communication Training V	2	Red	
Advanced Communication Training VI	2	Red	
Academic Writing	2	Red	
Academic Presentation	2	Red	
Summer Program in English I	2	Pink	
Summer Program in English II	2	Pink	
Summer Program in English III	2	Pink	
Summer Program in English IV	2	Pink	
Summer Program in English V	2	Pink	
Summer Program in English VI	2	Pink	
国際交流実習	2	Red	
Interdisciplinary Lectures in English I	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English II	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English III	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English IV	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English V	2	White	
Interdisciplinary Lectures in English VI	2	White	
物理学サプリメント	2	Pink	卒業単位に含めることができない
生物学サプリメント	2	Pink	卒業単位に含めることができない
英語基礎強化ゼミ	2	Pink	卒業単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ R/L	2	White	卒業単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ S/W	2	White	卒業単位に含めることができない
IELTS 対策ゼミ R/L	2	White	卒業単位に含めることができない
IELTS 対策ゼミ S/W	2	White	卒業単位に含めることができない
企画・運営力養成講座	2	White	卒業単位に含めることができない
中国語力強化ゼミ I	2	Green	卒業単位に含めることができない
中国語力強化ゼミ II	2	Green	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 I	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 II	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 III	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 IV	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 V	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 VI	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 VII	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 VIII	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 IX	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X I	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X II	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X III	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X IV	1	White	卒業単位に含めることができない
理数特別講義演習 X V	1	White	卒業単位に含めることができない

教職共通科目

授業科目名	単位	CCBM
家庭機械及び家庭電気	2	Pink
調理実習	1	Pink
学校栄養教育論Ⅰ	2	Green
学校栄養教育論Ⅱ	2	Green

教職に関する科目

授業科目名	単位	CCBM
教職概論(1)	1	Ivory
教職概論(2)	1	Ivory
教育原論（思想・歴史）(1)	1	Ivory
教育原論（思想・歴史）(2)	1	Ivory
教育心理	2	Ivory
教育原論（社会・制度）	2	Ivory
教育課程論	2	Ivory
家庭科教育法Ⅰ	2	Ivory
家庭科教育法Ⅱ	2	Ivory
家庭科教育法Ⅲ	2	Ivory
家庭科教育法Ⅳ	2	Ivory
道德教育の研究	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory
教育方法論	2	Ivory
生徒指導の研究(1)	1	Ivory
生徒指導の研究(2)	1	Ivory
学校カウンセリング	2	Ivory
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	高校は2単位	Ivory
	幼稚園・小学校・中学校は4単位	Ivory
栄養教育実習	2	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory
教職実践演習（栄養教諭）	2	Ivory

外国人留学生特別科目

授業科目	単位	CCBM
日本語演習ⅠA	2	Pink
日本語演習ⅠB	2	Pink
日本語演習ⅡA	2	Green
日本語演習ⅡB	2	Green
日本語演習ⅢA	2	Green
日本語演習ⅢB	2	Green
日本語演習ⅣA	2	Green
日本語演習ⅣB	2	Green
日本語演習ⅤA	2	Green
日本語演習ⅤB	2	Green
日本事情演習ⅠA	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
日本事情演習ⅠB	2	Pink
日本事情演習ⅡA	2	Green
日本事情演習ⅡB	2	Green
日本事情演習ⅢA	2	Green
日本事情演習ⅢB	2	Green
日本事情演習ⅣA	2	Green
日本事情演習ⅣB	2	Green
日本事情演習ⅤA	2	Green
日本事情演習ⅤB	2	Green
総合日本語サマープログラムⅠ	2	Pink
総合日本語サマープログラムⅡ	2	Pink

特別設置科目

授業科目	単位	備考
子ども理解と保育の探求Ⅰ	2	
子ども理解と保育の探求Ⅱ	2	
子ども理解と保育の探求Ⅲ	1	
子ども理解と保育の探求Ⅳ	1	
乳幼児発達障害論Ⅰ	2	
乳幼児発達障害論Ⅱ	2	
乳幼児発達障害論Ⅲ	2	
乳幼児発達障害論Ⅳ	2	
乳幼児教育・保育政策論Ⅰ	2	
乳幼児教育・保育政策論Ⅱ	2	
乳幼児保育マネジメントⅠ	2	
乳幼児保育マネジメントⅡ	2	
乳幼児保育マネジメントⅢ	2	
乳幼児保育マネジメントⅣ	2	
コミュニティ保育資源の活用Ⅰ	2	
コミュニティ保育資源の活用Ⅱ	2	

授業科目	単位	備考
コミュニティ保育資源の活用Ⅲ	2	
コミュニティ保育資源の活用Ⅳ	2	
保育メディア論	2	
実践音楽療法	2	
子どもと家族	2	
現代育児論Ⅰ	1	
現代育児論Ⅱ	1	
比較保育実践研究Ⅰ	1	
比較保育実践研究Ⅱ	1	
比較保育実践研究Ⅲ	1	
比較保育実践研究Ⅳ	1	
子ども家庭支援相談Ⅰ	1	
子ども家庭支援相談Ⅱ	1	
現代保育課題研究Ⅶ	1	
現代保育課題研究Ⅷ	1	

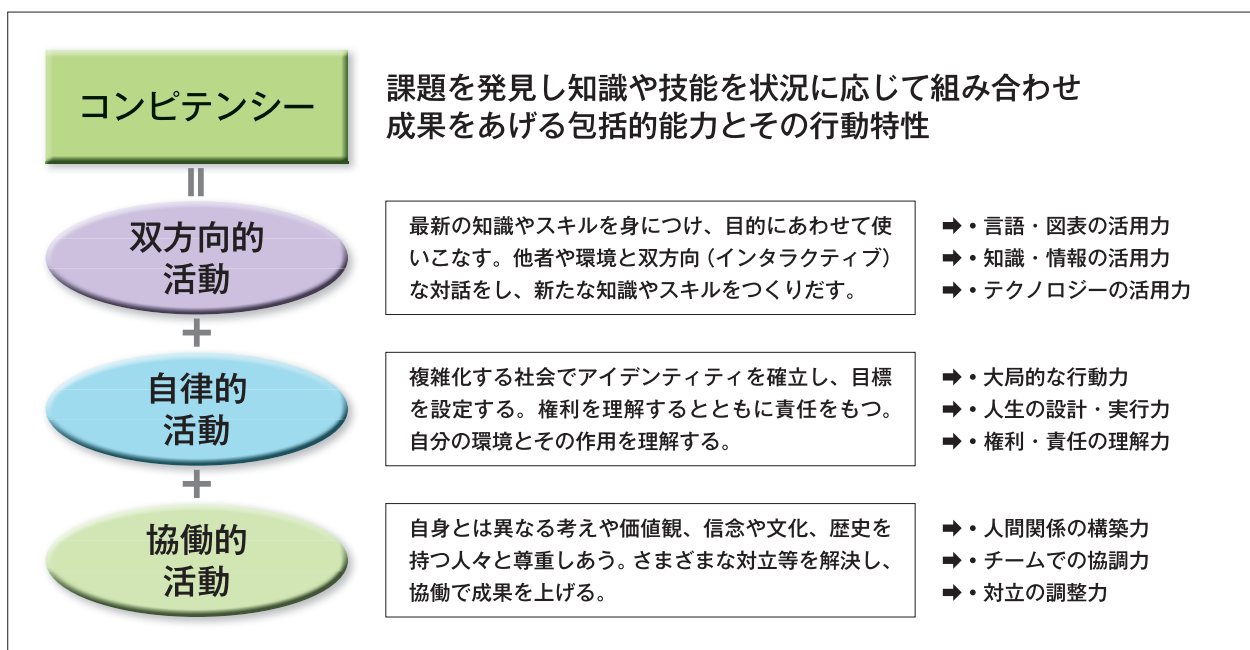
キャリアデザインプログラムの概要

「自分が何をめざし、そのために何を学ぶのかを、みきわめ実行する力」「社会的課題をきちんと認識し、目標を設定して成果をあげる力」——これらは、お茶の水女子大学の教養教育や専門教育、さらには課外活動などを含めた大学生活全体で養われるものです。こうした力を、自分にあった仕事を見つけ就職する「就業力」として開花させていくのが、「キャリアデザインプログラム」です。お茶の水女子大学が重視する「心遣い・知性・しなやかさ」という思考・行動特性を核に、就業力の基礎となる「コンピテンシーの開発」…(1)をしていきます。

(1) コンピテンシーの開発

「コンピテンシー」とは、問題を発見し知識や技能を状況に応じて組み合わせ成果をあげる包括的能力とその行動特性のこと。OECD（経済協力開発機構）が提案しているキー・コンピテンシーの枠組みをもとに、以下の＜双方向的活動＞＜自律的活動＞＜協働的活動＞という3分野のコンピテンシー（図1）を開発し、状況に応じて適切に組み合わせ成果をあげる力を養います。

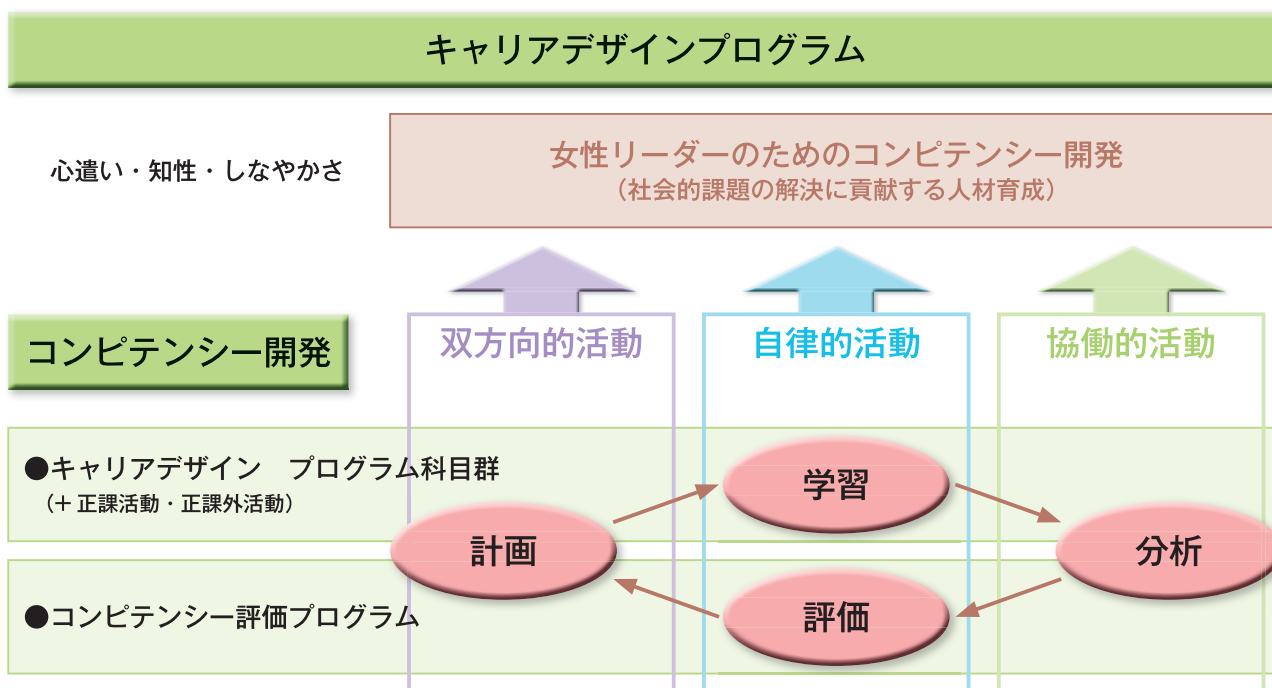
図1 コンピテンシー



これらのコンピテンシーを開発していくために、「キャリアデザインプログラム」には、2つの学修の柱があります。主体的に授業や学生生活に取り組むための思考力や行動力を育てる「キャリアデザインプログラム科目群」…(2)と、自分の適性や能力を冷静にみきわめて将来像を描くための「コンピテンシー評価プログラム」…(3)です。

コンピテンシー開発の基本にあるのは、「自身で深く考え、行動する」こと。多様で複雑な社会では、単純な回答やこれまで通りの知識や方法では立ち行かないことが多くあります。自主的に、そして人々と協力して、経験から学びながら、深く考え行動することが大切です。キャリアデザインプログラムでは、「計画：課題をもとに目標を設定する」→「学習：正課活動・正課外活動に参加する」→「分析：コンピテンシーを自己分析する」→「評価：分析をもとに行動特性を整理し、課題を抽出する」というサイクル（図2）があります。このサイクルを繰り返すことで、コンピテンシーを開発していきます。

図2 コンピテンシー開発のサイクル



「自分にはどのような適性や能力があるのか」「それらを活かすにはどの分野にすすむべきか」「社会からはどのような課題解決が求められているのか」「大学で学ぶ内容をどう社会で活用していけばよいのか」といった問を考えながら、将来の生活や仕事を見すえ自ら意欲的・計画的に大学での学修を促していくのが、キャリアデザインプログラムのねらいです。修了者には、「キャリアデザインプログラム修了証」「キャリアデザインプログラム履修証明書」…(4)を発行します。

(2) キャリアデザインプログラム科目群

キャリアデザインプログラム科目群は、「基幹科目群」(表1)と「関連科目群」(表2)から構成され、コンピテンシーの分野ごとに配置されています。

「基幹科目群」は、大学で将来のキャリアを視野にいて学ぶための視点を導入科目という位置づけももっています。大学から社会を見渡す「窓」の役割をもち、社会で必要とされるコンピテンシーとそれを伸ばす方法を学びます。基幹科目群の特徴は、キャリアデザインに直接関わる課題や、実社会から提起される課題を、多く取り扱っていることです。事例に学び自身のキャリアプランを考える、企業などからゲストを招き実際の課題制作を行う、IT機器を活用してグループワークを行う、といった課題解決型学習(Project Based Learning, PBL)の手法を積極的に導入し、学生のみなさんが主体的に学ぶことを動機づけます。

「関連科目群」は、教養教育・専門教育の中からコンピテンシー開発に関わりの深い科目として全学から提供されたもので、キャリア教育との両立がはかられています。それぞれの科目は、専門的な内容を扱うとともに、たとえばグループで課題制作をする方法を学ぶといった、包括的なコンピテンシー育成にもかかわっています。

表1 キャリアデザインプログラム「基幹科目群」

科目名	単位数	履修年次	CCBM	科目区分	卒業単 位算入	コンピテンシーの分野/科目の目的	備考
お茶の水女子大学論	2	I	White	コア科目 (基礎講義)	可	プログラムで育成する就業力を 方向づける	
女性リーダーへの道(入門編)	2	I～IV	Pink	全学共通科目	可	双方向的 活動	言語・図表の活用能力
ことばと世界 12 知能環境論	2	I～IV	White	コア科目(LA)	可		知識・情報の活用能力
情報コミュニケーション技術と創 発性	2	I～IV	Pink	全学共通科目	可		テクノロジーの活用能力

女性リーダーへの道(実践入門編)	2	I～IV	Green	全学共通科目	可	自律的 活動	大局的な行動力	
キャリアプランとライフプランⅠ	2	I～Ⅱ	Pink	全学共通科目	可		人生の設計・実行力	
キャリアプランとライフプランⅡ	2	I～Ⅱ	Pink	全学共通科目	可		権利・責任の理解力	
働く女性の権利と地位	2	I～IV	Pink	全学共通科目	不可	協働的 活動	人間関係の構築力	
共生社会で働く	2	I～IV	Green	全学共通科目	不可		チームでの協調力	
グループワークとマネジメント	2	I～IV	Green	全学共通科目	不可		対立の処理力	
女性リーダーへの道 (ロールモデル入門編)	2	I～IV	Pink	全学共通科目	可	知識や技能を適切に組み合わせ、 実践する		
インターンシップ	1	I～IV	Pink	全学共通科目	不可			
キャリアプランニング実習	1	I～IV	Pink	全学共通科目	不可			

表2 キャリアデザインプログラム「関連科目群」

科目名	単位	履修年次	CCBM	コンピテン シーの分野	科目区分
ことばと世界9 コンピュータの言語	2	* I～Ⅱ	White	双方向的活動	コア科目 (LA)
色・音・香4 コンピュータが創る色と音	2	* I～Ⅱ	White		コア科目 (LA)
ビジネス英語Ⅰ(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
ビジネス英語Ⅰ(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
ビジネス英語Ⅱ(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
ビジネス英語Ⅱ(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
英語プレゼンテーションⅠ(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
英語プレゼンテーションⅠ(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
英語プレゼンテーションⅡ(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
英語プレゼンテーションⅡ(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
地理情報システム演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅲ	Green		専門教育科目 (人文科学/地理)
日本語学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink		専門教育科目 (言語文化/日本語)
日本語学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink		専門教育科目 (言語文化/日本語)
中国語コミュニケーション・スキル	2	Ⅱ～Ⅳ	Green		専門教育科目 (言語文化/中国語)
中国語作文基礎演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Red		専門教育科目 (言語文化/中国語)
中国語作文応用演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Red		専門教育科目 (言語文化/中国語)
社会調査法	4	Ⅱ～Ⅳ	Red		専門教育科目 (人間社会/社会)
グローバル化と言語教育Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green		専門教育科目 (グローバル文化学環)
実験値解析法	2	Ⅲ～Ⅳ	Red		専門教育科目 (化学)
比較文化論基礎演習	2	Ⅲ	Red		専門教育科目 (人間生活/生文)
生命と環境23 環境保護活動リサーチ(演習)	2	* I	White	自律的 活動	コア科目 (LA)
マクロ経済学入門	2	I～Ⅳ	White		コア科目 (基礎)
情報処理学(1)	1	I～Ⅳ	Pink		コア科目 (情報)
情報処理学(2)	1	I～Ⅳ	Pink		コア科目 (情報)
時事英語Ⅰ(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
時事英語Ⅰ(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
時事英語Ⅱ(1)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
時事英語Ⅱ(2)	1	Ⅱ～Ⅳ	Green		コア科目 (外国語)
NPO 入門	2	I～Ⅳ	Pink		全学共通科目
社会保障論	2	Ⅱ	Pink		学部共通科目 (生活科学)
地理学フィールドワークB	2	I～Ⅲ	Green		専門教育科目 (人文科学/地理)
中国事情	2	Ⅱ～Ⅳ	Green		専門教育科目 (言語文化/中国語)
社会教育学特殊講義	2	I～Ⅳ	Green		専門教育科目 (人間社会/教育)
生活と金融	2	I～Ⅳ	Green		専門教育科目 (人間生活/生社)
経済学概論	2	I～Ⅳ	Pink		学部共通科目 (文教育)
国際金融論	2	I～Ⅳ	Green		専門教育科目 (グローバル文化学環)
社会教育特講Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		専門教育科目 (人間社会/教育)

科目名	単位	履修年次	CCBM	コンピテンシーの分野	科目区分
生活世界の安全保障 23 「NPO インターンシップ」(実習)	2	* I	White	協働的活動	コア科目 (LA)
総合コース 事業構想総論	2～4	I～IV	White		コア科目 (基礎)
地域研究方法論	2	II～IV	Green		専門教育科目 (グローバル文化学環)
情報と職業	2	III～IV	Green		専門教育科目 (情報)
人体計測学演習(1)	2	II	Green		専門教育科目 (人間環境)
人体計測学演習(2)	2	II	Green		専門教育科目 (人間環境)
産業心理臨床	2	II	Green		専門教育科目 (人間生活／発臨)
心理臨床実習	2	III	Red		専門教育科目 (人間生活／発臨)
保育臨床実習	2	II	Red		専門教育科目 (人間生活／発臨)
発達臨床学特別実習 I	2	III	Red		専門教育科目 (人間生活／発臨)
発達臨床学特別実習 II	2	III	Red		専門教育科目 (人間生活／発臨)
発達臨床心理学専門英語	2	II	Green		専門教育科目 (人間生活／発臨)
比較文化論演習	2	III	Red		専門教育科目 (人間生活／生文)

* コア科目 (LA) の履修年次については、卒業までの4年間に履修可能ですが、1・2年次のうちに履修するのが効率的です。

(3) コンピテンシー評価プログラム

コンピテンシー評価プログラムは、身に付けたコンピテンシーを自己分析し、分析結果をもとに学生生活を振り返り、新たな行動計画を立てるためのプログラムです。このプログラムの支援ツールとして、学内のオンラインシステム「My Portfolio」を活用していきます。「My Portfolio」には、学生1人1人に専用ページが設定され、コンピテンシー分析をはじめ、コンピテンシー開発に関するさまざまな情報を記録・保管することができます。

●アクセス方法



①「キャリアデザインプログラム」HPよりアクセス

URL : <http://www.cf.ocha.ac.jp/careerdesign/myportfolio/>

②統合認証フォームに学籍番号とパスワードを入力しログイン

●主な機能

自己分析	「双方向的活動」「自律的活動」「協働的活動」の3つの分野より計27項目にわたって自分の行動特性を自己分析していきます。
分析結果	自己分析の結果は、コンピテンシーの分野別にレーダーチャートで表示されます。過去の分析結果と経年比較も可能。コンピテンシーのバランスはどうか、どこが強くどこが課題なのか、現在の自分を見つめ直していきます。
振り返り	強化されたコンピテンシーは、どのような学習や体験が要因なのか、学生生活を振り返ります。コンピテンシーにもとづいたポートフォリオの作成は、就職する際の採用試験（エントリーシートや面接）に役立てることができます。
行動計画	どのコンピテンシーをどのような学習・体験を通して伸ばしたいのか、コンピテンシーにもとづいた目標をベースに、次半期の行動計画を立てていきます。

(4) キャリアデザインプログラム修了証

キャリアデザインプログラム科目群から20単位以上（うち基幹科目8単位以上）を履修し、コンピテンシー評価プログラムに参加すると、キャリアデザインプログラム修了証が発行されます。また、キャリアデザインプログラム科目群から10単位以上（うち基幹科目4単位以上）を履修し、コンピテンシー評価プログラムに参加すると、履修証明書が発行されます。就業力の証として、就職活動等でぜひ活用していきましょう。

IV

諸資格の取得

1	教育職員免許状	195
2	博物館学芸員	195
3	社会教育主事	197
4	社会調査士	198
5	栄養士	198
6	食品衛生管理者及び食品衛生監視員	199
7	管理栄養士	199
8	建築士受験資格	199

IV

諸資格の取得

1 本学では、各種教育職員免許状、博物館学芸員・社会教育主事・社会調査士・栄養士・食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格、管理栄養士・一級建築士・二級建築士の国家試験受験資格を取得することができます。取得のためには、卒業に必要な授業科目のほかに、それぞれ指定された授業科目の単位を修得し、所定の手続きを経ることにより、それぞれの資格等を取得することができます。

【取得できる資格一覧】

学部	学 科 等	中学校・高等学校教諭（一種）											小学校教諭（一種）	幼稚園教諭（一種）	栄養教諭（一種）	博物館学芸員	社会教育主事	社会調査士	食品衛生監視員	食品衛生管理者	栄養士	管理栄養士	一級・二級建築士
		国語	社会	地理歴史	公民	数学	理科	音楽	保健体育	家庭	情報	英語	中国語										
文教育学部	人文科学科		○	○	○											△	△	△					
	言語文化学科															△	△	△					
	日本語・日本文学履修コース	○																					
	中国語圏言語文化履修コース												○										
	英語圏言語文化履修コース											○											
	人間社会科学科															△	△	△					
	社会コース		○		○																		
	小学校・幼稚園コース												○	○									
	芸術・表現行動学科															△	△	△					
	舞踊教育学履修コース								○														
理学部	数学科					○										△	△	△					
	物理学科						○									△	△	△					
	化学科						○									△	△	△					
	生物学科						○									△	△	△					
	情報科学科															△	△	△					
	数学コース					○																	
	情報コース										○												
生活科学部	食物栄養学科														○	△	△	△	△	△	△	□	
	人間・環境科学科															△	△	△					□
	人間生活学科															△	△	△					
	家庭コース									○													

○＝免許、△＝資格、□＝国家試験受験資格

注）地理歴史、公民、情報は、高等学校教諭（一種）のみ

※一級・二級建築士については、P.199 参照

1 教育職員免許状

本学で教員免許状を取得するには、卒業に必要な単位を修得するほか、教員職員免許関係法令（「教育職員免許法」「同法施行規則」「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」）が定めるそれぞれの免許状に必要な科目の単位を併せて修得する必要があります。

食物栄養学科の学生は、栄養教諭一種免許状を取得することが可能です。

なお、教職課程の説明会を何度か行うので、必ず参加してください。その他不明な点は、教務チーム教職担当に問い合わせてください。

基礎資格・最低修得単位数・介護等体験

区分		基礎資格	最低修得単位数			介護等体験
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	
中学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	20 単位	31 単位	32 単位	*
	一種	学士の学位を有すること。	20 単位	31 単位	8 単位	必要
高等学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	20 単位	23 単位	40 単位	
	一種	学士の学位を有すること。	20 単位	23 単位	16 単位	
小学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	8 単位	41 単位	34 単位	*
	一種	学士の学位を有すること。	8 単位	41 単位	10 単位	必要
幼稚園教諭	専修	修士の学位を有すること。	6 単位	35 単位	34 単位	
	一種	学士の学位を有すること。	6 単位	35 単位	10 単位	

注) ① 介護等体験の「*」は、既に小学校又は中学校の免許状を取得している者（取得要件を満たしている者を含む。）は不要。

② 修士の学位を有すること」には、大学の専攻科又は文部科学大臣の指定するこれに相当する課程に一年以上在学し、30 単位以上修得した場合を含むものとします。

③ この表に規定する最低単位数の他に日本国憲法 2 単位、体育 2 単位、外国語コミュニケーション 4 単位及び情報機器の操作 2 単位を修得することを必要とします。

※教育職員免許状取得の方法、授業科目等の詳細については、別冊「教育職員免許法に関する説明及び科目認定一覧表」を参照してください。

2 博物館学芸員

博物館学芸員の資格を取得するには、卒業に必要な単位を修得するほか、博物館法施行規則に基づいて本学が定めた所定の単位を併せて修得する必要があります。したがって資格の取得を希望するものは、低学年次から計画的に履修する必要があります。なお、選択科目は文教育学部及び生活科学部人間生活学科の学生は文化史・美術史・考古学・民俗学の中から、理学部・生活科学部食物栄養学科、人間・環境科学科の学生は物理学・化学・生物学・地学の中から選択して履修してください。

博物館学芸員として就職する際には、本学が発行する卒業証明書及び学芸員の資格認定に関する科目の単位修得証明書を任命権者（都道府県及び市町村の教育委員会等、博物館の管理機関）に提出する必要があります。

なお、本学における学芸員（博物館）の資格取得のための履修は、学部学生を対象としたものであり、大学院生は履修できません。ただし、大学院博士前期（修士）課程の学生に限り、かつ、履修人数に余裕がある場合などに限っては、履修できることがありますので、希望者は教務チームまで相談してください。

博物館学芸員の資格を取得するための履修科目

	博物館法施行規則に定める科目	単位数	本学における開講科目	単位数
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論(1)(2)	各1
	博物館概論	2	博物館概論	2
	博物館経営論	2	博物館経営論	2
	博物館資料論	2	博物館資料論	2
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2
	博物館展示論	2	博物館展示論	2
	博物館教育論	2	博物館教育論	2
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2
	博物館実習	3	博物館実習	3
	計	19	計	19
選択科目	文化史	左記系列の中より2系列以上にわたって8単位以上を選択履修すること。	文化人類学特殊講義	2
			民族誌学特殊講義	2
			日本史概説	2
			アジア史概説	2
			西洋史概説	2
			日本古典文学史論（上代）	2
			〃（中古）	2
			〃（中世）	2
			〃（近世）	2
			日本近代文学史論（近代）	2
			〃（現代）	2
			比較生活文化史Ⅱ	2
	美術史		美術史学特殊講義Ⅰ～Ⅲ	} 各4
			美術史学演習Ⅰ～Ⅲ	
			形象分析学特殊講義Ⅰ～Ⅲ	
			形象分析学演習Ⅰ～Ⅲ	
			西洋美術史AⅠ～AⅢ、BⅠ～BⅢ	} 各2
			東洋美術史AⅠ～AⅢ、BⅠ～BⅢ	
			工芸史	2
			生活造形史	2
考古学	考古学通論Ⅰ	2		
	考古学通論Ⅱ	2		
	歴史考古学	2		
	史跡調査	2		
民俗学	民俗学	2		
	服飾史論(1)(2)	各1		
	服飾史資料論(1)(2)	各1		
	服飾史Ⅰ	2		
	服飾史Ⅱ	2		
	民俗文化史概論(1)(2)	各1		
	民俗文化史各論	2		
	歴史民俗文化論(1)(2)	各1		

	博物館法施行規則に定める科目	単位数	本学における開講科目	単位数
選 択 科 目	物 理 学		物理学概論 A	2
			物理学概論 B	2
			古典力学(1)(2)	各 1
			電磁気学 I (1)(2)	各 1
	化 学		基礎化学 A	2
			基礎化学 B(1)(2)	各 1
			無機化学 I	2
			有機化学 I	2
	生 物 学		基礎生物学 A	2
			基礎生物学 B	2
			動物系統学	2
			植物系統学	2
			人類進化史	2
			人体解剖学(1)(2)	各 1
	地 学		宇宙・地球科学	2
			大気・海洋科学概論	2
			地史・古生物学概論	2
			地球環境科学	2

3 社会教育主事

社会教育主事は、社会教育を行う者に専門的、技術的な助言と指導を与える専門職員であり、地方公共団体の教育委員会の事務局に置かれています。

本学で社会教育主事の資格を取得するには、卒業に必要な単位を修得するほか、社会教育主事講習等規程に基づいて本学が定めた所定の単位を併せて取得する必要があります。したがって資格の取得を希望する学生は、低学年次から計画的に履修する必要があります。

社会教育主事としての就職の道は縮小の傾向にあります。しかし、学校教員（地域の人々との協働）、地方公務員、NPO・ボランティア団体リーダー、企業内教育担当者として就職するときも、社会教育主事の資格とその知識は役立ちます。

また、企画立案力、コミュニケーション力の育成など、企業や自治体が求める社会人基礎力やキー・コンピテンシーを身につけられるプログラムになっています。

社会教育主事となる資格取得のための履修科目

社会教育主事講習等規程に定める科目	単位	本学における開講科目（単位）	単位
生涯学習概論	4	生涯学習概論(1)(2) (各 1) 必修 生涯学習特殊講義 (2) 社会教育学特殊講義 (2) いずれか 1 科目以上	4
社会教育計画	4	社会教育計画 I (2) 必修 社会教育計画 II (2) 必修	4
社会教育演習、社会教育実習又は 社会教育課題研究のうち 1 以上の科目	4	社会教育課題研究 (2) 必修 社会教育実習 (2) 必修 生涯学習演習 (4) 社会教育学演習 (4)	4 以上

社会教育主事講習等規程に定める科目	単位	本学における開講科目（単位）	単位
社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育）	12	社会教育特講Ⅰ	(2)必修
社会教育特講Ⅱ （社会教育活動・事業・施設）		社会教育特講Ⅱ	(2)必修
		博物館概論	(2)
社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）		教育思想概論(1)(2)	(各１)
		教育史概論(1)(2)	(各１)
		教育方法学概論(1)(2)	(各１)
		教育原論（思想・歴史）(1)(2)	(各１)
		教育制度概論	(2)
		教育開発概論(1)(2)	(各１)
		NPO 入門	(2)
		児童学概論	(2)
		老年学	(2)
		老人福祉論	(2)
		障害臨床学	(2)
		スポーツ人間学(1)(2)	(各１)
		生涯スポーツ	(0.5)
		多文化間交流論(1)(2)	(各１)
		多文化共生論	(2)
合 計	24	合 計	24

4 社会調査士

社会調査士とは、一般社団法人社会調査協会が認定・発行する資格であり、社会調査に関する基礎的な知識、技能、相応の応用力と倫理観を習得したことを証明するものです。資格取得には、社会調査協会が認定した機関・大学における標準カリキュラムの履修と、大学学部卒業を要件とします。また、社会調査士資格は、より上位の専門社会調査士の取得の要件となっています。

本学では、文教育学部人文科学科地理学コース・人間社会科学科心理学コース・教育科学コース・社会学コース及びグローバル文化学環、生活科学部人間生活学科発達臨床心理学講座・生活社会科学講座が共同で対応カリキュラムを組織しています。社会調査士の資格を取得するには、卒業に必要な単位を修得するほか、社会調査士資格認定機構が定める標準カリキュラムA～Gに対応するものとして認定された所定の科目を修得する必要があります。資格の取得を希望する学生は、早い段階から計画的に履修する必要があります。具体的な標準カリキュラム対応科目は年度ごとに異なり、またGの実習科目に関しては受講制限があるかもしれませんので注意してください。詳細は毎年度初頭に予定される説明会等でお知らせします。

社会調査士資格取得のための標準カリキュラムと本学での必要単位数

標準カリキュラム	本学での必要単位数
A 社会調査の基本的事項に関する科目	2 単位
B 調査設計と実施方法に関する科目	2 単位
C 基本的な資料とデータの分析に関する科目	2 単位
D 社会調査士に必要な統計学に関する科目	2 単位
E 量的データ解析の方法に関する科目	いずれか一方を 2 単位
F 質的な分析の方法に関する科目	
G 社会調査の実習を中心とする科目	4 単位

5 栄養士

栄養士の資格は、生活科学部食物栄養学科の卒業に必要な履修単位138単位を修得すると取得できます。

6 食品衛生管理者及び食品衛生監視員

食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格は、以下の科目から40単位以上修得すると得られます。これらの資格は、必要な職種についたとき、その任につくことができる任用資格です。

専門分野	授業科目	単位	専門分野	授業科目	単位
A群 化学関係	◎基礎有機化学	2	E群 関連科目	◎代謝栄養学	2
	◎分析化学	2		・食物学概論	2
	◎分析化学実験	2		◎病態栄養学	2
B群 生物化学	◎生化学	2		・食品学	2
	◎細胞生化学	2		◎調理科学	2
	◎食品化学	2		・食品評価論	2
	◎食品化学実験	2		◎栄養学実験	2
C群 微生物学	◎食品製造・保存学	2		・食物栄養学基礎演習	2
	◎食品微生物学	2		◎解剖生理学Ⅰ	2
	◎食品微生物学実験	1		◎解剖生理学Ⅱ	2
	◎食品製造・保存学実験	2		◎食品機能論	2
D群 公衆衛生学	◎食品衛生学	2		◎臨床医学総論	2
	◎生活環境学	2		◎臨床医学各論Ⅰ	2
	◎公衆衛生学	2		◎臨床医学各論Ⅱ	2
				◎解剖生理学実験	1

◎は必修科目

7 管理栄養士

管理栄養士は、医療機関などで傷病者に対する栄養評価・判定に基づく専門的な病気療養のための栄養管理、保健所における健康増進を図るための専門的な栄養指導、および特定給食施設において利用者の栄養状態等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理などを行う専門職です。生活科学部食物栄養学科の卒業に必要な履修単位138単位を修得すると国家試験受験資格が与えられます。

8 建築士受験資格

建築物に関し、設計、工事監理その他の業務を行う専門職です。建築士法にもとづく国家資格です。本学では、人間・環境科学科のカリキュラム（主プログラム+強化プログラム、副プログラム）の科目が、国土交通大臣の指定する建築に関する科目に認定されています。人間・環境科学科以外の学生でも受験資格を取得することができます。

生活科学部人間・環境科学科の学生

○一級建築士受験資格

- ・人間・環境科学科に入学し、所定の一級建築士受験資格に関する科目を条件にしたがって必要単位以上修得して卒業した場合、建築に関する実務経験を経たのち、一級建築士の受験資格が得られます（修得単位数により、必要な実務経験が3年もしくは4年となります）。
- ・単位修得条件、必要単位、必要実務経験については、「建築士受験資格取得のための履修科目（一級建築士受験資格）」の表を参照してください。

○二級建築士受験資格

- ・人間・環境科学科に入学し、所定の二級建築士受験資格に関する科目を条件にしたがって必要単位以上修得して卒業した場合、二級建築士の受験資格が得られます（修得単位数により、必要な実務経験が0年～2年となります）。
- ・単位修得条件、必要単位、必要実務経験については、「建築士受験資格取得のための履修科目（二級建築士受験資格）」の表を参照してください。

生活科学部人間・環境科学科以外の学生

○二級建築士受験資格

- ・人間・環境科学副プログラムを履修し、所定の二級建築士受験資格に関する科目を条件にしたがって必要単位以上修得して卒業した場合、二級建築士の受験資格が得られます（修得単位数により、必要な実務経験が0年～2年となります）。
- ・単位修得条件、必要単位、必要実務経験については、「建築士受験資格取得のための履修科目（二級建築士受験資格）」の表を参照してください。

○一級建築士受験資格（生活科学部人間・環境科学科以外の学生が一級建築士受験資格の取得を希望する場合）

- ・人間・環境科学科以外の学生が一級建築士受験資格を希望する場合は、国土交通省の個別認定制度を利用します。ただし、そのための申請は各自行うこと、また、ケースによっては認定されない可能性もあることを十分考慮してください。（人間・環境科学科の教員に事前に相談してください）
- ・一級建築士受験資格に関する科目、単位修得条件、必要単位、必要実務経験については、生活科学部人間・環境科学科の一級建築士受験資格と同等です。「建築士受験資格取得のための履修科目（一級建築士受験資格）」の表を参照してください。

一級建築士、二級建築士受験資格とも、人間・環境科学科以外の学生にとっては厳しい履修条件となります。受験資格の取得希望者は、必ず人間・環境科学科の教員に事前に相談してください。

建築士受験資格取得のための履修科目（一級建築士受験資格）

一級建築士受験資格に関する指定科目の分類	単位修得条件	本学における開講科目名	単位数
①建築設計製図	7 単位以上	設計製図基礎	2
		建築設計製図演習Ⅰ	2
		建築設計製図演習Ⅱ	2
		建築設計製図演習Ⅲ	2
②建築計画	7 単位以上	住居学概論	2
		建築環境計画論	2
		建築史	2
		建築意匠論	2
		建築施設計画	2
③建築環境工学	2 単位以上	建築環境工学	2
		知覚認知と環境デザイン	2
④建築設備	2 単位以上	建築設備学	2
⑤構造力学	4 単位以上	基礎構造力学	2
		建築構造力学	2
		システム工学	2
⑥建築一般構造	3 単位以上	建築一般構造	2
		建築構法計画	1
⑦建築材料	2 単位以上	建築材料学Ⅰ	2
		建築材料学Ⅱ	2
		人間環境科学実験実習Ⅰ	2
⑧建築生産	2 単位以上	建築生産	2
⑨建築法規	1 単位以上	建築法規	1
⑩その他	適宜	環境物理学	2
		環境生理学	2
		人間環境科学実験実習Ⅱ	2
		人間環境科学特別実習Ⅱ	2
		環境デザイン論	2
		測量学	2
建築に関する科目の総単位数 (①～⑩の単位数合計)	50 単位以上（必要実務経験 3 年） 40 単位以上（必要実務経験 4 年）		54

建築士受験資格取得のための履修科目（二級建築士受験資格）

二級建築士受験資格に関する指定科目の分類	単位修得条件	本学における開講科目名	単位数
①建築設計製図	5 単位以上	設計製図基礎 建築設計製図演習Ⅰ 建築設計製図演習Ⅱ 建築設計製図演習Ⅲ	2 2 2 2
②建築計画	7 単位以上	住居学概論 建築環境計画論 建築史 建築意匠論 建築施設計画	2 2 2 2 2
③建築環境工学		建築環境工学 知覚認知と環境デザイン	2 2
④建築設備		建築設備学	2
⑤構造力学	6 単位以上	基礎構造力学 建築構造力学 システム工学	2 2 2
⑥建築一般構造		建築一般構造 建築構法計画	2 1
⑦建築材料		建築材料学Ⅰ 建築材料学Ⅱ 人間環境科学実験実習Ⅰ	2 2 2
⑧建築生産	1 単位以上	建築生産	2
⑨建築法規	1 単位以上	建築法規	1
⑩その他	適宜	環境物理学 環境生理学 人間環境科学実験実習Ⅱ 人間環境科学特別実習Ⅱ 環境デザイン論 測量学	2 2 2 2 2 2
建築に関する科目の総単位数 （①～⑩の単位数合計）	40 単位以上（必要実務経験 0 年） 30 単位以上（必要実務経験 1 年） 20 単位以上（必要実務経験 2 年）		54

